オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

資料２

		サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績 (数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度 令和2年度1月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 冒頭に達成状況を〇△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
資料	利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	一般図書は、国内年間出版点数の5割以上を目指して収集します。	図書受入 購入 30,243 冊 寄贈等 6,623 冊 全体受入数 36,866 冊(郷土を含む) 〇利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供 R2資料購入費 182,153千円(県100,002千円、市82,151千円) うちオーテピア高知図書館分135,183千円(県100,002千円、市35,181千円)※県は市町村支援・電子書籍分も含む額	【成果】 〇 ・新聞や雑誌・ネット等で紹介された書籍などは利用者からの要望も多く、すばやく対応し、利用者の要望に応えられている。 【課題】 ・リモートワークによりデジタル化が進み、紙離れが懸念されている。ネットでの公開のみとされている書籍も多く、収集しづらい状況がある。	ネット公開のうち、紙印刷をして良いもの(著作権OK)は印刷をし収集する。	図書受入 購入 40,915 冊 寄贈等 4,644 冊 全体受入数 45,559 冊(郷土を含む)	【成果】 全体の出版点数は8万点弱で、複本も購入しているためタイトル数のカバー率は半分までは行かないが、昨年度より向上している。 【課題】 市町村立図書館や県立学校図書館が自らの資料費を充実させて、新刊書を購入できるようになれば、タイトル数のカバー率を向上させることができる。それによって、県立図書館は、市町村立図書館や学校図書館で購入できない専門書を揃え、それを市町村・学校に提供できるようになる。これにより、県立では市町村や学校ではできない課題解決支援にふさわしいコレクションに集中できる。	市町村や県立学校に少なくとも地方交付税措置として財政措置されている分は資料を購入することを働きかける(市町村については、現在、県内4団体しか、交付分以上を図書館の資料費に配分していない)。
		雑誌や新聞は、一般的なものだけではなく、専門的なものも含めて、2,000タイトル以上を収集し、提供します。	新聞 購入 108 紙 寄贈等 47 紙 全体受入数 155 紙 雑誌 一般 1,609 タイトル 郷土 555 タイトル 全体受入数 2,164 タイトル(県市重複あり) 一般雑誌は, 当年度未刊行のタイトル(年刊等)を含む見込み数。郷土雑誌は4～12月の受入実績を元に算出。	【成果】 〇 ・新聞、雑誌のリクエストは受けていないが、要望があった場合、館内で購入の検討をした。 【課題】 ・コロナ禍により雑誌の休刊やWEBへの移行が増えている。新聞の休刊もあり、新たな購入検討が必要となっている。	休刊となる度、排架場所の変更(揺り動かし)が必要となり窓口業務として非常に煩雑となるため、新たな購入雑誌の受入開始時期を半年に1回程度にまとめ、効率化を図る。	新聞 購入 109 紙 寄贈等 45 紙 全体受入数 154 紙 雑誌 一般 1,626 タイトル 郷土 695 タイトル 全体受入数 2,321 タイトル(県市重複あり)	【成果】 高知資料で図書扱いしていた雑誌を雑誌扱いにして、おおむね2000タイトル以上の目標は達成できる。 【課題】 雑誌については、課題解決支援のための専門雑誌も多く、個々に契約を行っているものが多数ある。そのため事務が非常に煩瑣になっている。また、一日に整理(データ登録、装備等)しなければならない雑誌の量も多く、負担が非常に大きい。	利用頻度が少ない雑誌については、装備を簡易なものとすることとした。ただし、事務やデータ登録が煩瑣で量が多くて時間内に処理できないことは解消されていない。
		開架スペースには、30万冊以上の資料を配置し、提供します。	開架冊数 371,239 冊 視聴覚資料含む ※数値は11/1の蔵書集計表より	【成果】 〇 ・利用者からの要望により開架にあったほうが良いと判断したものは適宜書庫から出して排架している。(〇〇全集等) 【課題】 ・開架のスペースは限られているため、古い書籍は閉架書庫に排架せざるを得ないが、利用者が直接手に取って見てもらうことができない。	利用者からの情報・要望により、開架にだすべきかどうかをすぐに協議し、資料情報修正の後、図書利用が排架する。	開架冊数 376,996 冊 視聴覚資料含む	【成果】 新鮮な本が開架に並べられ、利用者の一般的な満足度は高い。 【課題】 上に書かれていることの一方で、旧来の図書館からの利用者にとっては、従来、開架にあったものが書庫に入り、苦情もある。	必要と判断されるものは、書庫から物理的に許す範囲で開架に出している。抜本的な解決は、他にスペースを確保できる見込みがなければ難しい。 申込めば、書庫にも一部は入れることも案内しているが、苦情を言う人には納得いただけていない。
		電子書籍サービスは、閉館時でも、来館しなくても、資料を一定期間、閲覧できるなどのメリットがあります。メリットやデメリットを見極めながら導入します。	閲覧回数 12,152 回 利用可能タイトル数 5,763 タイトル	【成果】 〇 コロナ禍による休館や外出自粛要請により、非来館利用が可能な本サービスへの関心が高まった。併せて、メール登録を4/27より可とし、地元紙に取り上げてもらったたことなどから、登録者は前年度末の3.5倍、閲覧回数も9か月ですでに昨年度の昨年度比3.7倍となっている。 【課題】 この好機を生かし、今年度利用増となった閲覧回数を維持する必要がある。	コンテンツをこまめに追加購入することで、利用者の関心を継続するとともに、今年度の予算残で来館者の目を惹く広報物(開架エリアに設置が可能な自立型の立て看板などを想定)を制作するなどの対応を行う。 また、高知県でのGIGAスクール構想の推進に合わせて児童生徒に1人1台渡されるパソコンからの利用を促すための対応を行う。	閲覧回数 14,495 回 利用可能タイトル数 5,277 タイトル	【成果】 コロナの影響で、全国的にも図書館の電子書籍サービスについて報道され(オーテピアの事例ではない)、高知県でも認知度が高まった。 【課題】 高知県は情報機器の利用が不活発な県なのでアピールしていく必要がある。また、中高生の情報機器の利用がゲームとSNSに偏っているので電子書籍もよりアピールする必要がある。	GIGAスクールの一環として、高知県電子図書館を利用できるように準備している。ただし、現状でも、個々に登録はできる。また、大人数で同一タイトルを同時に使うことはできない(そこまで予算がない)ので、学校現場でも工夫して、一律の教育をやめて、ひとりひとりにあった探究的学習を進める必要がある。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度							令和2年度							令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日						令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日							令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題		今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)				【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題			今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
資料	利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	ハイブリッド型図書館を目指して、紙媒体の資料に加え、視聴覚資料やデータベース、デジタル化した歴史的資料など、電子媒体の資料を充実し、提供します。	視聴覚	所蔵数	23,337	点	【成果】 ・こども向けの視聴覚資料については、アニメのほか、乗り物や動物といったテーマの娯楽と学習の双方に資する資料を収集した。		・視聴覚資料については、ウェブ・サイトに公開している資料リストを更新する。(新着、ジャンル別等)	視聴覚	所蔵数	23,276	点	【成果】 〇 ・視聴覚資料については、ウェブ・サイトに公開している資料リストを更新した。(新着、ジャンル別等) ・利用者の要望もあり、寄席や歌舞伎に関する視聴覚資料を購入した。 ・視聴覚資料の所蔵情報をウェブOPAC等で検索しやすいよう、CD・DVDを選択できるようにした。	・郷土関係やバリアフリー対応の資料、課題解決に役立つ資料については、特に積極的に収集を行う。 ・「望む資料がない」「資料数が少ない」との声に対し、選書方針についてご理解いただけるよう、掲示等を行う。
				利用数	29,592	回	【課題】 ・視聴覚資料の所蔵情報をウェブOPAC等で検索しづらい。(視聴覚は選択できるが、CD・DVDでは選ぶことができない。)				利用数	39,372	回	【課題】 ・コロナウイルス感染拡大防止のため、家庭で過ごす時間が増えている現状を鑑み、娯楽系の資料(映画やアニメなど)も購入を検討している。 ・「望む資料がない」「資料数が少ない」との声が利用者から上がっているが、限られた予算内で選書方針に従って選書している旨を提示する必要がある。	
			データベース	種類	25	種	【成果】 ・マーケットシェア事典オンラインを導入したことで、昨年度まで複写を認められていなかった紙資料の『マーケットシェア事典』が今年度分から著作権の範囲内で複写が可能となり、利用者の利便性が向上した。		・データベースについては、職員が講師を務めるミニ講座の開催や、外部講師に依頼して行う講習会の開催を検討中。	データベース	種類	25	種	【成果】 〇 ・マーケットシェア事典オンラインを導入したことで、昨年度まで複写を認められていなかった紙資料の『マーケットシェア事典』が今年度分から著作権の範囲内で複写が可能となり、利用者の利便性が向上した。 ・利用者がデータベースに触れるきっかけづくりや少人数制ミニ講座の試行として、「オーテピア高知図書館ミニ講座　データベースを使ってみよう！医中誌Web基礎編」を健康・安心・防災情報サービスと共同で実施した(2月に同内容で4回)。参加者からは「内容がちょうどよい」や「このような講座が他にもあれば参加したい」などの声があり、好評であった。	各サービス担当等と協力して、次のような取組みを進めていく ・県外の講師にオンラインで講師を依頼するなどの、柔軟な講座の開催を検討する ・参加者の習得レベルの合わせた講座の実施と、開催頻度と規模について検討する ・データベースの周知
				利用回数	1,843	回	【課題】 ・データベースについて、新規導入した2つのデータベースのうち、日本農業新聞の利用が伸びていない。				利用回数	2,431	回	【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外から講師を招くことが難しい。 ・未利用者を対象としたミニ講座と、利用経験者を対象とした講座に分けた実施を検討する必要がある。 ・利用頻度の低いデータベースの周知が必要	
			デジタル化資料	目録数	33,357	点				デジタル化資料	目録数	33,357	点	【成果】 (県) 【課題】 59点のうち、当初予算分が42点。補正予算分が17点。当初予算分は田岡文庫に収蔵されている資料(大型絵図等)を中心にデジタル化を実施した。補正予算分は当館の刊行物「南路志」「憲章簿」をデジタル化し、あわせてテキスト・データを埋め込むことで全文検索も可能にした。 非来館型サービスの拡充という意味では大きな成果があったと思われるが、今後は利用増に向けた取り組みを行う必要がある。 (市) 近森文庫、中城文庫など13,260点の資料撮影を行った(そのうち、平尾文庫10,453点は、登録を行い、一部の制限付きの資料は非公開とした)。 企画展の準備として、近森文庫11点、横山家資料6点、加賀野井家資料5点の資料撮影を行った。 古文書の翻刻文や目次・見出しといった補助的な情報がデータベースに載せきれていない。	(県) 利用増に向けてPR等を行う。 (市) 紙ベースしかなく、テキスト化されていない既存の参考資料(土佐群書集成『燧袋』などの翻刻本)をデジタル化することで、データベースに載せきれない情報が検索・利用できるようなしくみ作りを検討。撮影と並行して、『燧袋』のテキスト入力を試験的に行う予定。
				画像数	(市)13,260 ※一部は制限付き資料のため、「非公開」 (県)23※画像コマ数ではなく、資料点数	点					画像数	(市)13,260 ※一部は制限付き資料のため、「非公開」 (県)59	点		
			・視聴覚資料については、ビジネス・健康安心防災サービスの選書をもとに、各サービスに資する資料を収集した。												
	高知県に とって必要な資料の保存	市町村立図書館等で保存しきれなくなった資料のうち、必要で保存価値のあるものを集約して保存します。	高知資料の保存数		－	点	【成果】 【課題】			高知資料の保存数		－	点	【成果】 進んでいない。 【課題】 まずもって保管場所の問題があり、取組は進んでいない。取組を進めるには当館だけでは難しく、他の行政機関等の協力を得る必要がある。	取組を進めるための体制について検討していく。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度					令和2年度					令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日				令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日					令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
貸出し・予約・リクエスト	セルフ式貸出機等の利用	セルフ式貸出機やセルフ式予約受取コーナーを配置し、利用者の使いやすさやライフスタイルに合った環境を整備します。	セルフ貸出機利用率（貸出点数比）	74.40	%	【成果】 △　ほぼこの値で止まっている。 【課題】 窓口業務の負担を減らすためには、100%に近づける必要がある。	機会が苦手な利用者も一定数いると思われるが、窓口でも地道にセルフ貸出機の利用案内を継続して行う。	セルフ貸出機利用率（貸出点数比）	74.44	%	【成果】 △　ほぼこの値で止まっている。 【課題】 窓口業務の負担を減らすためには、100%に近づける必要がある。	機会が苦手な利用者も一定数いると思われるが、窓口でも地道にセルフ貸出機の利用案内を継続して行う。
	市町村立図書館等を通した資料の貸出	資料は、来館しなくても、市町村立図書館等を通して貸し出します。	相互貸出　貸出	24,354	点	【成果】 【課題】		協力貸出　貸出	32,322	点	【成果】 〇 R2年度は感染症対策で多くの館が長期休館となったが、貸出冊数は前年度並みを維持できた。（※R1年度実績32,301点） 【課題】 あまり貸出実績のない図書館等もある。自館資料でまかなえているという理由もあるだろうが、協力貸出のしくみやセット資料のラインナップについてさらに広報が必要と思われる。	・巡回訪問やブログ等を通じて市町村立図書館へ積極的に広報する。 ・貸出傾向やレファレンス内容も参考にしながら、移動図書館、セット貸出用資料の収集・充実を図る。
			※大学図書館への貸出も含む。					※大学図書館への貸出も含む。					
	資料のリクエスト	資料のリクエストは、収集基準に基づき判断し、地域のニーズを踏まえて、入手可能な資料は積極的に収集します。	【取組】 ・リクエストを受けた資料は積極的に収集した。 ・入手困難なものは相互貸借にて対応した。			【成果】 〇 ・書店で購入できないものは出版社から直接購入をしてリクエストに応えるようにしている。 【課題】 リクエスト受付から購入発注までスムーズに流れているが、個人出版などのリクエストは手に入らないものもある。	手に入らないものは情報を収集し、入手確保に努める。	【取組】 ・リクエストを受けた資料は積極的に収集した。 ・入手困難なものは相互貸借にて対応した。			【成果】 〇 ・書店で購入できないものは出版社から直接購入をしてリクエストに応えるようにしている。 【課題】 リクエスト受付から購入発注までスムーズに流れているが、個人出版などのリクエストは手に入らないものもある。	手に入らないものは情報を収集し、入手確保に努める。
	取り寄せ(相互貸借)	当館にない資料は、希望の資料を所蔵する図書館等を調べ、取り寄せに時間のかかる場合などもありますが、可能な限り、要望に応じます。	借受業務受付冊数	509	冊	【成果】 ・当館にない資料でも、他館から取り寄せて、利用者へ提供できている。 ・新型コロナ感染拡大防止のため学外者入館禁止措置を取っている大学図書館の資料を、相互貸借で提供する機会が増えた。 ・返却時、資料の状態を書いた用紙を利用者が紛失することが続いたため、様式を改訂した。 【課題】 ・一般図書だけでなく、洋書や雑誌、絶版された図書へのリクエストも多く、結果として相互貸借で対応する件数が増加。このため、相互貸借業務に要する時間が増大している。	【借受】 ・受付時のミスを減らし、早く利用者へ資料提供ができるように、リクエスト受付の研修を行い、1件あたりの作業時間を短縮していくようにする。 【貸出】 ・担当分担を見直し、依頼件数の増加への対応策を講じる。	借受業務受付冊数	674	冊	【成果】 〇 ・当館にない資料でも、他館から取り寄せて、利用者へ提供できている。 ・新型コロナ感染拡大防止のため学外者入館禁止措置を取っている大学図書館の資料を、相互貸借で提供する機会が増えた。 ・返却時、資料の状態を書いた用紙を利用者が紛失することが続いたため、様式を改訂した。 【課題】 ・一般図書だけでなく、洋書や雑誌、絶版された図書へのリクエストも多く、結果として相互貸借で対応する件数が増加。このため、相互貸借業務に要する時間が増大している。	【借受】 ・受付時のミスを減らし、早く利用者へ資料提供ができるように、リクエスト受付の研修を行い、1件あたりの作業時間を短縮していくようにする。 【貸出】 ・担当分担を見直し、依頼件数の増加への対応策を講じる。
			※貸出業務受付冊数	559	冊			※貸出業務受付冊数	806	冊		
	リクエストしやすい環境の整備	リクエスト申込書を館内の利用者の目につきやすい場所に設置します。また、リクエストサービスを紹介するチラシなどを作成し、提供します。より便利な環境を整備するため、図書館ホームページからのリクエスト専用フォームの導入の検討を行います。	リクエスト用紙は館内に設置し、窓口にて受付をしている。また、メールや電話等でも受け付けている。			【成果】 〇　リクエスト件数　2,289件 ※相互貸借件数含む 【課題】 ウェブ・サイトからのリクエスト申込は、本を特定できないあいまいな情報のものも多くなるため、専用フォームの導入には十分な検討が必要	電話・FAX・メール・ハガキ・窓口でのリクエスト申込を行う。 専用フォームの導入検討を行う。(TRCのものだけ、書誌情報を細かく入力させるなど、システム改修が必要。)	リクエスト用紙は館内に設置し、窓口にて受付をしている。また、メールや電話等でも受け付けている。			【成果】 〇 リクエスト件数　3,042件 ※相互貸借件数含む 【課題】 ウェブ・サイトからのリクエスト申込は、本を特定できないあいまいな情報のものも多くなるため、専用フォームの導入には十分な検討が必要	専用フォームの導入検討を行う。(TRCのものだけ、書誌情報を細かく入力させるなど、システム改修が必要。)

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

| サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan） | | | 令和2年度 | | |

| サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan） | 令和2年度 | | |

| サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan） | 令和2年度 | | |

| サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan） | | | 令和2年度 | | |

| サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan） | | | 令和2年度 | | |

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 / 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 冒頭に達成状況を○△×で / 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
収集	図書以外の資料の収集	現在、収集が十分でない図書以外の資料(地図、パンフレット、DVD等)について、収集や整理、提供の方法を検討したうえで、収集します。	【取組】 チラシ・ポスターやパンフレット類等も収集を増やしている。県市担当で協議しながら書誌の作成を行っている。	【成果】収集したものを整理し、図書館資料として利用者に提供することができた。 【課題】送付されてくるパンフレット類については収集できるが、それ以外のものを収集するのが困難	行政機関を含め民間団体等にも連絡をし，高知関係資料の収集につとめる。 利用者の声や、新聞等で報じられる出版情報にもアンテナを張り、寄贈依頼を積極的におこなうなどして資料の充実に努める。	【取組] チラシ・ポスターやパンフレット類等も収集を増やしている。県市担当で協議しながら書誌の作成を行っている。	【成果】収集したものを整理し、図書館資料として利用者に提供することができた。 特に市町村作成の広報チラシや観光パンフレット、県内文化施設のイベントチラシなどは、各自治体・施設ごとのファイルを作成して閲覧を容易にした。 【課題】送付されてくるパンフレット類については収集できるが、それ以外のものを収集するのが困難	行政機関を含め民間団体等にも連絡をし，高知関係資料の収集につとめる。 利用者の声や、新聞等で報じられる出版情報にもアンテナを張り、寄贈依頼を積極的におこなうなどして資料の充実に努める。
	「高知ならでは」の資料の収集	「よさこい祭り」など、高知に深く関わるテーマを、重点的に収集します。	【取組】関係者の協力をいただきながら、継続して県外よさこい資料の収集を進めている。あわせて高知新聞掲載の「よさこい」関係記事のスクラップもおこなっている。	【成果】少しずつではあるが、よさこい関係資料（特に県外のよさこい系イベントに関する資料）が増えている。また、収集に協力いただいた方々を中心に、オーテピアでよさこい関係資料を集めていることが認知されつつある。11月のお城下文化の日に「よさこい」関連の講演会をおこない、図書館で「よさこい」関係資料を収集していることをPRできた。 【課題】紙資料でない物の寄贈申し出等があった場合，収集するかどうか，また，収集した場合どのように整理・保存していくのかが課題。 よさこい関係資料を収集していることがまだまだ知られていない。	紙資料以外の収集・整理基準を決める必要がある。 よさこい関係資料を収集していることをアピールする。（チラシの作成、ウェブサイトでのお知らせ等）	【取組] 関係者の協力をいただきながら、継続して県外よさこい資料の収集を進めている。あわせて高知新聞掲載の「よさこい」関係記事のスクラップもおこなっている。	【成果】少しずつではあるが、よさこい関係資料（特に県外のよさこい系イベントに関する資料）が増えている。また、収集に協力いただいた方々を中心に、オーテピアでよさこい関係資料を集めていることが認知されつつある。11月のお城下文化の日に「よさこい」関連の講演会をおこない、図書館で「よさこい」関係資料を収集していることをPRできた。 【課題】紙資料でない物の寄贈申し出等があった場合，収集するかどうか，また，収集した場合どのように整理・保存していくのかが課題。 よさこい関係資料を収集していることがまだまだ知られていない。	紙資料以外の収集・整理基準を決める必要がある。 よさこい関係資料を収集していることをアピールする。（チラシの作成、ウェブサイトでのお知らせ等）
	高知県にとって必要な資料の収集	高知県にとって必要な資料が散逸しないように関係機関とつながりを持つなどして、貴重な資料を収集します。	【取組】こうちミュージアムネットワーク会員館として、同ネットワークが取り組んでいる県内資料の散逸を防ぐ取り組みに参加し、県内資料の状況について情報共有している。	【成果】他館から寄贈等の紹介があった場合，検討し資料の収集を行っている。施設・機関の蔵書状況だけでなく、県内の個人所有の資料についての情報も共有することができ、特に個人が資料の取り扱いに苦慮している実態について理解が深まった。 【課題】資料の散逸を懸念する個人の方からの申し出（個人では管理ができないので引き取って欲しいなど）に、対応できるだけのスペースやマンパワーがない。	収集したものは適宜整理していくようにする。 資料の保管場所の問題は、当館だけの問題ではない。こうちミュージアムネットワークでは、廃校等の利活用についても課題として検討しており、会員館として積極的に議論に参加し、情報収集と共有に努める。	【取組】こうちミュージアムネットワーク会員館として、同ネットワークが取り組んでいる県内資料の散逸を防ぐ取り組みに参加し、県内資料の状況について情報共有している。	【成果】こうちミュージアムネットワーク事務局である高知城歴史博物館を中心に、県内の個人所有の資料について、その管理に苦慮していることや散逸しかねない状況にあることも含め情報共有できた。 【課題】資料の散逸を懸念する個人の方からの寄贈の申し出に対して、スペースや人員体制など、単館では対応することが難しい。	収集したものは適宜整理していくようにする。 資料の保管場所の問題は、当館だけの問題ではない。こうちミュージアムネットワークでは、廃校等の利活用についても課題として検討しており、会員館として積極的に議論に参加し、情報収集と共有に努める。
	行政資料の収集	県庁や高知市役所をはじめとして、他の県内各市町村に対しても図書館への行政資料提供の徹底を働きかけて、収集します。	【取組】 (市)年度の初めに各課へ寄贈依頼を発信。 (県)年度初めの全庁メールによる県庁各課および出先機関への寄贈呼びかけに加え、今年度は初の試みとして、8月の県庁執務環境整理月間に合わせて再度全庁へのメール発信をおこなった。 (県)県内市町村および県内私立学校・大学に対して資料寄贈依頼をFAXでおこなった。	【成果】（県）8月に県庁各課に発信した寄贈依頼メールには、これまで反応のなかった課からの問い合わせがあり、行政資料の充実につながった。 【課題】各市町村から，継続して寄贈されない（担当者が代わり引き継がれていない）こともある。 県・市町村ともに、ウェブサイトでの公開のみで紙資料を作成しない行政資料が増えつつある。このようなデジタル資料への対応を検討する必要がある。	引き続き年に１～２度，寄贈依頼を発信する。 検討する材料として、まずは県の行政資料について、県庁ウェブサイトで公開されている行政資料を把握し、当館での所蔵の有無、紙資料を作成しているかの確認等をおこなう。検討にあたっては、県立公文書館とも意見交換する。	【取組] (県)年度初めと8月の県庁執務環境整理月間に合わせての2度、全庁メールによる県庁各課および出先機関への行政資料寄贈の呼びかけをおこなった。また、県内市町村総務課および県内私立学校・大学に対して資料寄贈依頼をFAXでおこなった。 (市)年度初めに全庁掲示板で各課へ寄贈依頼を発信した。	【成果】（県）県庁各課については確実に図書館で資料収集していることの認知度が上がっており、行政資料の充実につながった。また利用者からの問い合せも増えており、収集した資料が活用されている手応えを感じた。 （市）市も同様に、全庁掲示板を見ての寄贈及び寄贈の問い合わせが年々増加している。 【課題】（県）各市町村から，継続して寄贈されない（担当者が代わり引き継がれていない）こともある。県・市町村ともに、ウェブサイトでの公開のみで紙資料を作成しない行政資料が増えつつある。このようなデジタル資料への対応を検討する必要がある。	引き続き年に１～２度，寄贈依頼を発信する。 検討する材料として、まずは県の行政資料について、県庁ウェブサイトで公開されている行政資料を把握し、当館での所蔵の有無、紙資料を作成しているかの確認等をおこなう。検討にあたっては、県立公文書館とも意見交換する。
保存	貴重資料の保存環境の向上	貴重資料を貴重書庫で保存し、保存環境の向上を図ります。	【取組】前年度同様、定期的な貴重書庫の清掃と害虫トラップ設置、温湿度計測器の設置をおこない、貴重書庫内の適切な資料保管環境の維持につとめている。 (市)出納作業をより円滑に行うために、貴重書庫内の文庫(資料群)を50音順に並べ替える作業を行っている。	【成果】（市）貴重書庫内の文庫（資料群）を５０音順に並べ替えたことで、出納作業をより円滑に行うことができるようになった。 光に弱い錦絵を専用のタンスへ入れ替えたことで保存環境が改善した。 【課題】特に問題は発生していない。	引き続き貴重書庫の環境管理を行い，県市で情報共有を行う。	【取組] 前年度同様、定期的な貴重書庫の清掃と害虫トラップ設置、温湿度計測器の設置をおこない、貴重書庫内の適切な資料保管環境の維持につとめている。 (市)出納作業をより円滑に行うために、貴重書庫内の文庫(資料群)を50音順に並べ替える作業を行った。	【成果】（市）貴重書庫内の文庫（資料群）を５０音順に並べ替えたことで、出納作業をより円滑に行うことができるようになった。 光に弱い錦絵を専用のタンスへ入れ替えたことで保存環境が改善した。 【課題】特に問題は発生していない。	引き続き貴重書庫の環境管理を行い，県市で情報共有を行う。
	歴史的資料のデジタル化	優先度に従って、順次、歴史的資料のデジタル化を行い、原資料の良好な保存と手軽に利用ができるようにします。	【取組】(市)職員による資料撮影を計画的に進めている。近森文庫、中城文庫など13,260点の資料撮影を行った(そのうち、平尾文庫10,453点は、登録を行い、一部の制限付きの資料は非公開とした)。 (市)企画展の準備として、近森文庫11点、横山家資料6点、加賀野井家資料5点の資料撮影を行った。 (県) ・当初予算での撮影分は、2月末には納品の予定で撮影作業中。 ・補正予算で「南路志」「憲章簿」(全17冊)のデジタル化、テキストデータ化を実施することになり、11月から委託して作業中。撮影は12月中に完了。現在テキスト・データの校正作業中。	【成果】近森文庫、中城文庫など13,260点の資料撮影を行った（そのうち、平尾文庫10,453点は、登録を行い、一部の制限付きの資料は非公開とした）。 (市)企画展の準備として、近森文庫11点、横山家資料6点、加賀野井家資料5点の資料撮影を行った。 （県）補正予算分の成果物のうち、『南路志』第1巻の画像データ、テキスト・データについては納品・検査済。 【課題】（市）現在はデータベースの内容充実を図ることに重点を置いているが、古文書の翻刻文がデータベースに載せきれていない（土佐群書集成『燧袋』などの翻刻本）。 （県）補正予算分の成果物のうち、テキスト・データの検査には特に時間を要する。	（市）紙ベースしかなく、テキスト化されていない既存の参考資料（土佐群書集成『燧袋』などの翻刻本）をデジタル化することで、データベースに載せきれない情報が検索・利用できるようなしくみ作りを検討 （県） ・補正予算分の成果物は、仕上がったものから順次納品するようにすることで、成果物の検査が一時に集中することがないようにしている。ただし、テキストデータの検査は膨大な作業量なので、効率的な方法を適宜検討しつつ進めていく。	【取組] (市)職員による資料撮影を計画的に進めている。 (県) ・田岡文庫に所蔵されているものを中心に42点の資料のデジタル画像を作成した。 ・上記とは別に、補正予算(新型コロナ対策交付金)を活用し、『南路志』(全10巻)と『憲章簿』(全7巻)のデジタル画像とテキスト・データを作成し、Webサイトにおいて公開した。	【成果】（市） 近森文庫、中城文庫など13,260点の資料撮影を行った（そのうち、平尾文庫10,453点は、登録を行い、一部の制限付きの資料は非公開とした）。 企画展の準備として、近森文庫11点、横山家資料6点、加賀野井家資料5点の資料撮影を行った。 （県） ・利用者が閲覧できるデジタル画像が増えた。 ・特に『南路志』『憲章簿』は高知関係の調べものをする際に頻繁に使用する基本的な資料であり、今回テキスト・データを埋め込むことで全文検索も可能になったので、図書館職員・利用者双方にとって利用しやすくなった。 【課題】（市） 古文書の翻刻文や目次・見出しといった補助的な情報がデータベースに載せきれていない。 （県） ・近世以前の資料には賤称語が散見されるものも多い。『南路志』『憲章簿』にも、賤称語と地名とが結びつくような、悪用される懸念がある箇所もあったため、当該の箇所についてはひとまず非公開とした。今後、こうした資料をインターネット上で提供していくための方針を考える必要がある。 ・全文検索について、表記の揺らぎ等には対応できていない。	（市） 紙ベースしかなく、テキスト化されていない既存の参考資料（土佐群書集成『燧袋』などの翻刻本）をデジタル化することで、データベースに載せきれない情報が検索・利用できるようなしくみ作りを検討。撮影と並行して、『燧袋』のテキスト入力を試験的に行う予定。 （県） ・プライバシー侵害に関わる資料の提供方法についてはオーテピア高知図書館全体に関わる問題なので、県・市両館で方針を考えていく。 ・全文検索については、より使いやすい形で提供できるように今後も見直していく。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績（数値は12月31日時点）	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を○△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）
提供	資料の提供	高知県関係資料コーナー及び専用のカウンターにおいて、資料を提供するとともに、司書がレファレンスに対応します。	受付　事項　683　件 所蔵　1,758　件 郵送複写　85　件 1,998　枚	【成果】○行政支援のレファレンスや番組制作に係るレファレンスなど、多岐にわたる依頼をいただいた。回答期限については、以前に比べて余裕を持って回答できている。 ○郵送複写は前期同様、コロナの影響を受けず多々ご依頼をいただいた。 【課題】職員のスキルアップが足りていない。	スキルアップ資料については引き続き作成を行う。 郵送複写も引き続き対応を行う。	受付　事項　1,019　件 所蔵　2,711　件 郵送複写　88　件 2,218　枚	【成果】○ 行政支援のレファレンスや番組制作に係るレファレンスなど、多岐にわたる依頼あり。 当館のレファレンス・サービスの浸透を感じる。 【課題】レファレンス対応における職員のスキルが不足している。	○スキルアップ資料の作成を引き続き行うとともに，定期的に職員に対する研修を実施する。 ○レファレンス協同データベースへの事例登録を進め，情報の蓄積を行うとともに，調査時間の短縮を図る。
	デジタル化された歴史的資料の提供	商品のパッケージ・デザインといった活用等の要望があった場合、データを提供します。	データ提供を随時行っている。	【成果】（市）閲覧27件、撮影43件、掲載37件（うち商用利用1件）、放映7件、貸出8件 掲載された資料を見て、閲覧等の問い合わせもあった。 〈利用例〉掲載 ・読売新聞高知県版7月11日「ニュースの門@高知　スイーツのヒミーツ・夏編」で寺田正写真文庫51A-5-1「アイスクリーム屋（桂浜）」が掲載された。 ・高知市立自由民権記念館開館30周年記念として制作・販売されるクリアファイルに、近森文庫180「湘烟日記」（岸田俊子肖像）が採用された。 放映 ・NHK BSプレミアム「英雄たちの選択　板垣退助」放映のため、松野尾家資料追加81「（仮）影神帖　二編」所載の「立志社風景写真」が使用された。 （県） 出版物への掲載申請などがあった。また、レファレンスに使用するケースも多数あった。 【課題】（市）将来、貴重資料の商用利用の拡大を図ることに力を入れるべきか。どんなことが利用者から求められているのかを精査する必要がある。 （県）デジタル・ギャラリーのPRに十分取組めていない。	すでにパッケージデザインされている例をまとめたチラシ等を作成し、利用促進に努める。 （市）令和元年度にも行ったが、貴重資料は研究だけではなく、グッズの開発や地域おこしの材料となることを周知する取組（まちゼミでのワークショップ開催など）を検討する。 （県）デジタル・ギャラリーの改修後にはPRを行う。	・画像データの利用申請があった場合は、随時提供した。 ・デジタル・ギャラリーの改修に伴い、二次利用の条件等を明記した。	【成果】（市）閲覧34件、撮影52件、掲載43件（うち商用利用1件）、放映13件、貸出11件 掲載された資料を見て、閲覧等の問い合わせもあった。 〈利用例〉掲載 ・読売新聞高知県版7月11日「ニュースの門@高知　スイーツのヒミーツ・夏編」で寺田正写真文庫51A-5-1「アイスクリーム屋（桂浜）」が掲載された。 ・高知市立自由民権記念館開館30周年記念として制作・販売されるクリアファイルに、近森文庫180「湘烟日記」（岸田俊子肖像）が採用された。 放映 ・NHK BSプレミアム「英雄たちの選択　板垣退助」放映のため、松野尾家資料追加81「（仮）影神帖　二編」所載の「立志社風景写真」が使用された。 （県） ・出版物への掲載をはじめ、Youtube動画での使用などの事例があった。 【課題】（市）将来、貴重資料の商用利用の拡大を図ることに力を入れるべきか。どんなことが利用者から求められているのかを精査する必要がある。 （県） ・PRが十分にできていない。	（市） ・令和元年度にも行ったが、貴重資料は研究だけではなく、グッズの開発や地域おこしの材料となることを周知する取組（まちゼミでのワークショップ開催など）を検討する。 ・収蔵品検索データベースのシステム更新に伴い、あらためて広報誌等で当データベースの周知を図り、利用につなげたい。 （県） ・デジタル・ギャラリーの改修に伴い、報道機関への投げ込み等を行う予定。 ・図書館側から積極的にPRする方法を考えていく。
	デジタル化資料のウェブ・サイトでの公開	利用の要望が多い歴史的資料については、ウェブ・サイトでの公開を進めます。	（市）公開した内容のブラッシュアップを実施。各文庫の図書類17,573点、寺田正写真文庫の写真4,024点、中城文庫8,068点の項目「分類1～4」の更新を実施。一宮村資料22点、若尾文庫787点の目録情報の修正を実施。 （市）収蔵品検索データベース「図書館のおすすめ」の定期更新を実施。 （県）デジタル・ギャラリー改修の設計を進めた他、改修に必要なメタ・データの作成を行った。 Musethequeの田岡典夫文庫目録については、18箱～21箱（資料総数727点）および署名本（233冊）の整理を終えた。	【成果】（市）提供点数が増え、利用者への提供内容が充実した。 分類項目の更新により、資料の抽出がしやすくなった。 各文庫の図書類17,573点、寺田正写真文庫の写真4,024点、中城文庫8,068点の項目「分類１～４」の更新を実施。一宮村資料22点、若尾文庫787点の目録情報の修正を実施。 （市）収蔵品検索データベース「図書館のおすすめ」の定期更新を実施。 ・【おうちで四季めぐり―秋の夜長に―】各文庫の美術工芸25点を更新。 ・【おうちで四季めぐり―雪やこんこん冬景色―】各文庫の美術工芸17点を更新。 （県）現時点では特になし。 【課題】（市）資料分類をできるだけの知識が職員によってまちまちなため、作業が偏りがちである。 （県） ・スケジュールに余裕がない。特に全文検索に使用するテキスト・データの検査には手間がかかる。 Musethequeの田岡典夫文庫目録については、今年度中の目録データ公開を予定して作業を進めていたが、上記『南路志』等デジタル化に係るテキストデータの検査作業を最優先する判断の下、12月末で作業を中断した。	（市）分類項目の更新と、担当職員向けの分類勉強会を行う。 （県） ・進捗管理は入念に行う。 ・補正予算分の成果物は、仕上がったものから順次納品するようにすることで、成果物の検査が一時に集中することがないようにしている。ただし、テキストデータの確認作業は膨大な作業量なので、効率的な方法を適宜検討しつつ進めていく。 今年度中の公開ができなくなったMusethequeの田岡典夫文庫目録については、次年度以降、できるだけ早い時期での目録公開に向けて作業計画を検討する。	【取組】 （市）公開した内容のブラッシュアップを実施。各文庫の図書類17,573点、寺田正写真文庫の写真4,024点、中城文庫8,068点の項目「分類1～4」の更新を実施。一宮村資料22点、若尾文庫787点の目録情報の修正を実施。 （市）収蔵品検索データベース「図書館のおすすめ」の定期更新を実施。 （県） ・デジタル・ギャラリーの改修を行い、資料種別等の分類からも画像を検索できるように改善した。 ・メタ・データを充実させることで資料情報をより詳細なものにするとともに、資料種別等の分類から階層的に画像を探せるようにした。また、翻刻文をテキスト検索できるようにした。 Musethequeの田岡典夫文庫目録については、3月末時点で総数4693点のうち3576点の目録を作成した（総数については今後の作業の中で増える可能性あり）。	【成果】（市）分類項目の更新により、資料の抽出がしやすくなった。 各文庫の図書類17,573点、寺田正写真文庫の写真4,024点、中城文庫8,068点の項目「分類１～４」の更新を実施。一宮村資料22点、若尾文庫787点の目録情報の修正を実施。提供点数が増え、利用者への提供内容が充実した。 （市）収蔵品検索データベース「図書館のおすすめ」の定期更新を実施。 ・【おうちで四季めぐり―秋の夜長に―】美術工芸25点を公開。 ・【おうちで四季めぐり―雪やこんこん冬景色―】美術工芸17点を公開。 ・【企画展『装いと粧い―眠りから覚めた 愛おしきものたち―』】歴史資料や美術工芸など39点を公開。 ・【おうちで四季めぐり―心弾ます春うらら―】美術工芸24点を公開。 （県） ・これまではデジタル・ギャラリーで画像を探す際にはキーワード検索によるか、画像のサムネイルから探すしかなかったが、資料の種別等から検索出来るように改修したので、キーワード等を思いつかずとも探せるようになった。 【課題】（市）資料分類をできるだけの知識が職員によってまちまちなため、作業が偏りがちである。 （県） ・メタ・データ項目がこれで十分かどうかは今後も検討が必要。 ・Ｒ２年度末にMusethequeで公開する予定であった田岡典夫文庫の目録公開ができていない。	（市）分類項目の更新と、担当職員向けの分類勉強会を行う。 （県） ・メタ・データ項目については、画像利用や全文検索といった他の要素を念頭におきつつ検討し、必要であれば追加して、検索機能の強化につなげる。 ・Ｒ３年度前半にはMusethequeで田岡典夫文庫目録が公開できるよう、引き続き資料調査に取り組む。その後は、同文庫との関係も深い田中貢太郎文庫（総数約620点）の目録作成に着手し、土佐出身の文学者に関する情報発信の強化につとめる。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を○△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
	資料の展示	実物資料や解説パネルを中心に資料展示室で展示を行い、貴重な資料を閲覧できるようにします。	【取組】 県市両館所蔵の貴重資料を使った企画展示を開催。 ①昭和の博覧会と肖像写真(1/11～4/17) ②濱口雄幸と野村茂久馬(5/12～7/15) ③中城文庫展(7/21～9/22) ④三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-(9/29～12/27)	【成果】展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。 （入室者数） ①昭和の博覧会と肖像写真　942人（会期60日） ②濱口雄幸と野村茂久馬　617人（会期54日） ③中城文庫展　753人（会期56日） ④三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-　2,463人（会期76日） 【課題】コロナ禍の影響などにより，利用者数が減少傾向	1月以降の展示予定 装いと粧い-眠りから覚めた　愛おしきものたち-（1/9～4/18） 今後は展示についての広報活動を積極的に展開し，より広範囲に情報を発信する。また，将来的に常設展示をおこなうことを考慮し，その内容を検討する。	【取組】 ①昭和の博覧会と肖像写真（1/11～4/17） ②濱口雄幸と野村茂久馬（5/12～7/15） ※展示解説…6/6（1名）・6/20（4名）・7/4（5名） ③中城文庫展（7/21～9/22） ※展示解説…8/2（5名）・8/9（5名）・8/16（4名）・8/30（6名） ④三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-（9/29～12/27） ※展示解説…10/3(19名）・10/11(6名）・10/31(9名）・11/8(6名）・11/21(3名）・12/19(3名） ⑤「装いと粧い-眠りから覚めた　愛おしきものたち-」（1/9～4/18） ※展示解説…2/21（５名）・3/14（５名）	【成果】○ 展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。 （入室者数） ①昭和の博覧会と肖像写真　942人（会期60日） ②濱口雄幸と野村茂久馬　617人（会期54日） ③中城文庫展　755人（会期56日） ④三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-　2,463人（会期76日） ⑤装いと粧い-眠りから覚めた　愛おしきものたち-　2,037人（会期59日） ※会期は3/31までの日数による 【課題】コロナ禍の影響などにより，利用者数が減少傾向 企画展開催により，労力が大幅に割かれる	常設展を検討する。 ウェブサイトの収蔵品検索データベースへの画像登録を進めるとともに，図書館のおすすめコーナーを積極活用する。
	レファレンス回答結果の提供	高知県に関係する質問への回答(図書等を使って行った回答)を当館のホームページやレファレンス協同データベース」に登録し、閲覧できるようにします。	様式について土台の作成がされた。	【成果】× 登録の様式の土台が作成された。 【課題】公開にまだ取り付けていない。	公開に向け様式を整えつつ、自館登録を進める。	公開のための書式を各サービスで統一し，高知資料では自館登録分に対してその書式に即した修正を行った。	【成果】△ 公開に向けて準備中である。 【課題】公開にまだ取り付けていない。	書式の修正が追いつかずに一般公開までいたらなかったが，今後は過去分について一般公開を進めていくとともに，新規分の自館登録も蓄積していく。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度			令和2年度		令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日		令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
資料	利用者の多様なニーズに応える資料の収集・提供	調べものにも対応できるように、一般図書は国内年間出版点数の5割以上を目指して収集します(再掲)。	1 地域を支える情報拠点 (1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)のサービス取組内容 「 資料 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「 資料 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービス のサービス取組内容等 「 資料 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (4)行政支援サービス のサービス取組内容等 「 資料 」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (1)児童サービスのサービス取組内容等 「 資料 」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (2)ティーンズ・サービスのサービス取組内容等 「 資料 」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (3)多文化サービスのサービス取組内容等 「 資料 」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (4)図書館利用に障害のある人へのサービスのサービス取組内容等 「 資料 」を参照						
利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの作成・提供	資料を探す際に役立つブックリストやパスファインダーを作成し、館内や図書館ホームページ上で提供します(再掲)。	2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービス のサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (4)行政支援サービス のサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供 」を参照 3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (2)ティーンズ・サービスのサービス取組内容等 「利用ガイド → パスファインダーの作成・提供 」を参照 4 連携・支援及び図書館の活用 (3)県立学校図書館等との連携・協力(県立図書館機能)のサービス取組内容等 「協力 → ブックリストやパスファインダーの作成・提供 」を参照						
	レファレンス事例の公開	図書館に来館しなくても、インターネットを通じて課題を解決できるように当館のホームページや「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例を登録します。特に、高知県関係については積極的に公開します。	1 地域を支える情報拠点 (2)高知県関係資料の収集・保存・提供のサービス取組内容等 「 提供→レファレンス回答結果の提供 」を参照					
	ホームページ等によるレファレンスの受付	より気軽に質問等していただけるように、来館や電話、FAX、メール、郵便での受付に加え、当館のホームページにレファレンス専用フォームを設け、受け付けます。	1 地域を支える情報拠点 (2)高知県関係資料の収集・保存・提供のサービス取組内容等 「 提供→資料の提供 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「 レファレンス→レファレンス・サービス 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービス のサービス取組内容等 「 レファレンス→レファレンス・サービス 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (4)行政支援サービス のサービス取組内容等 「 資料 」を参照						
連携	専門機関や団体等の紹介	相談内容に応じて、他の図書館への問合せをしたり、専門機関等の相談窓口を紹介します。その後も各機関と連携を図りながら、支援します。	2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「 レファレンス→課題解決に向けた専門機関や団体等の紹介 」を参照 2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービス のサービス取組内容等 「 レファレンス→課題解決に向けた専門機関や団体等の紹介 」を参照						
PR	レファレンス・サービスのPR	当館のホームページ、ブログやフェイスブックなどのSNS、チラシ配布、ポスター掲示、出前図書館等により、積極的にPRします。	3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (2)ティーンズ・サービス 「利用ガイド → パスファインダーの作成・提供 」を参照					
職員研修	接遇力の向上	コミュニケーション能力、傾聴力等の向上のため接遇研修を定期的に実施します。	1 地域を支える情報拠点 (1)資料・情報の提供(貸出し・閲覧・予約)のサービス取組内容 「 職員研修→接遇研修 」を参照					
	調査能力の向上	レファレンス事例の共有、定期的な勉強会の実施、外部研修への参加等により、専門性を高めて調査能力の向上に努めます。	【これまでの取組状況】 館内司書が講師となって、分野別のレファレンス研修を5月～12月の間、延べ14(7テーマ・同内容で2回ずつ開催)回開催した。 毎月第2・第4金曜日に同じ内容で実施し、いずれかを受講する方式としている。	【成果】 通常の開館日に開催しているが、シフト上都合のよいいずれかの日に出席すればよいため、第3金曜日の休館日には別の内容で全体研修が可能。	【今後の『取組』】	【これまでの取組状況】 館内司書が講師となって、分野別のレファレンス研修を5月～3月の間、延べ20回(10テーマ・同内容で2回ずつ開催)開催した。 毎月第2・第4金曜日に同じ内容で実施し、いずれかを受講する方式としている。	【成果】 通通常の開館日に開催しているが、シフト上都合のよいいずれかの日に出席すればよいため、第3金曜日の休館日には別の内容で全体研修が可能。	【今後の『取組』】 2年度末で分野別の研修はひととおり終了した。3年度からは、図書館の統計とサービス評価、出版流通の仕組み、図書館関係法令など新たなテーマで研修を実施する。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度							令和2年度				令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日						令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】（Do） R2.4～R2.12の実績（数値は12月31日時点）				【取組の成果と課題】（Check） 成果 課題		今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	【これまでの取組状況】（Do） R2.4～R3. 3の実績（数値は3月31日時点）		【取組の成果と課題】（Check） 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題		今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）
資料	図書の収集・提供	ビジネス支援機関とも協力しながら、第一次産業から第三次産業までの事業やサービスについての図書を収集し、ビジネス・農業・産業支援スペースにおいて提供します。 特に、観光や流通、コンテンツ・ビジネス、農業（技術書等）、食品加工等、高知県の課題となっている分野の資料、資格取得や就業、商店や商店街に役立つ資料については、重点的に収集し、提供します。また、さまざまな事情で離職・休職中の方の社会復帰や定年退職者へのシニアビジネスを支援する資料についても収集し、提供します。	排架数 図書　冊 新聞　紙 雑誌　タイトル ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して行っている。				【成果】　職業ガイドやITコーナーなど、開架書架に本が一杯で返本できなくなっている箇所について、計画的・重点的に書庫入れや揺り動かしを行った。 【課題】　・参考図書コーナーで貸出可資料を探す方が多い。 ビジネススペース内には労働関係の資料が配架されているが、メンタルヘルスや職場のストレスなど、ビジネススペース以外に配架されている労働関係の資料もあり、労働関係の資料が一か所にまとまって配架されていない。		・引き続き、利用者にとって利用しやすい環境づくりに取り組んでいく。 ・参考図書コーナーであることをわかりやすく知らせるような工夫を検討中。 ・メンタルヘルスや職場のストレスなどの、ビジネススペース内に配架されていない労働関係の資料を、展示やサイン等で、効果的に紹介できるよう検討する。	【取組】　・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して行っている。 ・ビジネス支援選書リスト（ビジネス支援図書館推進協議会ビジネス支援選書研究会作成）を参考に、参考図書の購入を行った。 ・職業ガイドやITコーナーなど、開架書架に本が一杯で返本できなくなっている箇所について、計画的・重点的に書庫入れや揺り動かしを行った。 ・労働関係の古い本を大幅に書庫入れし、面出しを増やした。また労働関係資料を紹介するMAPを設置した。 ・労働の棚付近に、アフターコロナやメンタルヘルス関係の資料を展示する常設コーナーを新たに設けた。		【成果】　〇 ・ビジネス関係の資料が充実してきた結果、マーケティングや経済・経営資料などビジネス書が充実しているとの声を複数いただくようになった。 ・面だししている労働関係の本が借りられることが多くなった。利用者にとって魅力的な書架に変わりつつある。 【課題】　・参考図書コーナーで貸出可資料を探す方が多い。 ・労働関係資料を紹介するMAPの情報量がまだ不十分。	・引き続き、利用者にとって利用しやすい環境づくりに取り組んでいく。 ・参考図書コーナーであることをわかりやすく知らせるような工夫を検討中。 ・労働関係資料を紹介するMAPを改定する。
	雑誌・新聞の収集・提供	専門的なものも含め、雑誌や新聞等を収集し、提供します。	・利用者からの要望やレファレンスの際に必要と判断した雑誌を購入した。 ・利用の少ない雑誌について他担当と合同で紹介展示を行った。 ・寄贈希望のあった新聞や雑誌の受け入れを検討した。				【成果】　利用者にとってニーズのある資料の収集・選書ができている。 【課題】　専門的な雑誌、新聞の周知や利用率の向上。		・新聞の所蔵状況の周知方法を検討し、さらなる利用の促進につなげていく。	【取組】　・利用者からの要望やレファレンス，利用者アンケートを参考に必要と判断した雑誌を購入した。 ・利用の少ない雑誌について他担当と合同で紹介展示を行った。 ・寄贈希望のあった新聞や雑誌の受け入れを検討した。				【成果】　〇 ・利用者にとってニーズのある資料の収集・選書ができている。 【課題】　・専門的な雑誌、新聞の周知や利用率の向上。	・新聞の所蔵状況の周知方法を検討し、さらなる利用の促進につなげていく。
	データベースの導入・提供	新聞記事や法情報、農業情報、商圏分析、企業情報、市場動向等を調査可能なデータベースを導入し、提供します。	データベース利用件数 高知新聞　738　件 その他　1,105　件 ・12月に、図書館活用講座「いざというときに備えて知っておきたい相続と遺言の基礎知識」を開催し、データベースの紹介を行った。 ＊データベース担当にも確認中です。成果や課題、今後の取組に関しても内容が少し変わるかもしれません。				【成果】　・今年度導入した、日本マーケットシェア事典オンラインは、コンスタントに利用がある。 【課題】　・高知新聞以外のデータベースの利用頻度を上げる必要がある。 ・特に、日本農業新聞データベースの利用が伸びず、同じく今年度導入した日本マーケットシェア事典オンラインの半分以下の利用回数に留まっている。		・各データベースの特徴や検索の仕方、活用の方法等が分かるように、少人数制のデータベース講習会の開催を検討している（講師は職員）。 ・外部講師に依頼して行うデータベース講習会の開催を検討している。	データベース利用件数 高知新聞　983　件 その他　1,448　件 ・12月に、図書館活用講座「いざというときに備えて知っておきたい相続と遺言の基礎知識」を開催し、データベースの紹介を行った。 ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」（1/29,1/30）にてビジネス関係のデータベース紹介、演習を実施した。 ・日経BP記事検索サービスの導入を検討。令和3年度から提供開始の予定。		【成果】　〇 ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」に参加された受講者の方から、ビジネスに役立つデータベースを知れて良かったという声が多く寄せられた。また、後日データベースを利用しに来館された方もいた。 【課題】　・日本農業新聞データベースの利用が低い。	・動画等も活用し、ビジネス関連の役立つデータベースをPRしていく。 ・日本農業新聞データベースの周知を図る。
	チラシやパンフレットなどの収集・提供	図書や雑誌、新聞、データベースでは得られない情報を中心に、各種ビジネスに関するチラシやパンフレットなどを収集し、提供します。	・市役所や県庁、連携機関へ随時、チラシ・パンフレットの寄贈についての依頼を継続。 ・県庁・市役所職員向けのメルマガ（vol.17）で行政資料収集についてのPRも行った。また、8月の県の執務環境改善強化月間にあわせて行政資料寄贈の依頼を行った。				【成果】　収集・提供できている。 【課題】　各団体のペーパーレス化に伴い、これまで当館へ寄贈されていた紙資料の送付/受け入れが止まっているものがある。		・デジタル資料の収集方法について検討する。	【取組】　・市役所や県庁、連携機関へ随時、チラシ・パンフレットの寄贈についての依頼を継続。 ・県庁・市役所職員向けのメルマガ（vol.17）で行政資料収集についてのPRも行った。また、8月の県の執務環境改善強化月間にあわせて行政資料寄贈の依頼を行った。		【成果】　〇 ・収集・提供できている。 【課題】　・各団体のペーパーレス化に伴い、これまで当館へ寄贈されていた紙資料の送付/受け入れが止まっているものがある。	・デジタル資料の収集方法について検討する。
	視聴覚資料の収集・提供	ビジネスや農業に役立つ動画等の視聴覚資料を積極的に収集し、提供します。	・放送大学側から提案のあったインターネットによる講義配信サービスの提供切り替えの実施について検討中。 ・視聴覚担当と連携し、定期的にビジネス担当が選書に携わることができるようカタログの共有などを行った。				【成果】　継続して放送大学の利用がある。 【課題】　ビジネスや農業に役立つDVDがあることを、利用者に一層周知していく必要がある。		・ビジネスや農業に役立つDVDがあることについて、館内サインなど利用者への周知方法を検討する。	【取組】 ・放送大学側から提案のあったインターネットによる講義配信サービスの提供切り替えの実施について検討中。 ・視聴覚担当と連携し、定期的にビジネス担当が選書に携わることができるようカタログを共有。選書・購入を行った。		【成果】　〇 ・令和2年度放送大学DVD利用は24件。利用は比較的少ないが、放送大学と連携することで利用者へのニーズに一定こたえることができている。 【課題】　・ビジネスや農業に役立つCD・DVDがあることを、今後も利用者に一層周知していく必要がある。	・今後も利用者のニーズに沿う視聴覚資料の選書・収集を行う。 ・放送大学教材のインターネット配信への切り替えの実施について、引き続き協議していく。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの作成・提供	文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、わかりやすいブックリストやパスファインダーを作成し、提供します。また、図書館のホームページなどにも掲載します。	ブックリスト(総合計)	8(23)	種	【成果】　・他サービス担当とも情報共有しながら効率的に作成を進めている。	・利用者からのニーズが高い内容を優先し、また、特定の分野に偏りすぎないように考慮しつつ、連携機関の協力を得て長期的に作成に取り組む。	ブックリスト	新規15 改訂1 合計26	種	【成果】　〇 ・他サービス担当とも情報共有しながら効率的に作成を進めており、よりニーズに沿った内容となった。	・利用者からのニーズが高い内容を優先し、また、特定の分野に偏りすぎないように考慮しつつ、連携機関の協力を得て長期的に作成に取り組む。
			パスファインダー(総合計)	3(3)	種			パスファインダー	新規2 改訂2 合計4	種		
			・土佐MBA本科(高知県産学官民連携センター)や連携展示などにより、ニーズに応じたブックリストを作成し、ウェブ・サイトで公開した。 ・労働関係の書架付近に、労働関係ブックリストを配架するチラシ架を新たに設置した。			【課題】　・ブックリスト作成についての要望が多く、作成が追いつかない。 ・パスファインダーは作成に時間がかかるため種類が少ない。		・土佐MBA本科(高知県産学官民連携センター)や連携展示などにより、ニーズに応じたブックリストを作成し、ウェブ・サイトで公開した。 ・労働関係の書架付近に、労働関係ブックリストを配架するチラシ架を新たに設置した。			【課題】　・パスファインダーは作成に時間がかかるため種類が少ない。	
レファレンス	レファレンス・サービス	ビジネス・農業・産業支援スペースに専用窓口を設け、担当司書が、図書館資料を活用し、調べものをサポートします。	事項	396	件	【成果】　クラウド(ガルーン)を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。	・レファレンス担当者間で記載ルールを整理した後、速やかに事例を登録・公開していく。	事項	548	件	【成果】　〇 ・グループウェアを活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査して	・速やかにレファレンス事例を登録・公開していく。 ・レファレンス統計を抜かることなく記録し、数だ
			所蔵	960	件			所蔵	1251	件		
			図書館PRを実施した連携団体や参加者、またその団体間で紹介を受けた利用者からのレファレンスがあり、随時対応している。			【課題】　レファレンス協同データベースへの登録について、記載ルールを整理中(レファレンス担当)のため公開できていない。		・図書館PRを実施した連携団体や参加者、またその団体間で紹介を受けた利用者からのレファレンスがあり、随時対応している。 ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」(1/29.1/30)にてレファレンスサービスのPRをおこなった。			【課題】　・レファレンス協同データベースへの登録について、記載ルールが整理されたが、(レファレンス担当)まだ公開できていない。 ・レファレンスの回答を早められないかという要望がきている。 ・昨年度よりもレファレンス数が減少している。	
	課題解決に向けた専門機関や団体等の紹介	図書館の資料と情報だけでは、解決が難しい課題については、専門機関や団体等を紹介するレフェラル・サービスを実施します。その後も各機関と連携を図りながら、課題の解決に向けて支援します。	レフェラル件数	ビジネス	15 件	【成果】　県内の公的な専門機関については概ね把握が進んでいる。相談内容に応じて専門機関を紹介している。 【課題】　図書館がレフェラル・サービスを提供していることについて、関係機関への周知をより一層進める。	専門機関への訪問時や、専門機関向けの図書館活用講座において、レフェラル・サービスの説明と連携への協力依頼を継続して行う。	レフェラル件数	ビジネス	15 件	【成果】　〇 ・県内の公的な専門機関については概ね把握しているので、相談内容に応じて適切な専門機関を紹介することができている。 【課題】　・図書館がレフェラル・サービスを提供していることについて、関係機関への周知をより一層進める。	専門機関への訪問時や、専門機関向けの図書館活用講座において、レフェラル・サービスの説明と連携への協力依頼を継続して行う。
	他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施	専門機関等と連携し、相談会等を開催します。	毎月第二土曜日　若者進路相談会	5	回実施	【成果】　若者進路相談会を実施し、21名の相談があった。	・感染防止策やプライバシーの確保の両立を図りながら、コロナ禍においても、可能な範囲で相談会やイベントを開催していく。	毎月第二土曜日　若者進路相談会	8	回実施	【成果】　〇 ・若者進路相談会では、34名の相談があった。気軽に利用できる施設という図書館の強みを活かし、専門機関と連携して若者の自立支援を行ったことにより、相談者の就労に貢献した。(相談者のうち1名はサポートステーションに登録し、就労につながった)	・相談会等のイベントについて、引き続き、コロナ禍においても、可能な範囲で開催していく。
			若者進路相談会(8/15、9/12、10/10、11/14、12/12) ・土佐山アカデミーと連携して年度内に開催予定だった科学分野のワークショップは、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、7月開催に改めた。			【課題】　・相談会は、換気のためドアを開放して行っており、プライバシーの確保が難しい。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していたセミナーやイベントの開催予定日について再検討が必要。		若者進路相談会(8/15、9/12、10/10、11/14、12/12、1/9、2/13、3/13) ・土佐山アカデミーと連携して年度内に開催予定だった科学分野のワークショップは、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、7月開催に改めた。			【課題】　・相談会も含め、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していたセミナーやイベントの開催予定日について再検討を余儀なくされている。	
	商品の価値を高めるための図書館資料の提供	図書館の歴史的資料等、幅広い図書館資料を活用し、商品の付加価値を高め、ブランド化、コトづくりを支援します	・収蔵品検索データベースにて図書館おすすめのデジタル化資料を随時紹介している。 ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に、図書館活用事例を盛り込んだ。			【成果】　・高知県地場産業大賞申請書の記載例に図書館活用事例を盛り込めたことで、より具体的に図書館活用方法についてPRすることができた。また、応募事例のブラッシュアップの依頼にも対応した。 【課題】　・商品価値を高めるための図書館資料の活用をさらに促進していく必要がある。	・引き続き、産業振興センターと連携し、既存製品の付加価値向上に向けて取り組む。 ・ビジネスプラングランプリなど他の連携機関が実施する事業とも、地場産業大賞と同様な形での取組みができないか検討する。	【取組】　・収蔵品検索データベースにて図書館おすすめのデジタル化資料を随時紹介している。 ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に、図書館活用事例を盛り込んだ。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、ビジネスプラングランプリの主催者である日本政策金融公庫の担当者と、図書館との連携についての協議を行った。				【成果】　〇 ・高知県地場産業大賞申請書の記載例に図書館活用事例を盛り込めたことで、より具体的に図書館活用方法について申請者にPRすることができた。また、応募事例のブラッシュアップの依頼にも対応した。 【課題】　・商品価値を高めるための図書館資料の活用をさらに促進していく必要がある。	・引き続き、産業振興センターと連携し、既存製品の付加価値向上に向けて取り組む。 ・ビジネスプラングランプリなど他の連携機関が実施する事業とも、地場産業大賞と同様な形での取組みができないか検討する。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度 令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
連携	広報支援	施設の使用基準に基づき、館内での県内企業の製品展示を実施し、企業・団体の活動等を支援します。	・高知の企業が続々開発！新型コロナウイルス対策グッズ展(5/12～6/14 共同楽習スペース) ・高知県リサイクル製品等認定制度パネル展 :県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRに寄与(6/4～6/9 共同楽習スペース) ・こうちのohana満開プロジェクト:市農林水産課と連携し、花き需要拡大を目的とした展示を実施(6/26～11/27 共同楽習スペース、1階休憩コーナー) ・森林率日本一の高知家で木と生きる:県森づくり推進課と連携し、森林ボランティアの紹介パネル等を展示(8/14～9/2 1階休憩コーナー) ・放送大学で人生を愉しむ力を:放送大学と連携し、放送大学テキスト等を展示(7/1～8/8 3階展示の本棚) ・男女共同参画図書企画展:市男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進のための展示を実施(8/13～9/30 2階展示の本棚) ・市商工振興課が情報提供する「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」高知県まとめサイト「高知家の〇〇」【高知家のテイクアウト・デリバリー情報】を当館Facebookで紹介。 ・森林保全ボランティア活動紹介パネル展:県林業環境政策課と連携し、森林保全ボランティアの活動を紹介(9/10～10/6 共同楽習スペース) ・動物愛護の絵画展:県食品衛生課と連携し、絵画展を実施(10/8～11/3 共同楽習スペース) ・個別労働相談・あっせん制度のPR,働き方改革パネル展:県労働委員会事務局と連携し、労働関係のパネル展を実施(10/15～10/28 1階休憩コーナー) ・高知路面電車写真展:市くらし・交通安全課と連携し、路面電車の写真や関連グッズを展示し、スタンプラリーを行った(10/17～10/30 2階階段下2か所、3階バックヤード開架側ホワイトボード) ・公共建築パネル展:県建築課と連携し、優れた県内の公共建築を紹介(10/29～11/10 1階休憩コーナー) ・移動消費者の部屋:中国四国農政局と連携し、高知県の主要作物等を紹介(11/5～11/24 共同楽習スペース) ・第11回高知国際版画トリエンナーレ展関連展示:県工業振興課と連携し、版画展と土佐和紙についてPR(12/1～12/25 共同楽習スペース) ・こうち森林救援隊の活動:こうち森林救援隊と連携し、森林保全活動を紹介(12/17～1/12 1階休憩コーナー)	【成果】　・展示を通じて各機関の広報支援に広く貢献できている。 【課題】　・館内で実物の展示ができない業種についても、パネル等を通じた支援の形を考える必要がある。	2月に高知県産業振興センターと連携して高知県地場産業大賞受賞作品展示紹介パネル展を実施する予定。実物が展示できないものが受賞した場合はパネルでの紹介を行う。	・高知の企業が続々開発！新型コロナウイルス対策グッズ展(5/12～6/14 共同楽習スペース) ・高知県リサイクル製品等認定制度パネル展 :県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRに寄与(6/4～6/9 共同楽習スペース) ・こうちのohana満開プロジェクト:市農林水産課と連携し、花き需要拡大を目的とした展示を実施(6/26～11/27 共同楽習スペース、1階休憩コーナー) ・森林率日本一の高知家で木と生きる:県森づくり推進課と連携し、森林ボランティアの紹介パネル等を展示(8/14～9/2 1階休憩コーナー) ・放送大学で人生を愉しむ力を:放送大学と連携し、放送大学テキスト等を展示(7/1～8/8 3階展示の本棚) ・男女共同参画図書企画展:市男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進のための展示を実施(8/13～9/30 2階展示の本棚) ・市商工振興課が情報提供する「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」高知県まとめサイト「高知家の〇〇」【高知家のテイクアウト・デリバリー情報】を当館Facebookで紹介。 ・森林保全ボランティア活動紹介パネル展:県林業環境政策課と連携し、森林保全ボランティアの活動を紹介(9/10～10/6 共同楽習スペース) ・動物愛護の絵画展:県食品衛生課と連携し、絵画展を実施(10/8～11/3 共同楽習スペース) ・個別労働相談・あっせん制度のPR,働き方改革パネル展:県労働委員会事務局と連携し、労働関係のパネル展を実施(10/15～10/28 1階休憩コーナー) ・高知路面電車写真展:市くらし・交通安全課と連携し、路面電車の写真や関連グッズを展示し、スタンプラリーを行った(10/17～10/30 2階階段下2か所、3階バックヤード開架側ホワイトボード) ・公共建築パネル展:県建築課と連携し、優れた県内の公共建築を紹介(10/29～11/10 1階休憩コーナー) ・移動消費者の部屋:中国四国農政局と連携し、高知県の主要作物等を紹介(11/5～11/24 共同楽習スペース) ・第11回高知国際版画トリエンナーレ展関連展示:県工業振興課と連携し、版画展と土佐和紙についてPR(12/1～12/25 共同楽習スペース) ・こうち森林救援隊の活動:こうち森林救援隊と連携し、森林保全活動を紹介(12/17～1/12 1階休憩コーナー) ・「令和2年度高知県環境絵日記」:県環境共生課と連携し、県内の児童による環境絵日記を展示(1/14～1/27 共同楽習スペース) ・「第35回地場産業大賞展示」:高知県産業振興センターと連携し、地場産業大賞受賞製品・事業を紹介(2/4～2/26 共同楽習スペース) ・「森林環境情報誌「もりりん」キャラクター似顔絵コンテスト応募作品展示会」:県林業環境政策課と連携し、「もりりん」キャラクター似顔絵応募作品を展示(3/9～3/31 2階北階段下)	【成果】　〇 「新型コロナウイルス対策グッズ展」、「こうちのohana満開プロジェクト」、「第35回地場産業大賞展示」等で、県内企業の製品や事業を紹介することができた。そのほか、パネル展の実施により、広報面で、行政機関をはじめとする団体の活動を支援することができた。 【課題】　・パネル展については、(申し込みがあった件についてお受けするため)やや受動的な取り組みとなってしまっており、課題解決や高知県・高知市の重点施策に関する広報を充実させるための当館からのアプローチがやや不足している。	・課題解決や重点施策を担う団体のうち、当館のビジネス支援サービスや広報支援を活用していない団体に向けた説明の機会をより一層増やし、次年度の連携につなげる。特に行政機関、公的機関に向けたアプローチを行う。 ・課題解決や高知県・高知市の重点施策に関する内容のパネル展については、連携強化の機会と捉え、当館からもできる限りアプローチしていく。
情報リテラシー	図書館活用講座の実施	図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法等を習得するための講座を開催します。	・1月に実施予定の図書館活用講座「土佐MBA専科『図書館をビジネスに生かす』」は、実施回数を2回(平日夜間、土曜午前)に増やすことに加え、オンラインでも参加できるよう検討をしている。 ・2月に、医中誌webのデータベース講習会を少人数制で実施予定。	【成果】　・コロナの影響で、ミニデータベース講習会は開催できていないが(状況確認中)、その他の講座については、順調に計画が進んでいる。 【課題】　・オンラインでの開催など、来館に寄らない情報発信についても取り入れていく必要がある。	・1月に実施予定の図書館活用講座「土佐MBA専科『図書館をビジネスに生かす』」は、実施回数を2回(平日夜間、土曜午前)に増やし、オンラインでも参加できるように変更するなど、準備を進めている。 ・2月に、医中誌webに関して少人数制でのデータベース講習会の開催に向けて準備を進める。 ・外部講師に依頼して行うデータベース講習会の開催を検討している。	【取組】　・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」(1/29,1/30)にてビジネス関係のデータベース紹介、演習を実施した。実施回数を2回(平日夜間、土曜午前)に増やすことに加え、オンラインでの受講(後日録画視聴)もできるようにした。	【成果】　〇 ・実施回数を2回に増やしたことで、参加者一人一人に対して細やかに対応することができ、利用者の満足度向上につながった。またオンライン受講も好評で、遠方の方など今まで受講したくてもできなかった方からの参加もあり、より多くの方に図書館活用をPRすることができた。 【課題】　ビジネスに関する図書館活用講座の頻度が少ない。	・オンライン等も活用し、ビジネスに関する図書館活用講座の頻度を増やす。
	出前図書館	ビジネスセミナーやイベントなどに沿った資料やデータベースを会場に持参し、その場で資料の貸出しや資料相談を行います。	出前図書館　3 回実施	【成果】　職員が在籍せず、本の展示のみの出前図書館を実施したが、主催者から、研修内容の定着につながると好意的な意見をいただいた。実際に、会場で手に取って見ていた方がいたとの報告もあった。	・必要に応じて出前図書館は実施していくが、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を引き続き行う。	出前図書館　4 回実施	【成果】　〇 ・職員が在籍せず、本の展示のみの出前図書館を実施したが、主催者から、研修内容の定着につながると好意的な意見をいただいた。実際に、会場で手に取って見ていた方がいたとの報告もあった。 ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」での出前図書館の際に、土佐MBA本科用に作成したブックリストを参考にして本をセレクトした。その結果、バランスよくビジネス関連本を参加者に紹介することができた。	・必要に応じて出前図書館は実施していくが、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を引き続き行う。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
アウトリーチ			・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2　県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・11/17 高知県中小企業家同友会が実施する「今さら聞けない決算書の見方セミナー」で出前図書館(本の展示のみで職員は不在)を実施。 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。	【課題】 ・「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。		・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2　県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・11/17 高知県中小企業家同友会が実施する「今さら聞けない決算書の見方セミナー」で出前図書館(本の展示のみで職員は不在)を実施。 ・1/29.1/30 土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」で出前図書館(本の展示のみで職員は不在)を実施。 ・3/9～3/14 県環境共生課が実施する「希少野生動植物普及啓発事業」展示で出前図書館(本の展示のみで職員は不在)を実施。 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBA本科では、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。	【課題】 ・「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。	
	アウトリーチ・サービスの実施	出前図書館のほか、外に出て、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います	・以下の団体に向けて連携協議(図書館の活用に向けた提案やサービスの周知含む)を行った。 4/16 高知県産業振興センター 4/16 高知県働き方改革推進支援センター 4/16 高知県商工会連合会 4/16 高知県中小企業団体中央会 4/16、4/22 高知県よろず支援拠点 7/2 土佐MBA事務局 7/31、9/8 YAMAKIN株式会社 ・以下のとおり図書館活用講座を実施し、図書館の活用を提案し、サービスを周知した。 11/20 YAMAKIN株式会社社員向け図書館活用講座	【成果】 ・関連団体の図書館の活用を促すことができ、広報面などの連携につながった。 ・開館後初めて企業に向けて図書館活用講座を実施することができ、図書館利用を促進することができた。 【課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内での図書館活用講座の実施が難しい場合がある。	引き続き、館内での実施と、オンライン配信、動画提供等を併用し、感染拡大とサービスの周知を両立させる。	・以下の団体に向けて連携協議(図書館の活用に向けた提案やサービスの周知含む)を行った。 4/16 高知県産業振興センター 4/16 高知県働き方改革推進支援センター 4/16 高知県商工会連合会 4/16 高知県中小企業団体中央会 4/16、4/22 高知県よろず支援拠点 7/2 土佐MBA事務局 7/31、9/8 YAMAKIN株式会社 1/5、1/12 県教育政策課 2/1 高知県立高等技術学校 2/3、2/19 県産業創造課 2/25 県雇用労働政策課 ・以下のとおり図書館活用講座を実施し、図書館の活用を提案し、サービスを周知した。 11/20 YAMAKIN株式会社社員向け図書館活用講座	【成果】 〇 ・関連団体の図書館の活用を促すことができ、広報面などの連携につながった。 ・開館後初めて企業に向けて図書館活用講座を実施することができ、図書館利用を促進することができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内での図書館活用講座の実施が難しい場合がある。	・引き続き、館内での実施と、オンライン配信、動画提供等を併用し、感染拡大とサービスの周知を両立させる。
PR	図書館活用事例の広報	図書館で得た情報がビジネスに役立った事例を募集し、マンガ等により提供します。	11月に正式に移住分野における、まんが及びチラシ全体の制作を委託した。	【成果】 まんが部分についてはほぼ完成。 【課題】 特になし	引き続き、まんが制作に向けて取り組んでいく。	【取組】 ・11月に制作依頼した図書館活用事例まんがのチラシが3月末に完成。 ・まんが制作に協力いただいた方の移住者紹介動画(高知県移住促進・人材確保センター制作)をオーテピアで撮影。当館職員も動画撮影に協力。	【成果】 〇 ・移住者紹介動画は当館のビジネス支援サービスの紹介動画としても活用できるツールとなった。完成した図書館活用事例まんがと併せて、より具体的かつ視覚的に当館の課題解決支援サービスをPRできるようになった。 【課題】 ・図書館活用事例まんがの印刷がまだできていない。	・4月中に図書館活用事例まんがの印刷を行う。また、当館ウェブ・サイトでも広報する。
職員研修	司書の専門性の向上	県外研修や専門機関が開催する講演会やセミナー等に積極的に参加し、司書の専門性の向上を図ります。	図書館総合展のオンライン受講など、各自が自主的に自己研鑽に取り組んでいる。	【成果】 各自で自主的に自己研鑽に取り組めている。 【課題】 新型コロナウイルス感染症の影響で講習やセミナーが相次いで中止になっており、研修の機会が減っている。	感染予防に留意しつつ、今後も個人や組織としてオンライン講座などの研鑽機会を捉えて研鑽し、専門性を向上させていく。	【取組】 ・地域内連携協議会のセミナー(オンライン配信)や図書館総合展の講演(オンライン配信)、土佐MBA入門講座(オンライン配信)などを視聴。各自が自主的に自己研鑽に取り組んでいる。 ・専門企画員による司書研修を受講。	【成果】 〇 ・オンライン配信のセミナー等を活用し各自で自己研鑽に取り組むことで、日々、専門性を向上させている。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で講習やセミナーが相次いで中止になっており、研修の機会が減っている。	・感染予防に留意しつつ、今後も個人や組織としてオンライン講座などの研鑽機会を捉えて研鑽し、専門性を向上させていく。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)			令和2年度			令和2年度			令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日		令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を○△×で 課題		今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
資料	図書の収集・提供	健康や社会保障、社会福祉、防犯、事故、防災等について、一般向け図書のほか、データブックなどの調べものや、資格取得に役立つ図書を収集し、健康・安心・防災情報スペースにおいて提供します。また、病気やケガなどで離職・休職中の方のリハビリや食事、職場復帰等の資料についても積極的に収集し、提供します。	・利用の多い資料は、参考図書として複本を購入した。 ・ニーズの多い看護関係資料について、積極的に購入した。 ・新型コロナウイルス関係の書籍を購入した。	【成果】 ○ ・利用の多い資料を貸出用以外に参考図書として購入し、複数所蔵することで、より多くの利用者の求めに応えることができた。 ・感染症に関する資料の問合せ、ニーズに対応できた。 【課題】 ・引き続き関連する情報・資料収集を進めていく。	・社会情勢の変化や制度の見直し等に留意しながら、利用者のニーズに合った資料の収集に努める。	【取組】 ・利用の多い資料は、参考図書として複本を購入した。 ・ニーズの多い看護関係資料について、積極的に購入した。 ・新型コロナウイルス関係の書籍を購入した。	【成果】 ○ ・利用の多い資料を貸出用以外に参考図書として購入し、複数所蔵することで、より多くの利用者の求めに応えることができた。 ・感染症に関する資料を積極的に購入することで、利用者からの問い合わせ、ニーズに対応できた。 【課題】 ・引き続き関連する情報・資料収集を進めていく。	・社会情勢の変化や制度の見直し等に留意しながら、利用者のニーズに合った資料の収集に努める。
	雑誌・新聞の収集・提供	専門的なものも含め、雑誌や新聞等を収集し、提供します(再掲)。	・高知新聞掲載の防災関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・高知新聞掲載の新型コロナウイルス関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・新聞切り抜き作業の流れを見直した。 ・利用の少ない雑誌の利用数増加を目的に、ビジネス支援サービス担当と多文化サービス担当と共同で展示を実施し、雑誌の存在についてアピールした。	【成果】 ○ ・新型コロナウイルス関係記事を閲覧・複写する利用者がいた。 ・新聞切り抜き作業の流れを見直すことで、当日中の掲示が可能になり、利用者に常に最新の情報を提供できるようになった。 ・全く貸出しがなかった雑誌が認知され、雑誌の貸出回数増につながった。 【課題】 ・業界紙や専門紙などの周知が不十分である。	業界紙・専門誌に関して、看板や誘導サインを作成するなど周知に努める。	【取組】 ・高知新聞掲載の防災関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・高知新聞掲載の新型コロナウイルス関係記事の切り抜きを掲示・ファイリングして提供した。 ・新聞切り抜き作業の流れを見直した。 ・利用の少ない雑誌の利用数増加を目的に、ビジネス支援サービス担当と多文化サービス担当と共同で展示を実施し、雑誌の存在についてアピールした。	【成果】 ○ ・新型コロナウイルス関係記事を閲覧・複写する利用者がいた。 ・新聞切り抜き作業の流れを見直すことで、当日中の掲示が可能になり、利用者に常に最新の情報を提供できるようになった。 ・全く貸出しがなかった雑誌が認知され、雑誌の貸出回数増につながった。 【課題】 ・業界紙や専門誌などの周知が不十分である。	・業界紙・専門誌に関して、看板や誘導サインを作成するなど周知に努める。
	チラシやパンフレットなどの収集・提供	図書や雑誌、新聞、データベースなどでは得られない情報を中心に、健康・安心・防災情報に関するチラシやパンフレットなどを収集し、提供します。	・スペース内チラシラック(2か所)や書架側面などにて、各種チラシ・パンフレット・カードなどを配布中。 ・図書展示やパネル展示においても、関連するチラシやパンフレットの配布を行った。 ・12/7、14実施のサービス意見交換会にて図書館の書架を活用した広報について提案した。	【成果】 ○ ・複数のチラシやパンフレットをまとめて置くことで、利用者に幅広い情報提供ができている。 ・「生活保護」「介護保険利用の手引き」など、設置から1カ月で在庫がなくなったものもあった。補充は都度、担当課へ依頼した。 【課題】 ・作成・配布元が同じチラシを多種類まとめて置いてあるが、在庫管理が煩雑である(内容によって捌け具合が異なるため、同じ配布元であっても、補充依頼を都度行わなければならない)。	・配布物の管理ができるように方法を検討し、今年度中に運用を開始する。 ・防災政策課と連携し、ハザードマップを効果的に配布できるように、説明パネルの設置とハザードマップの整理を行う。	【取組】 ・スペース内チラシラック(2か所)や書架側面などにて、各種チラシ・パンフレット・カードなどを配布中。 ・図書展示やパネル展示においても、関連するチラシやパンフレットの配布を行った。 ・12/7、14実施のサービス意見交換会にて図書館の書架を活用した広報について提案した。 ・防災政策課と連携し、ハザードマップを効果的に配布できるように、説明パネルの設置とハザードマップの整理を行った。 ・館内の配布物を整理し、配置場所を決め、在庫の把握を分かりやすいようにした。	【成果】 ○ ・複数のチラシやパンフレットをまとめて置くことで、利用者に幅広い情報提供ができている。 ・「生活保護」「介護保険利用の手引き」など、設置から1カ月で在庫がなくなったものもあり、補充連絡をする際に担当課へ当館の広報効果をPRできた。 ・館内の配布物を整理して配置場所を決めることにより、在庫の把握がしやすくなり、在庫切れの前に補充ができるようになった。 ・館内の配布物を整理したことで展示用スペースを新たに確保できた。 【課題】 ・自発的な働きかけがある機関は在庫管理など積極的だが、働きかけがない機関はこちらから声掛けの必要があるなど、対応がまちまちである。	・在庫管理などを配布元自ら進んで行ってもらえるような関係を構築していく。
	視聴覚資料の収集・提供	暮らしの中でのさまざまな課題解決に役立つ視聴覚資料を積極的に収集し、提供します。	・DVD約60点を、視聴覚資料コーナーから視聴覚資料展示コーナーへ移動することで展示の充実を図った。 ・防災関係図書の書架に、関連DVDへの誘導サインを掲示した。	【成果】 ○ ・健康安心防災をテーマとしたDVDの場所をまとめ、誘導することで、利便性が向上した。 ・関係機関からの問い合わせを受け、所蔵している視聴覚資料を紹介した。 【課題】 ・利用状況の把握が難しい。	・その分野に興味・関心を持っている利用者に対してアピールするため、視聴覚資料への誘導サインを防災以外の分野でも作成する。あわせて他のPR方法を検討する。 ・DVDリストを作成し関連する書架に配置した後、リスト掲載DVDの貸出状況を把握する。 ・DVDリストを関係機関へ提供し、利用を促す。	【取組】 ・DVD約60点を、視聴覚資料コーナーから視聴覚資料展示コーナーへ移動することで展示の充実を図った。 ・防災関係図書の書架に、関連DVDへの誘導サインを掲示した。 ・DVDリストを作成した。 ・関係機関からの問い合わせを受け、所蔵している視聴覚資料を紹介した。	【成果】 ○ ・健康安心防災をテーマとしたDVDの場所をまとめ、誘導することで、防災分野については利便性が向上した。 ・課題解決に役立つ視聴覚資料を積極的に購入・紹介したことで、関連機関の業務に役立てることができた。 【課題】 ・防災分野以外の誘導サインを作成する必要がある。 ・作成したDVDリストの提供ができていない。 ・視聴覚資料の利用状況把握は難しいが、把握する必要がある。	・その分野に興味・関心を持っている利用者に対してアピールするため、視聴覚資料への誘導サインを防災以外の分野でも作成する。 ・作成したDVDリストを関係機関等へ提供し、利用を促す。 ・帳票などを利用して、リスト掲載DVDの利用状況を把握する。
	データベースの導入・提供	医学文献情報や新聞記事等のデータベースを導入し、提供します。	・2/7、10、20、27にミニ講座「データベースを使ってみよう！医中誌Web基礎編」を実施予定(動画視聴＋演習。講師は職員。)	【成果】 ○ 講座の広報について、関係機関を訪問し、チラシの配布等に関して協力依頼を行った。 ・11/25高知県看護協会 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外から講師を招くことが難しい。	医中誌Web・最新看護索引などのデータベースについては、少人数・短時間でのミニ講座を今後も適宜実施する。 ・県外の講師にオンラインで講師を依頼するなど、柔軟な講座開催を検討する。	【取組】 ・2/7、10、20、27にミニ講座「データベースを使ってみよう！医中誌Web基礎編」を実施。 ・3/18土佐リハビリテーションカレッジ講師向けの図書館活用講座の中で、新聞データベースの演習を取り入れた。	【成果】 ○ ・医療関係者等の参加者もあり、「大変有意義だった」等の声が聞かれた。 ・コロナ禍のために大学での一般利用者のデータベース利用が制限されている現状で、オーテピアで講習会を開催できたことは大きな意義があった。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外から講師を招くことが難しい。 ・未利用者を対象としたミニ講座と、利用経験者を対象とした講座に分けた実施を検討する必要がある。	・参加者の習得レベルの合わせた講座の実施と開催頻度と規模について検討していく。 ・県外の講師にオンラインで講師を依頼するなど、柔軟な講座開催を検討する。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度						令和2年度						令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日					令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日						令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題		今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)			【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を○△×で 課題			今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
展示	タイムリーな企画展示の実施	健康・安心・防災情報スペースをはじめとするさまざまな資料を使って、社会の関心を意識した企画展示を実施します。	・2/29～4/29 脳の探求、最前線 ・3/30～4/30 感染症の対策あれこれ ・4/1～4/30 発達障害の理解を深める ・5/12～6/30 からだをつくる・ととのえる ・5/12～5/31 五月病かなと思ったら ・6/1～6/30 いきいき健康チャレンジ ・6/20～7/12 一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展 ・6/20～7/12 男女共同参画連携展示 ・7/1～8/8 いただきます！8月4日は栄養の日 ・7/1～8/30 免疫力を高める ・8/10～8/30 いのちを、守る 9月1日は防災の日 ・9/1～10/31 知ろう 考えよう 認知症―いま知りたい、認知症のこと― ・9/1～9/30 土佐リハ教員オススメ100冊 ・9/1～9/30 働くがん患者さんへのサポート～がん治療と仕事の両立支援～ ・10/1～10/30 知ってほしいがんのこと～がん検診・がん生殖医療～ ・11/1～12/27 当世婚活・妊活事情 ・12/1～12/27 ちょっと休憩してみませんか？～高知県心の教育センター連携展示～				【成果】 ○ ・時事や季節に合わせて実施することで、関心を持ってもらえた。（17回実施） ・「一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展」など、普段貸出のない資料も展示をとおして貸出回数が伸びている。 ・関係機関との連携展示の際、資料集めを依頼し関係機関のニーズを知ることができた。 【課題】 ・テーマが医療・健康情報に偏りがちである。 ・展示を企画・担当する職員だけで対応しているため、展示開始後の補充に遅れが生じている。	・展示を企画・担当する職員だけでなく、サービス担当全体で展示状況の確認や資料の補充を行っていく。 ・防災、福祉、スポーツ分野も意識して、展示テーマを選定する。 ・関係機関が資料集めをする連携展示を増やしていく。	【取組】 ・2/29～4/29 脳の探求、最前線 ・3/30～4/30 感染症の対策あれこれ ・4/1～4/30 発達障害の理解を深める ・5/12～6/30 からだをつくる・ととのえる ・5/12～5/31 五月病かなと思ったら ・6/1～6/30 いきいき健康チャレンジ ・6/20～7/12 一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展 ・6/20～7/12 男女共同参画連携展示 ・7/1～8/8 いただきます！8月4日は栄養の日 ・7/1～8/30 免疫力を高める ・8/10～8/30 いのちを、守る 9月1日は防災の日 ・9/1～10/31 知ろう 考えよう 認知症―いま知りたい、認知症のこと― ・9/1～9/30 土佐リハ教員オススメ100冊 ・9/1～9/30 働くがん患者さんへのサポート～がん治療と仕事の両立支援～ ・10/1～10/30 知ってほしいがんのこと～がん検診・がん生殖医療～ ・11/1～12/27 当世婚活・妊活事情 ・12/1～12/27 ちょっと休憩してみませんか？～高知県心の教育センター連携展示～ ・1/5～2/5 早寝早起き朝ごはん運動 ・1/5～2/27 医療等従事者応援フェア ・1/12～2/5 社会に踏み出すことに不安を抱える方へ～ひきこもりに悩んでいませんか？～ ・2/2～2/28 東京2020オリンピック・パラリンピック ・3/9～3/31 備えよう、地震。～東日本大震災から10年～ ・3/9～4/30 いつでも どこでも アウトドア ・3/31～終了日未定 感染症とともに生きる			【成果】 ○ ・時事や季節に合わせて実施することで、関心を持ってもらえた。（24回実施） ・「一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展」など、普段貸出のない資料も展示をとおして貸出回数が伸びている。 ・関係機関との連携展示の際、資料集めを依頼し関係機関のニーズを知ることができた。 ・「社会に踏み出すことに不安を抱える方へ～ひきこもりに悩んでいませんか？～」の展示では、展示図書がすぐに少なくなり、期間中に3回補充した。また、関係機関のチラシ・パンフレットも展示終了時には数部しか残っていない状態であった。このことから、ひきこもりというテーマについて県民・市民が高い関心を寄せているということが分かった。 ・新型コロナウイルスに関する展示を行い、図書やチラシでニーズにあった情報提供が行えた。 【課題】 ・県民・市民の関心度が特に高いテーマについては、短期間の展示だけでなく、長期間での展示を検討する必要がある。	・終了日を設定しない展示コーナーを設置する等して、県民・市民の関心度が高いテーマの資料や情報は通常の展示よりも長い期間をかけて提供していく。 ・ニーズの高い「大人の発達障害」については長期的に展示を行い、利用者の課題解決を支援する。
利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの作成・提供	文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、わかりやすいブックリストやパスファインダーを作成し、提供します。また、図書館のホームページなどにも掲載します。	ブックリスト	18	種	【成果】 ○ ・ブックリストは新たに9種類を作成し、1種類を改訂した。 新規: ①「心の不調かな？と思ったら」 ②「感染症」 ③「免疫を高める」 ④「がん×治療」9月の展示にて作成・配布。 ⑤(行政用)「非常事態に負けない業務計画を－BCPブックリスト－」県庁イントラネット、市全庁掲示板へ掲載及び県全庁メールで送信。 ⑥(一般用)「非常事態に負けない事業継続計画を－BCPブックリスト－」県商工政策課(150部)、市産業政策課(400部)開催の講座で配布。 ⑦「LGBTQ～さまざまな性への理解と支援のためのブックリスト～」市人権同和・男女共同参画課の依頼により作成。研修で250部配布。 ⑧「自閉スペクトラム症への理解と支援～TEACCHプログラムを中心にしたブックリスト～」発達障害者支援センターの依頼により作成。2月開催のオンライン研修で配布予定。 ⑨「第59回医療連携研修会 消化器がんブックリスト」高知医療センターとの共催イベント(オンライン開催)のため作成。高知医療センター、オーテピア高知図書館のウェブ・サイトにて掲載。 改訂: ①「がん」 ・業務やイベントに合わせたブックリスト作成依頼が定期的にあり、関係機関との連携が強化されている。 ・実際にパスファインダーを参考にされる利用者に対応する機会あり。	【ブックリスト】 新規作成予定 ・「メンタルヘルス関連(仮)」 連携:心の教育センター ・「ひきこもり関連ブックリスト」 連携:高知県立精神保健福祉センター、 高知県地域福祉政策課 ・DVDのリスト その他、内容の更新が必要なブックリストについては、随時更新していく。 【パスファインダー】 様式を変更し、関係機関と連携し新規作成および改訂を行う。	ブックリスト	23	種	【成果】 ○ ・ブックリストは新たに14種類を作成し、1種類を改訂した。 新規: ①「心の不調かな？と思ったら」 ②「感染症」 ③「免疫を高める」 ④「がん×治療」 ⑤(行政用)「非常事態に負けない業務計画を－BCPブックリスト－」 ⑥(一般用)「非常事態に負けない事業継続計画を－BCPブックリスト－」 ⑦「LGBTQ～さまざまな性への理解と支援のためのブックリスト～」 ⑧「自閉スペクトラム症への理解と支援～TEACCHプログラムを中心にしたブックリスト～」発達障害者支援センターの依頼により作成。2月開催のオンライン研修で配布。 ⑨「第59回医療連携研修会 消化器がんブックリスト」高知医療センターとの共催イベント(オンライン開催)のため作成。高知医療センター、オーテピア高知図書館のウェブ・サイトにて掲載。 ⑩「ひきこもり関連ブックリスト」 連携:高知県立精神保健福祉センター、高知県地域福祉政策課 ⑪「保健衛生ブックリスト～エプロンシアター・紙芝居編～」 ⑫「保健衛生ブックリスト～絵本編～」 ※⑪、⑫は市健康増進課からの要望があり、児童サービスと共同で作成。 ⑬「心のサインに気づいたら」市健康増進課からの依頼を受け作成。市職員向けゲートキーパー養成研修で配布 ⑭「怒りを上手にコントロールする」 改訂: ①「がん」 ・業務やイベントに合わせたブックリスト作成依頼が定期的にあり、関係機関との連携が強化されている。 ・実際にパスファインダーを参考にされる利用者に対応する機会があった。	【ブックリスト】 ・新規作成予定 「メンタルヘルス関連(仮)」 連携:心の教育センター ・その他、内容の更新が必要なブックリストについては、随時更新していく。 【パスファインダー】 ・様式を変更し、関係機関と連携し新規作成および改訂を行う。 【その他】 ・DVDリストについて、関係機関等に提供し、利用を促す。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)			令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を○△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
			パスファインダー	4	種	【課題】　・提供中のブックリストで、内容の更新が必要なものがある。 ・提供中のパスファインダーの様式がわかりにくいため、様式の修正が必要。様式改訂および新規作成作業が進んでいない。		パスファインダー	4	種	【課題】　・提供中のブックリストで、内容の更新が必要なものがある。 ・作成したが、提供に至っていないリスト(健康・安心・防災分野のDVD)がある。 ・パスファインダーについて、より使いやすくするため、様式の変更が必要。 ・パスファインダーについて、改訂および新規作成作業が進んでいない。	
レファレンス	レファレンス・サービス	健康・安心・防災情報スペースに専用窓口を設け、担当司書が、図書館資料を活用し、調べものをサポートします。	事項	409	件	【成果】　○ ・3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・グループウェア(ガルーン)を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。	・マニュアルに沿って、速やかに事例を登録・公開していく。	事項	554	件	【成果】　○ ・3階総合窓口で所蔵検索や書架の案内等、クイックレファレンスへの対応を行った。 ・グループウェア(ガルーン)を活用し複数の司書が一つのレファレンスに対して様々な視点から調査している。複数の司書の検索ツール・検索方法を共有しており、ほかの司書も回答だけでなく、検索方法を共有できている。	・マニュアルに沿って、速やかに事例を登録・公開していく。
			所蔵	644	件	【課題】　・レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が遅れている。		所蔵	899	件	【課題】　・レファレンス協同データベースへの事例登録・公開が遅れている。	
	課題解決に向けた専門機関や団体等の紹介	図書館の資料・情報だけでは解決が難しい場合には、専門機関や団体等を紹介するなどして、課題の解決を支援します。	レフェラル	数	件	【成果】　○ ・窓口でのクイックレファレンス時に、オーテピア高知声と点字の図書館や自治体窓口、相談窓口、専門機関等を紹介できた。 ・福祉分野での関係づくり強化のため、高知市社会福祉協議会に向けサービス説明を行った。 【課題】　相談できる窓口等を把握・整理できていない。	関係機関が作成した相談窓口一覧などを活用し、問い合わせの際に提供できるようにする。	レフェラル	数	件	【成果】　○ ・窓口でのクイックレファレンス時に、オーテピア高知声と点字の図書館や自治体窓口、相談窓口、専門機関等を紹介できた。 ・福祉分野での関係づくり強化のため、高知市社会福祉協議会に向けサービス説明を行った。 【課題】　・県民・市民が相談できる窓口等を十分に把握・整理できていない。	関係機関が作成した相談窓口一覧などを活用し、窓口での問い合わせの際に情報提供できるようにしていく。
連携	他機関と連携したセミナーや相談会等の共催事業の実施	専門機関等と連携し、相談会等を開催します。	・6/28【中止】【連携】世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間記念映画上映会 ・8/8～8/30【連携】パネル展示「がん患者さんの感じるコロナウイルスへの不安について」実施(知事来訪) ・9/5、12、19、26「がん相談会2020」開催 【共催:高知大学医学部附属病院、高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会、高知産業保健総合支援センター】 ・10/25「第58回地域医療連携研修会」開催 【共催:高知医療センター】 ・11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催 【共催:土佐リハビリテーションカレッジ】 ・12/6世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間　記念映画上映会でブックリスト2種配布 【連携:県障害福祉課】			【成果】　○ ・連携によって専門的な情報の提供ができた。そのためパネル展示を見に来館される利用者が多かった。 ・パネル展示を見たことにより、実際の相談につながったとの報告があった。 ・連携によって、連携先は専門的な情報の提供ができ、また参加者はその場で関連図書を借りたり、ブックリストの提供を受けることができた。 【課題】　・新型コロナウイルス対策を踏まえて実施する必要がある。	・1/17「第59回地域医療連携研修会」Webにて開催予定。 【主催:高知医療センター、共催:オーテピア高知図書館】 ・2/21『「大人の発達障害」を理解するセミナー』開催予定 【主催:オーテピア高知図書館 連携:高知県立療育福祉センター発達障害者支援センター】 ・3/13「開発研究者が語る　身近な歯科材料のふしぎ」開催予定 【主催:オーテピア高知図書館、連携:YAMAKIN株式会社】 ・来年度のイベントについて打ち合わせ予定 (高知市消防局・土佐リハビリテーションカレッジ・精神保健福祉センター等) ・新型コロナウイルス対策として、オンラインや録画配信での図書館活用講座も検討する。	【取組】	・6/28【中止】【連携】世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間　記念映画上映会 ・8/8～8/30【連携】パネル展示「がん患者さんの感じるコロナウイルスへの不安について」実施(知事来訪) ・9/5、12、19、26【がん相談会2020】開催 【共催:高知大学医学部附属病院、高知がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会、高知産業保健総合支援センター】 ・10/25「第58回地域医療連携研修会」開催 【共催:高知医療センター】 ・11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催 【共催:土佐リハビリテーションカレッジ】 ・12/6世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間　記念映画上映会でブックリスト2種配布 【連携:県障害福祉課】 ・1/17「第59回地域医療連携研修会」Webにて開催 【主催:高知医療センター、共催:オーテピア高知図書館】 ・2/21『「大人の発達障害」を理解するセミナー』開催 【主催:オーテピア高知図書館 連携:高知県立療育福祉センター発達障害者支援センター】 ・3/13「開発研究者が語る　身近な歯科材料のふしぎ」開催 【主催:オーテピア高知図書館、連携YAMAKIN株式会社】 ・次年度イベントについての打ち合わせ (高知市消防局・土佐リハビリテーションカレッジ・精神保健福祉センター等)	【成果】　○ ・連携によって専門的な情報の提供ができた。そのためパネル展示を見に来館される利用者が多かった。 ・パネル展示を見たことにより、実際の相談につながったとの報告があった。 ・連携によって、連携先は専門的な情報の提供ができ、また参加者はその場で関連図書を借りたり、ブックリストの提供を受けることができた。 ・医療機関とともにイベントを実施することにより、専門機関が実施する新型コロナウイルス対策を知ることができ、その後の対応に不安がなくなった。 【課題】　・新型コロナウイルス対策ほか、県民・市民の関心やニーズなどの社会情勢等も踏まえて実施する必要がある。	・関係機関と連携し「発達障害」や「ひきこもり」の相談会の実施について検討する

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例：ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例：ニーズがない)
	広報支援	健康・医療等に関する機関等が実施している関連イベントやセミナーの情報を集約した一覧を作成し、館内掲示や図書館ホームページなどで情報提供を行います。	館内でチラシ・パンフレットの配布等を行い，イベント等を周知している。	【成果】 〇 ・イベントを実施する際、チラシを置いて欲しいと連絡をくれる関係機関もあった。 【課題】 ・情報の集約方法の確立。ただし、着手した場合、本来業務への支障が懸念される。	・情報の一覧表を作成するのではなく、他の手法がないか検討する。	【取組】 館内でチラシ・パンフレットの配布等を行い，イベント等を周知している。	【成果】 〇 ・イベントを実施する際、チラシを置いて欲しいと連絡をくれる関係機関もあった。 【課題】 ・情報の集約方法の確立。ただし、着手した場合、本来業務への支障が懸念される。	・関係機関が作成した広報物の館内掲示・配布を強化することにより、継続的に健康・安心・防災に関するイベントなどの情報提供を行う。
情報リテラシー	図書館活用講座の実施	図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法等を習得するための講座を開催します。	共催イベントなどで図書館活用をPRした ・10/25開催「第58回地域医療連携研修会」【共催：高知医療センター】 ・11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催 【共催：土佐リハビリテーションカレッジ】 関係機関等に向けた図書館活用講座を実施した ・11/4高知県心の教育センター ・11/18、11/19高知市社会福祉協議会	【成果】 〇 ・イベントの内容や、関連機関の事業内容に合わせてサービスの紹介時間を設けたり、図書館活用講座を開催したことで、具体的な活用の提案ができ、その後の利用拡大につなげることができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染対策のため、小規模の開催とせざるを得ず、大勢に活用方法を伝えるうえで職員の負担が増えている。	・引き続き、関係機関に向けて、イベントで図書館活用のPR時間がもらえないか、機関向けに図書館活用講座の実施ができないか働きかける。 ・小規模で複数回開催するなどして、大人数向け活用講座の要望にも可能な限り対応する。 ・オンラインや録画配信での図書館活用講座もニーズによって対応する。 ・高知市社会福祉協議会共に生きる課　開催予定(開催日2/18、2/24) ・高知市消防局　開催予定(開催日2/2)	【取組】 共催イベントなどで図書館活用をPRした ・10/25開催「第58回地域医療連携研修会」【共催：高知医療センター】 ・11/1「転倒を予防するリハビリ体験」開催 【共催：土佐リハビリテーションカレッジ】 関係機関等に対し図書館活用講座を実施した ・11/4高知県心の教育センター ・11/18、11/19高知市社会福祉協議会地域協働課 ・2/2高知市消防局 ・2/18、2/24高知市社会福祉協議会共に生きる課 ・3/18土佐リハビリテーションカレッジ	【成果】 〇 ・イベントの内容や、関連機関の事業内容に合わせてサービスの紹介時間を設けたり、図書館活用講座を開催したことで、具体的な活用の提案ができ、その後の利用拡大につなげることができた。 【課題】 ・新型コロナウイルス対策など、社会情勢に即した形の図書館活用講座を検討する必要がある。	・引き続き、関係機関に向けて、イベントで図書館活用のPR時間がもらえないか、機関向けに図書館活用講座の実施ができないか働きかける。 ・小規模で複数回開催するなどして、大人数向け活用講座の要望にも可能な限り対応する。 ・オンラインや録画配信での図書館活用講座もニーズによって対応する。 ・新型コロナウイルス対策として、オンラインや録画配信での図書館活用講座も検討する。 ・土佐リハビリテーションカレッジ 実施予定(開催日4/9、4/27) ・高知市地域包括支援センター(開催日4/20)
アウトリーチ	出前図書館	健康・医療等に関するセミナーやイベントなどに沿った資料を会場に持参し、その場で資料の貸出しや資料相談を行います。	出前図書館　8　回実施 出前図書館 ・10/25 【共催・館内】第58回地域医療連携研修会 ・11/1転倒を予防するリハビリ体験 ・11/21 発達障害者就労支援セミナー ・12/8防災製品開発WG(防災食品)セミナー ・12/26いざというときに備えて知っておきたい相続と遺言の基礎知識 ・7/15・9/16・11/18 いきいき音読倶楽部 以下の関係機関と連携について協議しサービスの説明を行った。 ・4/15、8/5、10/14土佐リハビリテーションカレッジ ・6/24高知大学医学部附属病院がん相談支援センター、県健康対策課 ・8/4高知医療センター(なるほどライブラリ、地域医療センター) ・9/8、10/20YAMAKIN株式会社 ・9/18、10/27高知県心の教育センター ・10/8高知市社会福祉協議会 ・10/16発達障害者支援センター ・10/28、12/8県立精神保健福祉センター ・10/28ひきこもり地域支援センター ・11/25高知県看護協会 ・12/23高知市消防局 ・12/24高知リハビリテーション専門職大学 ・12/24高知市健康増進課 以下の関係機関に向けた図書館活用講座を実施した(再掲) ・11/4高知県心の教育センター ・11/18、11/19高知市社会福祉協議会	【成果】 〇 ・「いきいき健康チャレンジ」(高知市健康増進課主催)など、例年出前図書館を実施していたイベントが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったこともあり、4～8月は実施に至らなかったが、10月以降は館内でのイベントを中心に出前図書館を行った。 【課題】 ・出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ、afterコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。	オンラインで実施されるイベントに関して、出前図書館ができないため、連携先・オーテピア図書館のウエブ・サイトにてブックリストを提供するなど、サービス提供方法を検討していく。 出前図書館 ・1/20・3/17 いきいき音読倶楽部 ・1/24 令和2年度れんけいこうち防災人づくり塾 ・2/21 「大人の発達障害」を理解するセミナー ・2/27 私の終活・住まいの終活～私の死後、家や財産はどうなるの？～（延期） ・3/13 開発研究者が語る 身近な歯科材料のふしぎ	出前図書館　13　回実施 出前図書館 ・10/25 【共催・館内】第58回地域医療連携研修会 ・11/1転倒を予防するリハビリ体験 ・11/21 発達障害者就労支援セミナー ・12/8防災製品開発WG(防災食品)セミナー ・12/26いざというときに備えて知っておきたい相続と遺言の基礎知識 ・7/15・9/16・11/18・1/20・3/17 いきいき音読倶楽部 ・1/24 令和2年度れんけいこうち防災人づくり塾 ・2/21 「大人の発達障害」を理解するセミナー ・3/13 開発研究者が語る 身近な歯科材料のふしぎ 以下の関係機関と連携について協議しサービスの説明を行った。 ・4/15、8/5、10/14土佐リハビリテーションカレッジ ・6/24高知大学医学部附属病院がん相談支援センター、県健康対策課 ・8/4高知医療センター(なるほどライブラリ、地域医療センター) ・9/8、10/20YAMAKIN株式会社 ・9/18、10/27高知県心の教育センター ・10/8高知市社会福祉協議会 ・10/16高知県発達障害者支援センター ・10/28、12/8高知県立精神保健福祉センター ・10/28高知県ひきこもり地域支援センター ・11/25高知県看護協会 ・12/23高知市消防局 ・12/24高知リハビリテーション専門職大学 ・12/24高知市健康増進課 ・1/19、1/22高知市消防局 以下の関係機関に対し図書館活用講座を実施した(再掲) ・11/4高知県心の教育センター ・11/18、11/19高知市社会福祉協議会地域協働課 ・2/2高知市消防局 ・2/18、2/24高知市社会福祉協議会共に生きる課 ・3/18土佐リハビリテーションカレッジ教職員	【成果】 〇 ・「いきいき健康チャレンジ」(高知市健康増進課主催)など、例年出前図書館を実施していたイベントが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったこともあり、4～8月は実施に至らなかったが、10月以降は館内でのイベントを中心に出前図書館の機会を設け、13回の出前図書館を行うことができた。 【課題】 ・引き続き、職員が常駐しない出前図書館の実施、オンラインイベントへのブックリストの提供など、非接触型サービスを提供していく必要がある。	・引き続き、出前図書館、オンラインイベントへのブックリストの提供などを併用し、図書の紹介を行う。
	アウトリーチの実施	出前図書館のほか、外に出て、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います。		【成果】 〇 ・積極的に専門機関にアプローチし、連携に向けた協議やサービスの説明を多数行うことができた。それらをききっかけとして専門機関の利用が拡大した。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染対策のため、往来を控える団体が出てきている。	・往来を控える団体が出てきてはいるものの、状況を見て訪問を行うなどして全体としては順調にアプローチができている。訪問・来館とオンラインを使い分けながら、引き続き、関係機関に向けた働きかけを行う。		【成果】 〇 ・積極的に専門機関にアプローチし、連携に向けた協議やサービスの説明を多数行うことができた。それらをききっかけとして、団体貸出、レファレンスなど、専門機関の利用が拡大した。 ・新型コロナウイルス感染症対策、発達障害者支援、南海トラフ地震防災対策などの担当課にサービスの説明を行い、連携事業に発展させることで、県市の重点施策における課題解決に貢献することができた。 【課題】 ・県市の課題や重点施策を担う行政機関や団体に向け、より重点的に図書館活用の提案やサービスの周知を行う必要がある。	・県市の課題や重点施策を担う行政機関や団体に向け、より重点的に図書館活用の提案やサービスの周知を行っていく。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度			令和2年度			令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日		令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日			令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績（数値は12月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績（数値は3月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を〇△×で 課題		今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等・ ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）
職員研修	司書の専門性の向上	専門図書館向けの研修にも参加するほか、専門機関が開催する講演やセミナー等に積極的に参加し、司書の専門性の向上を図ります。	・8/21開催「高知市南海トラフ地震対策業務継続計画改訂に係る庁内勉強会」に参加。 ・9/5開催「防災講演会in高知」に参加。（高知県工業振興課主催、高知市総合あんしんセンターにて） ・9/14-18開催「令和2年度図書館司書専門講座」に参加。（文部科学省・国立教育政策研究所主催、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター にて） ・11/18開催「防災士スキルアップ講座」に参加。 ・11/20に館内職員向け「認知症サポーター養成講座」を実施。 ・11/20開催「高知市南海トラフ地震対策業務継続計画改訂に係る庁内勉強会」に参加。 ・11/28第106回全国図書館大会第9分科会「図書館災害対策」に参加（オンライン開催）	【成果】 〇 ・職員向け「認知症サポーター養成講座」を実施したことにより、オーテピア館内の職員が、認知症のことについて知ることができた。 ・参加した職員が報告書や資料を回覧することで知識の共有ができた。 【課題】 ・研修自体の開催が見送られている。	・1/24開催「令和2年度れんけいこうち防災人づくり塾」に参加予定。 ・1/29開催「高知市南海トラフ地震業務継続計画改訂に係るワークショップ」に参加予定。 ・2/11開催「災害時の外国人支援セミナー」に参加予定（高知県国際交流課・高知県主催、オーテピアにて）	【取組】 ・8/21開催「高知市南海トラフ地震対策業務継続計画改訂に係る庁内勉強会」に参加。 ・9/5開催「防災講演会in高知」に参加。（高知県工業振興課主催、高知市総合あんしんセンターにて） ・9/14-18開催「令和2年度図書館司書専門講座」に参加。（文部科学省・国立教育政策研究所主催、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター にて） ・11/18開催「防災士スキルアップ講座」に参加。 ・11/20に館内職員向け「認知症サポーター養成講座」を実施。 ・11/20開催「高知市南海トラフ地震対策業務継続計画改訂に係る庁内勉強会」に参加。 ・11/28第106回全国図書館大会第9分科会「図書館災害対策」に参加。（オンライン開催） ・1/24開催「令和2年度れんけいこうち防災人づくり塾」に参加。 ・1/29開催「高知市南海トラフ地震業務継続計画改訂に係るワークショップ」に参加。 ・2/11開催「災害時の外国人支援セミナー」に参加。（高知県国際交流課・高知県主催、オーテピアにて）	【成果】 〇 ・職員向け「認知症サポーター養成講座」を実施したことにより、オーテピア館内の職員が認知症のことについて知ることができた。 ・参加した職員が報告書や資料を回覧することで知識の共有ができた。 【課題】 ・関係機関が実施する研修等のオンライン化が進む中で、よく使用されるソフトの使用方法を習得している職員とそうでない職員がおり、受けられる研修に差が見られる。	・個人の研鑽を目的としたものに限らず、関係機関との連携を強化・深化できる研修についても参加していく。
行事	※追加項目 「いきいき音読倶楽部」関連をこちらに集めました。		開催日　行事名　参加者数 7/15　いきいき音読倶楽部　8 9/16　いきいき音読倶楽部　4 11/18　いきいき音読倶楽部　3	【成果】 〇 ・音読体験を通して、参加者に音読は日頃から自宅でも簡単に取り組めるものであると認識いただけている。 【課題】 ・高齢者を中心とした集合型イベントであるため、今後の実施形態について検討の必要がある。 ・新型コロナウイルス感染予防のためか、参加者数が徐々に落ち込んでいる。 ・新型コロナウイルス感染者が増加する中で、高齢者向けのイベントをどの程度広報するか、引き続き検討の必要がある。	・今後は、1/20、3/17に実施予定。 ・利用者が安心して参加できるように動画配信など実施形態を検討しながら、イベントを実施していく。 ・当日参加できなかった人でも自宅で取り組めるように、音読で使用する資料の展示を検討する。 ・県の示す感染ステージに応じて広報手段を検討・実施していく。	開催日　行事名　参加者数 7/15　いきいき音読倶楽部　8 9/16　いきいき音読倶楽部　4 11/18　いきいき音読倶楽部　3 1/20　いきいき音読倶楽部　5 3/17　いきいき音読倶楽部　1	【成果】 〇 ・音読体験を通して、参加者に音読は日頃から自宅でも簡単に取り組めるものであると認識いただけた。 【課題】 ・高齢者を中心とした集合型イベントであるため、今後の実施形態について検討の必要がある。 ・新型コロナウイルス感染予防のためか、参加者数が徐々に落ち込んでいる。 ・今後は、来館せずとも音読活動ができるような新たな実施方法を検討する必要がある。	・令和3年度5月の開催をもって「いきいき音読倶楽部」の定期的な実施を終了し、新たに、利用者自身が自宅等で音読活動に取り組めるよう、音読用テキストや資料を様々な方法で提供していく。 ・定期開催終了後は、単発イベントとして社会情勢等を見ながら適宜開催していく。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)			令和2年度			令和2年度		令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日		令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日		令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check)	今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
				成果			成果 冒頭に達成状況を○△×で	
				課題			課題	
講座等	図書館活用講座の実施	図書や雑誌、新聞、データベースなどから必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法等を習得するための講座を開催します。	2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「情報リテラシー → 図書館活用講座の実施 」を参照					
			2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービス のサービス取組内容等 「情報リテラシー → 図書館活用講座の実施 」を参照					
利用ガイド	パスファインダーの作成・提供	情報リテラシーが身に付くよう、上記の講座等にあわせ、各種のパスファインダー(テーマごとの情報の探し方案内)を作成し、提供します。	2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供 」を参照					
			2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービス のサービス取組内容等 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供 」を参照					
			2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (4)行政支援サービス 「利用ガイド → ブックリストやパスファインダーの作成・提供 」を参照					
			3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (2)ティーンズ・サービス 「利用ガイド → パスファインダーの作成・提供 」を参照					
	ガイドブックの作成・提供	上記の講座等にあわせ、分野ごとにある程度まとまった情報の探し方ガイドや重要な本等のリストを作成し、提供します。 映像によるものなどの作成も検討します。		【成果】 【課題】			前年度末に第1版を作成・発行した、オーテピア高知図書館の取扱説明書ともいえる冊子「オーテピア高知図書館ガイドブック」の改訂版を作成した。	【成果】いくつかのサービスについて、配布先(一般利用者ではなく、行政機関や課題解決関係機関・団体など)の利用者に伝えたいポイントが整理できた。 【課題】「どういった分野・対象にどの水準まで働きかけるか」という目標や、分野・対象の優先順位が定められていない。	外部機関・団体等において行う図書館活用講座や行政機関の研修、県市各課が関係機関・団体を集めて行う会で時間を設定してもらって図書館の説明を行うケースなどが配布機会であるが、今後の図書館利用につながるよう効果的に活用するという観点から、配布先を具体的に把握・検討していく。
他の取組との連携	職場体験等での実施	職場体験や図書館見学等の機会をいかし、情報リテラシーの理解を広めます。	児童サービスにおいて、5月に、図書館紹介動画「キリンくんとライオン司書のオーテピア高知図書館たんけんツアー」を作成し、YouTubeで公開。【再掲】	【成果】 【課題】	この紹介動画は図書館見学でも活用しており、わかりやすいと好評である。	図書館見学時、それぞれのこどもの理解度に合わせた形で説明できるよう工夫をしていく。	・見学の際使用するスライド・台本をリニューアルし、学年や理解度に合わせて内容を少しずつ変えながら見学を行った。 ・障害のあるこどもや園児の見学については、事前打ち合わせを行いスムーズに見学対応ができるように準備した。	【成果】学年や理解度に合わせた見学対応ができたことで、様々なこどもに図書館の使い方や本の探し方を伝えることができた。 【課題】	・現在の取り組みを継続して行う。
	アウトリーチ(出前図書館)等での実施	館外で行う出前図書館等を活用しながら、情報リテラシー向上のプログラムを実施します。	2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ①ビジネス・農業・産業支援サービスのサービス取組内容等 「アウトリーチ」の2項目を参照					
			2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (2)課題解決支援サービス ②健康・安心・防災情報サービス のサービス取組内容等 「アウトリーチ」の2項目を参照					
			2 暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援 (4)行政支援サービス 「 アウトリーチ → 出前図書館の実施 」を参照					
			3 利用者に対応した図書館サービスの充実 (1)児童サービス 「 アウトリーチ 」を参照					
			4 連携・支援及び図書館の活用 (3)県立学校図書館等との連携・協力(県立図書館機能) 「 アウトリーチ → 出前講座等の実施 」を参照					

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績（数値は12月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check) 成果 / 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績（数値は3月31日時点）	【取組の成果と課題】(Check) 成果 冒頭に達成状況を○△×で / 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）
資料	資料の収集・提供	地域の課題に関する図書や雑誌、新聞、ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ等を系統的に収集し、提供します。	・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して行っている。 ・行政向けメールマガジンでは，「今月の1冊」と題した行政職員の業務に役立ちそうな本を紹介するコラムを掲載している。	【成果】 行政職員による利用は継続的にある。 【課題】 行政職員が業務上必要とする資料は，課によって異なるため，一層のニーズの把握が重要である。	・引き続き県庁・市役所職員に向けて寄贈依頼の広報やPRを行っていく。 ・行政職員のニーズの把握に努め，課題解決に必要な資料の提供を今後も続ける。	【取組】 ・ニーズの高い資料やリクエスト資料の購入、連携展示やイベントをきっかけとした未所蔵資料の収集などを継続して実施。 ・ブックリストやパスファインダーを作成し、行政の掲示板で発信。	【成果】 ○ 図書館活用講座をきっかけとして、データベースの利用に繋がった事例があった。 【課題】 行政職員が業務上必要とする資料は、課によって異なるため、一層のニーズの把握が重要である。	・引き続き県庁・市役所職員に向けて寄贈依頼の広報やPRを行っていく。 ・行政職員のニーズの把握に努め，課題解決に必要な資料の提供を今後も続ける。
	データベースの導入・提供	新聞記事や法務・政務関連等のデータベースを導入し、提供します。	・11月に行政職員向けのメールマガジンで、データベースによる情報検索のPRを行った。 ・データベース講習会や図書館活用講座に関しても、メールマガジン等で継続して案内をしている。	【成果】 高知新聞のデータベースがあることを伝えると、使ってみたいと好感触な反応があった。 【課題】 ・高知新聞以外の問合せや利用が比較的少ない。 ・もっと行政職員にデータベースを活用してもらう必要がある。	・メールマガジン等で、レファレンス事例とともに紹介するなど、利用のイメージがわきやすい紹介をする。 ・来年度の行政職員向けの研修依頼もきており、データベースの活用方法についても紹介できるように準備を進める。	【取組】 ・11月に行政職員向けのメールマガジンで、データベースによる情報検索のPRを行った。 ・データベース講習会や図書館活用講座に関しても、メールマガジン等で継続して案内をしている。 ・「オーテピア高知図書館ミニ講座　データベースを使ってみよう！医中誌Web基礎編」を実施（2月に同内容で4回）。 ・土佐MBA専科「図書館をビジネスに活かす」(1/29.1/30)にてビジネス関係のデータベース紹介、演習を実施。	【成果】 ○ 図書館活用講座を行政各課にも周知した結果、数名の参加があり、DB利用についてなど参考になったとの声があった。 【課題】 ・高知新聞以外の問合せや利用が比較的少ない。 ・行政職員への周知が不足している。	・メールマガジン等で、レファレンス事例とともに紹介するなど、利用のイメージがわきやすい紹介をする。 ・来年度の行政職員向けの研修依頼もきており、データベースの活用方法についても紹介できるように準備を進める。
	行政資料の収集	県庁や高知市役所をはじめとして、他の県内各市町村に対しても図書館への行政資料提供の徹底を働きかけて、収集します。	【取組】年度の初めに県庁各課および出先機関、学校、警察に対し、全庁メールで行政資料の寄贈依頼を発信。併せて今年度の新たな取り組みとして、8月の執務環境整備強化月間に県庁各課・出先機関に再度寄贈依頼をおこなった。また県内市町村に対してはFAXで行政資料の寄贈依頼を発送した。市も同様に、各課に寄贈依頼の文書を送付している。	【成果】 ○ 8月に県庁各課に発信した寄贈依頼メールには、これまで反応のなかった課からの問い合わせがあり、行政資料の充実につながった。 【課題】 文書を発信した際は寄贈をしてくれるが、時間が経過すると忘れられる事もある。 庁内でもペーパーレス化の動きが進み、紙資料ではなくウェブでの公開となるものがある。	・時機を捉えて県市全庁に継続的に呼びかけを行う。 ・ウェブ化の資料を印刷し、紙資料として提供できるようにする。 ・同じく資料の収集をしている情報公開センター等と連携して収集に洩れがないよう努める。	【取組】 (県)年度初めと8月の県庁執務環境整理月間に合わせての2度、全庁メールによる県庁各課および出先機関への行政資料寄贈の呼びかけをおこなった。また、県内市町村総務課および県内私立学校・大学に対して資料寄贈依頼をFAXでおこなった。 (市)年度初めに全庁掲示板で各課へ寄贈依頼を発信した	【成果】 ○ 県)県庁各課については確実に図書館で資料収集していることの認知度が上がっており、行政資料の充実につながった。また利用者からの問い合せも増えており、収集した資料が活用されている手応えを感じた。 (市)市も同様に、全庁掲示板を見ての寄贈及び寄贈の問い合わせが年々増加している。”閏き続き年に1～2度，寄贈依頼を発信する。 【課題】 各市町村から，継続して寄贈されない(担当者が代わり引き継がれていない)こともある。県・市町村ともに、ウェブサイトでの公開のみで紙資料を作成しない行政資料が増えつつある。このようなデジタル資料への対応を検討する必要がある。	検討する材料として、まずは県の行政資料について、県庁ウェブサイトで公開されている行政資料を把握し、当館での所蔵の有無、紙資料を作成しているかの確認等をおこなう。検討にあたっては、県立公文書館とも意見交換する。
	各課・機関への長期貸出	団体貸出カードを使用することにより、資料の長期貸出を行います。	・行政向けメールマガジン「オーテピア高知図書館通信Vol.16～団体貸出サービスでもっと便利に！～」で団体貸出・利用・返却方法・活用方法について発信した。 ・高知市役所新庁舎1階に返却ポストが新設された。 ・行政機関向けの図書館活用講座で、団体貸出についてPRを行った。	【成果】 ・高知市役所新庁舎1階に返却ポストが新設され、利便性が向上した。 ・図書館活用講座でのPRをきっかけとして、団体貸出を利用する行政機関が増えた。 ・毎月継続して団体貸出を希望する行政機関もあり、資料の準備などの支援を行っている。 【課題】 行政向けの団体貸出の運用や、学校職員向けの団体貸出の運用について、今後児童担当とも協議していく必要がある。	今後も継続して登録のメリットや、活用方法の提案について情報発信を行う。	【取組】 ・行政各課、高知市学校向けの団体貸出の運用及び利用者資格区分について、児童担当やシステム担当と協議中。 ・行政向けメールマガジン「オーテピア高知図書館通信Vol.22～お近くの図書館でオーテピアを利用できます！～」で協力貸出・返却等について発信。	【成果】 ○ ・継続して団体貸出を希望する行政機関もあり、資料の準備などの支援を行っている。 【課題】 行政各課、高知市学校向けの団体貸出の運用について、行政機関のニーズを把握しつつ、協議を進めていく必要がある。	・今後も継続して登録のメリットや、活用方法の提案について情報発信を行う。 ・行政各課、高知市学校向けの団体貸出の運用について、行政機関のニーズを把握しつつ、今後も児童担当やシステム担当と協議を進めていく。
	庁内便等の活用	図書館資料の貸出しや返却に庁内便等を活用することにより、利便性を向上します。	返却ポストの利用 県 203 冊 市 2,814 冊	【成果】 特に市役所内の返却ポストは、利用冊数も多くコンスタントに利用がある。 【課題】 継続して周知するとともに、より利便性の高い運用についても検討する必要がある。	利便性を向上させるため、庁内便を利用した貸出や、市役所の返却ポストの利用について、運用の見直しを検討する。	返却ポストの利用 県 286 冊 市 4,368 冊	【成果】 ○ 特に市役所内の返却ポストは利用冊数も多くコンスタントに利用があり、行政各課や市役所を訪れる方の利便性向上につながっている。 【課題】 継続して周知するとともに、より利便性の高い運用についても検討する必要がある。	・利便性を向上させるため、庁内便を利用した貸出や、市役所の返却ポストの利用について、運用の見直しを検討中。
利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの作成・提供	仕事に役立つリストを作成し、資料を探す支援を行います。	ブックリスト *開館からの累計 *ウェブ・サイトで公開しているもの 82 種 パスファインダー *開館からの累計 *ウェブ・サイトで公開しているもの 12 種（ビジネス　種、多文化　種、健康安心　種、ティーンズ　種）	【成果】 ・昨年度から連携を続けている高知県労働委員会事務局からは、引き続きブックリストの作成依頼がある。加えて、ブックリストやチラシだけではなく、展示や書架作りにまで踏み込んだ、情報提供についても提案があった。 【課題】 ・ブックリスト作成についての要望が多く、作成が追いつかない。 ・パスファインダーは作成に時間がかかるため種類が少ない。	・高知県労働委員会事務局からの提案で、ブックリストやチラシの配布に加え、館内で分散している労働に関する本を集めて情報提供できるように、展示の計画を進めていく。 ・パスファインダーやブックリストの作成については、利用者からのニーズが高い内容を優先し、また、特定の分野に偏りすぎないように考慮しつつ、連携機関の協力を得て長期的に作成に取り組む。	ブックリスト *開館からの累計 *ウェブ・サイトで公開しているもの 98 種 パスファインダー *開館からの累計 *ウェブ・サイトで公開しているもの 13 種（ビジネス　種、多文化　種、健康安心　種、ティーンズ　種）	【成果】 ○ ・昨年度から連携を続けている高知県労働委員会事務局からは、引き続きブックリストの作成依頼がある。 【課題】 ・パスファインダーは作成に時間がかかるため種類が少ない。	・パスファインダーやブックリストの作成については、利用者からのニーズが高い内容を優先し、また、特定の分野に偏りすぎないように考慮しつつ、連携機関の協力を得て長期的に作成に取り組む。
レファレンス	庁内レファレンス・サービス	行政運営や政策立案に必要な情報収集や関連調査を支援します。	・様々な図書館PRの機会を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介している。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメインの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・サービスの具体例を紹介している。	【成果】 定期的に行政職員によるレファレンス依頼がある。回答後、お礼メール等の返信がある場合もある。 【課題】 利便性向上のため、行政職員からのレファレンスに特化したメールアドレス開設などを検討する必要がある。	専用メールアドレスの開設など、今後も継続してレファレンス・サービスの周知や情報発信を行う。	【取組】 ・メルマガや図書館活用講座など、様々な図書館PRの機会を捉え、行政機関にレファレンス・サービスを紹介。 ・学校関係者、行政関係者、課題解決関係機関・団体をメインの対象にした『図書館ガイドブック』の中でレファレンス・サービスの具体例を紹介。 ・高知県移住促進課の協力を得て、オーテピア高知図書館活用事例まんがを制作。	【成果】 ○ ・月に数回程度、行政職員によるレファレンス依頼がある。回答後、お礼メール等の返信がある場合もある。 ・県移住促進課と連携して図書館活用事例まんがを制作することで、効果的にレファレンスサービスをPRすることができた。 【課題】 ・今後も継続してレファレンス・サービスの周知や情報発信を行っていく必要がある。 ・利便性向上のため、行政職員からのレファレンスに特化したメールアドレス開設などを検討する必要がある。	・専用メールアドレスの開設や行政職員向けの図書館活用講座などで、今後も継続してレファレンス・サービスの周知や情報発信を行う。 ・作成した図書館活用事例まんがをPRする。 ・他課とも連携して、図書館活用事例まんがを制作する。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果 課題	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 成果　冒頭に達成状況を○△×で 課題	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
連携	庁内各機関等と連携した取組の実施	図書館の諸室で健康・環境等の各部局の課題に対応した講座やｲﾍﾞﾝﾄ、企画展示等の場を提供するとともに、あわせて図書展示や図書の紹介も行います。	・高知県リサイクル製品等認定制度パネル展 :県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRに寄与(6/4～6/9 共同楽習スペース) ・こうちのohana満開プロジェクト:市農林水産課と連携し、花き需要拡大を目的とした展示を実施(6/26～11/27 共同楽習スペース、1階休憩コーナー) ・森林率日本一の高知家で木と生きる:県森づくり推進課と連携し、森林ボランティアの紹介パネル等を展示(8/14～9/2 1階休憩コーナー) ・男女共同参画図書企画展:市男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進のための展示を実施(8/13～9/30 2階展示の本棚) ・市商工振興課が情報提供する「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」高知県まとめサイト「高知家の○○」【高知家のテイクアウト・デリバリー情報】を当館Facebookで紹介。 ・森林保全ボランティア活動紹介パネル展:県林業環境政策課と連携し、森林保全ボランティアの活動を紹介(9/10～10/6 共同楽習スペース) ・動物愛護の絵画展:県食品衛生課と連携し、絵画展を実施(10/8～11/3 共同楽習スペース) ・個別労働相談・あっせん制度のPR,働き方改革パネル展:県労働委員会事務局と連携し、労働関係のパネル展を実施(10/15～10/28 1階休憩コーナー) ・高知路面電車写真展:市くらし・交通安全課と連携し、路面電車の写真や関連グッズを展示し、スタンプラリーを行った(10/17～10/30 2階階段下2か所、3階バックヤード開架側ホワイトボード) ・公共建築パネル展:県建築課と連携し、優れた県内の公共建築を紹介(10/29～11/10 1階休憩コーナー) ・第11回高知国際版画トリエンナーレ展関連展示:県工業振興課と連携し、版画展と土佐和紙についてPR(12/1～12/25 共同楽習スペース)	【成果】 ・展示を通じて、高知県・高知市の施策のPRに貢献できた。 ・パネル展の場所やパネルの種類・枚数について企画調整を中心に再検討を行い、令和3年度は展示入れ替えが効率化される予定。 【課題】 展示に関する依頼や相談が増え、場所が不足している。	・引き続き、展示を通じて、可能な限り、高知県・高知市の施策のPRに貢献する。	・高知県リサイクル製品等認定制度パネル展 :県環境対策課と連携し、リサイクル製品認定制度のPRに寄与(6/4～6/9 共同楽習スペース) ・こうちのohana満開プロジェクト:市農林水産課と連携し、花き需要拡大を目的とした展示を実施(6/26～11/27 共同楽習スペース、1階休憩コーナー) ・森林率日本一の高知家で木と生きる:県森づくり推進課と連携し、森林ボランティアの紹介パネル等を展示(8/14～9/2 1階休憩コーナー) ・男女共同参画図書企画展:市男女共同参画課と連携し、男女共同参画推進のための展示を実施(8/13～9/30 2階展示の本棚) ・市商工振興課が情報提供する「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」高知県まとめサイト「高知家の○○」【高知家のテイクアウト・デリバリー情報】を当館Facebookで紹介。 ・森林保全ボランティア活動紹介パネル展:県林業環境政策課と連携し、森林保全ボランティアの活動を紹介(9/10～10/6 共同楽習スペース) ・動物愛護の絵画展:県食品衛生課と連携し、絵画展を実施(10/8～11/3 共同楽習スペース) ・個別労働相談・あっせん制度のPR,働き方改革パネル展:県労働委員会事務局と連携し、労働関係のパネル展を実施(10/15～10/28 1階休憩コーナー) ・高知路面電車写真展:市くらし・交通安全課と連携し、路面電車の写真や関連グッズを展示し、スタンプラリーを行った(10/17～10/30 2階階段下2か所、3階バックヤード開架側ホワイトボード) ・公共建築パネル展:県建築課と連携し、優れた県内の公共建築を紹介(10/29～11/10 1階休憩コーナー) ・第11回高知国際版画トリエンナーレ展関連展示:県工業振興課と連携し、版画展と土佐和紙についてPR(12/1～12/25 共同楽習スペース) ・「令和2年度高知『環境絵日記』:県環境共生課と連携し、県内の児童による環境絵日記を展示(1/14～1/27 共同楽習スペース) ・「第35回地場産業大賞展示」:高知県産業振興センターと連携し、地場産業大賞受賞製品・事業を紹介(2/4～2/26 共同楽習スペース) ・「森林環境情報誌『もりりん』」キャラクター似顔絵コンテスト応募作品展示会」:県林業環境政策課と連携し、「もりりん」キャラクター似顔絵応募作品を展示(3/9～3/31 2階北階段下)	【成果】 ○ ・4階諸室は行政機関での認知度も高く、各部局の課題に対応した講座やイベント等に頻繁に活用された。 ・館内での展示を通じて、高知県・高知市の施策のPRに貢献できた。 【課題】 企画展示については、(申し込みがあった件についてお受けするため)やや受動的な取り組みとなってしまっており、当館からのアプローチがやや不足している。	・2階共同楽習スペースでのパネル展示であれば、関連本の展示を実施できる場合があるので、双方にとってメリットのある場合は、連携の機会と捉え当館からもアプローチしていく。
アウトリーチ	出前図書館の実施	講座やイベント時にテーマに沿った資料を持参し、その場で資料の貸出しやレファレンス・サービスを行います。	出前図書館　2　回実施 ・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2　県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。	【成果】 貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。 【課題】 出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。	・必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。	出前図書館　3　回実施 ・7/19 県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2　県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・3/9～3/14 県環境共生課が実施する「希少野生動植物普及啓発事業」展示で出前図書館(本の展示のみで職員は不在)を実施。 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。	【成果】 ○ 職員が常駐せず本の展示のみとしたり、代替案としてブックリストを提案することで、非接触での図書の紹介を進めることができた。 【課題】 職員が常駐しない出前図書館では、カウンターに行って借りるひと手間がネックとなり、貸出冊数が伸びにくい。	職員不在の出前図書館ではどうしても利用者に図書館で貸出手続を行っていただく手間が発生するため、貸出冊数は減少する。その場でご覧になっている方はいるほか、実施機関へ所蔵図書のアピールができる機会となっていることから、貸出冊数にこだわらず、図書館PRの一環と考えて、職員が常駐しない形での出前図書館の実施を継続する。
アウトリーチ	図書館活用講座の実施	行政支援サービスや図書館の情報提供機能について、各行政機関のニーズに合わせて説明します。	・4/6県新規採用職員研修基礎①にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) ・4/13県新規採用職員研修(社会人経験者採用)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(集合研修/30分) ・5/27高知県教育センターのチーフ会にて図書館活用講座を実施(30分) ・6/2県主査研修(基礎)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) ・6/17高知県教育センター職員(チーフ除く)向けに図書館活用講座を実施(30分) ・6/19高知県産学官民連携センターに新たに着任した職員向けに図書館活用講座を実施(30分) ・7/21県移住促進課向けに図書館活用講座を実施(30分) ・8/6県地産池消・外商課向けに図書館活用講座を実施(30分) ・産学官民連携センターが主催する土佐経営塾で図書館活用講座の動画を提供 ・10/15県生涯学習課向けに図書館活用講座を実施(15分) ・11/4高知県心の教育センター向けに図書館活用講座を実施(30分)	【成果】 ・講座内容を各課の課題やニーズに応じたものにすることで、レファレンス・サービスの利用、チラシやパンフレットの収集、連携事業の依頼などに結び付いている。 ・教育センターにおいて、試行的に、講座と利用登録(共通利用カード、電子図書館)をセットにして実施した。職員の登録率が上がっただけでなく、講座で知ったサービスをすぐに利用することができ、講座の効果がより高まった。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、土佐経営塾では図書館活用講座動画を提供し、経営塾受講者の利用を促進することができた。 【課題】 図書館活用講座に伴って利用登録するためのマニュアルが整理されていない	図書館活用講座に伴って利用登録をするためのマニュアルを整備する。	・4/6県新規採用職員研修基礎①にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) ・4/13県新規採用職員研修(社会人経験者採用)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(集合研修/30分) ・5/27高知県教育センターのチーフ会にて図書館活用講座を実施(30分) ・6/2県主査研修(基礎)にて図書館活用講座「図書館の情報活用」を実施(オンライン/30分) ・6/17高知県教育センター職員(チーフ除く)向けに図書館活用講座を実施(30分) ・6/19高知県産学官民連携センターに新たに着任した職員向けに図書館活用講座を実施(30分) ・7/21県移住促進課向けに図書館活用講座を実施(30分) ・8/6県地産池消・外商課向けに図書館活用講座を実施(30分) ・産学官民連携センターが主催する土佐経営塾で図書館活用講座の動画を提供 ・10/15県生涯学習課向けに図書館活用講座を実施(15分) ・11/4高知県心の教育センター向けに図書館活用講座を実施(30分) ・2/2高知市消防局向けに図書館活用講座を実施(60分)	【成果】 ○ ・講座内容を各課の課題やニーズに応じたものにすることで、レファレンス・サービスの利用、チラシやパンフレットの収集、連携事業の依頼などに結び付いている。 ・教育センターへの図書館活用講座では、試行的に、講座と利用登録(共通利用カード、電子図書館)をセットにして実施した。職員の登録率が上がっただけでなく、講座で知ったサービスをすぐに利用することができ、講座の効果がより高まった。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、土佐経営塾では図書館活用講座動画を提供。~~し~~経営塾受講者の利用を促進することができた。 【課題】 ・高知市各課への図書館活用講座が十分にできていない。	・パネル展示等での連携機会をとらえ、高知市各課に対し、サービス説明や図書館PR行い、図書館活用講座の実施を提案する。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和2年度1月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
○選定支援コーナー受入（雑誌除く・教科書含む） ＝ 1,791冊 市885冊（雑誌52冊を除く） 県678冊（CE含む）								
資料	基本図書の充実	長く、子どもに読み継がれる基本的な図書を選定・収集し、提供します。	児童書の受入冊数 2,683 冊	【成果】 ○ ・県市の担当で協力することで、選書の合理化やスピードアップを図ることができている。 【課題】 ・なし	・教科書の改訂に合わせた団体貸出セットをすべて提供可能な状態にする。	児童書の受入冊数 3,932 冊	【成果】 ○ ・県市の担当で協力することで、選書の合理化やスピードアップを図ることができている。 新たな団体貸出セットの提供により、学校での調べ学習用の要望に応えやすくなった。 【課題】 ・なし	・教科書の改訂に合わせた団体貸出セットをすべて提供可能な状態にする。 ・しかけ絵本は分類ごとに配架されているため利用者が探しにくいという問題を解決するために、しかけ絵本の展示を行い、ブックリストを作成する。
	調べ学習に役立つ図書の収集・提供	子どもたちの疑問や好奇心に応え、調べ学習に役立つ図書を収集し、提供します。	**↑雑誌・選定支援コーナー分は除く** ・教科書の改訂に合わせ、団体貸出セットの資料を決定し購入をし始めた。			**↑雑誌・選定支援コーナー分は除く** ・教科書の改訂に合わせた新しい団体貸出セットの提供を始めた。また、団体貸出セットの内容を見直し、資料の入れ替えや、需要のないセットの解体をした。		
	しかけ絵本や特大絵本の収集・提供	しかけ絵本や特大絵本等、子どもたちの興味や好奇心をくすぐるような絵本を収集し、提供します。	・県市の担当が協力して選書ができる仕組みを再確認した。 ・しかけ絵本を積極的に購入した。 ・傷んだ本を随時買い替えた。			・県市の担当が協力して選書ができる仕組みを再確認した。 ・しかけ絵本を積極的に購入した。 ・傷んだ絵本を積極的に買い替えた。 ・令和3年4月に行うしかけ絵本の展示に向けて、準備をした。		
展示	タイムリーな企画展示の実施	育児に関連する図書や、子育て情報に関する資料等を集めた子育て支援コーナーを設置し、展示を行います。	展示回数 12 回 展示本 1,573 冊 ブックリスト こども…22種類、子育て応援…3種類公開中 ・出前図書館等で子育て応援コーナーのPRを3回行った。 ・情報提供のため、子育て応援コーナーにてチラシや、保育園の入所申込書を配布した。	【成果】 ○ ・展示に関連し行ったイベント(読書ラリー)が利用者から好評。 【課題】 ・子育て関連のブックリストを新規作成していない。 ・子育て応援コーナーから、2階・3階にある各関連書のコーナーへの誘導が必要。	・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行い、チラシ等を充実させる。 ・子育て応援コーナーの広報を行う。 ・子育て関連のブックリストを作成する。 ・子育て応援コーナーから各関連書のコーナーへの効果的な案内方法を検討する。	展示回数 16 回 展示本 2,316 冊 ブックリスト こども…26種類 子育て応援…6種類公開中（こどもと重複しているものが3件有） ・子育て応援コーナーのPRを出前図書館等で4回行った。 ・子育て応援コーナーでチラシや保育園の入所申込書を配布し、子育て世代に必要な情報提供を行った。 ・利用者の本の探しやすさを向上させるため、本棚のリニューアルを検討し、資料の入れ替えを行った。 ・乳幼児と保護者対象のおはなし会の会場で、子育て応援コーナーにある本の展示を行った。	【成果】 ○ ・展示に関連し行ったイベント(読書ラリー)が利用者から好評。 ・おはなし会の会場に子育て世代向けの本を展示したことで、開始までの待ち時間にコーナーのPRや、資料提供を行うことができた。 【課題】 ・子育て関連のブックリストを新規作成していない。 ・子育て応援コーナーから、2階・3階にある各関連書のコーナーへの誘導が必要。	・子育て応援コーナーのリニューアルを完了させ運用を始める。 ・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行い、チラシ等を充実させる。 ・子育て関連のブックリストを作成する。 ・子育て応援コーナーから各関連書のコーナーへの効果的な案内方法を検討する。
利用ガイド	探し方マニュアルの提供	コンピュータによる図書館の蔵書目録（OPAC）やデータベース、インターネットの基本的な使い方に関するマニュアルを作成し、提供します。また、作成したものは当館のホームページに掲載します。	・こどもコーナーの分類マップを配布した。 ・「こどもとしょかんしんぶん」に、本の探し方をこどもに伝えるための記事を掲載した。	【成果】 ○ ・利用者がこどもコーナーの本を探しやすくなった。 【課題】 ・OPACの使い方マニュアル未完成。	・OPACの使い方マニュアルを、ティーンズ担当が作成しているものを参考に作成する。	・こどもコーナーの分類マップを配布した。 ・「こどもとしょかんしんぶん」に、本の探し方をこどもに伝えるための記事を掲載した。	【成果】 ○ ・分類マップを配布したり、「こどもとしょかんしんぶん」に本の探し方を掲載することで、利用者が本を探しやすくなった。 【課題】 ・OPACの使い方マニュアル未完成。	・引き続き「こどもとしょかんしんぶん」に、本の探し方をこどもに伝えるための記事を掲載する。 ・OPACの使い方マニュアルを、ティーンズ担当が作成しているものを参考に作成する。
レファレンス	調べものをしやすい環境の整備	児童スペース内のカウンターでのレファレンスサービスの充実を図ります。	・こどもカウンター受付レファレンス 事項 312 件 所蔵 5,062 件 合計 5,374 件 ブックリスト こども…22種類、子育て応援…3種類公開中	【成果】 ○・今までに作成したブックリストをファイリングし、カウンターに常備して、レファレンスツールとして活用した。 【課題】 ・ブックリストはウェブ・サイトのみの公開で、館内での配布ができていない。	・ブックリストを館内で配布する。	・こどもカウンター受付レファレンス 事項 430 件 所蔵 6,806 件 合計 7,236 件 ブックリスト こども…26種類 子育て応援…6種類公開中（こどもと重複しているものが3件有）	【成果】 ○ ・今までに作成したブックリストをレファレンスツールとして活用できた。 【課題】 ・館内配布用のブックリストが作成できていない。	・館内配布用のブックリストを作成する。
行事	子どもと本を結びつける行事の実施	小さな頃から子どもが本に親しみ、また、保護者も子どもの読書に関心を持つように、読み聞かせ、ストーリーテリングなどを定期的に行います。	開催数 / 参加者数(人) おはなし会 62 421 手話おはなし会 1 9 外国語おはなし会 ・おはなし会では、紙芝居、ストーリーテリングを積極的に取り入れた。	【成果】 ○・参加者からは好評で、特に「ぴった～あかちゃんのおはなしかい」はリピーターが多い。 【課題】 ・なし	・現在の取り組みを継続して行う。	開催数 / 参加者数(人) おはなし会 74 540 手話おはなし会 2 22 外国語おはなし会 6 154 ・おはなし会では、紙芝居、ストーリーテリング、手遊びを積極的に取り入れた。	【成果】 ○ ・参加者からは好評で、特に「ぴった～あかちゃんのおはなしかい」はリピーターが多い。 【課題】	・現在の取り組みを継続して行う。 ・科学館と連携をとり、出張おはなし会を検討中
普及活動	保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及	定期的に図書館で読み聞かせを実施します。また、家庭や学校で読み聞かせなどが行えるように研修会や講座を実施し、具体的なアドバイスも行います。	開催数 / 参加者数(人) おはなしの連続講座(共催) (コロナにより中止) 0 子どもの本の読書会 6 59 ストーリーテリング勉強会 6 46 ・読書会、勉強会のポスターを作成し掲示した。	【成果】 ○・勉強会、読書会の新規参加者が2名あった。 【課題】 ・新型コロナウイルスの影響で開催できなかった行事がある。	・利用登録、アウトリーチなどの際に、積極的に宣伝する。	開催数 / 参加者数(人) おはなしの連続講座(共催) (コロナにより中止) 0 子どもの本の読書会 9 83 ストーリーテリング勉強会 9 66 ・読書会、勉強会のポスターを作成し掲示した。	【成果】 ○ ・PRによって新規参加者が増え、ストーリーテリングなどの普及を推進できた。 【課題】 ・新型コロナウイルスの影響で開催できなかった行事がある。	・ストーリーテリング勉強会の成果発表の場として、秋頃に発表会を設ける。
	ブックトークの実施と普及	小学校高学年を主な対象として、ブックトークを実施します。また、ボランティアや学校関係者等への講座や研修を実施し、ブックトークを実践できる人材の育成に努めます。	開催数 / 参加者数(人) ブックトーク 1 32 ・11/19図書館見学にて依頼があり、ブックトークを行った。	【成果】 ○ 【課題】 ・こどもにブックトークを行う機会が少ない。	・外部のイベント等でブックトークを行うような機会がないか情報収集する。 ・行事などでブックトークを取り入れる。	開催数 / 参加者数(人) ブックトーク 1 32 ・11/19図書館見学にて依頼があり、ブックトークを行った。 ・高知県図書館協会主催のブロック別研修で、ブックトークの講師を務めた。また、その研修を1年目の児童サービス担当者も受講した。 ・おはなし会で、簡単なブックトークを取り入れた。	【成果】 ○ ・ブックトークの講座で、ブックトークができる担当を増やすことができた。 【課題】 ・こどもにブックトークを行う機会が少ない。	・外部のイベント等でブックトークを行うような機会がないか情報収集する。 ・行事などでブックトークを取り入れる。

○選定支援コーナー受入（雑誌除く・教科書含む）　＝　1,791冊
市885冊（雑誌52冊を除く）　県678冊（CE含む）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 【課題】	令和2年度1月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
児童書図書の選定支援	児童書の全点購入	市町村立図書館や学校等が本の選定の際に、実際に見て参考にできるよう、出版される児童書を全て購入し、期間展示します。また、県内での巡回展示も行います。	利用件数　30 件 119 人 研修会やサービスPRの折に、選定支援コーナーのPRを行った。	【成果】 ○・昨年度よりも利用が増加した。 【課題】 ・選定支援コーナーの広報が必要。 ・巡回展示後の図書の活用方法が確定していない。	・貸室の機会をとらえてPRを行う。 ・団体カード登録時にPRを行う。 ・巡回展示後の図書の活用方法について検討を行う。	利用件数　35 件 134 人 ・研修会やサービスPRの折に、選定支援コーナーのPRを行った。 ・巡回展示後の図書を、積極的に蔵書として受け入れた。	【成果】 ○ ・昨年度よりも利用が増加し、市町村立図書館や学校関係者の選書を支援することができた。 【課題】 ・選定支援コーナーの広報がさらに必要。 ・巡回展示後の図書の活用方法が確定していない。	・貸室の機会をとらえてPRを行う。 ・団体カード登録時にPRを行う。 ・巡回展示後の図書の活用方法について検討を行う。
連携	高知みらい科学館との連携	高知みらい科学館での講座等に関連した図書や雑誌等を展示したり、ﾌﾞｯｸﾄｰｸを実施します。	・5/12～7/5、8/8～12/27「科学館モバイルミュージアム」の展示物をこどもコーナーにて展示した。	【成果】 ○・展示物と関連する本の書架を案内できた。 【課題】 ・ブックトークができなかった。	・科学館でブックトークをする計画については、科学館と再検討をする。	・5/12～7/5、8/8～12/27「科学館モバイルミュージアム」の展示物をこどもコーナーにて展示した。	【成果】 ○ ・展示物と関連する本の書架を案内し、利用につながった。 【課題】 ・ブックトークができなかった。	・科学館でブックトークをする計画については、科学館と再検討をする。
情報リテラシー	情報リテラシーの学習機会の提供	図書館見学の機会をいかし、自らｺﾝﾋﾟｭｰﾀで資料や情報を検索する方法や図書の分類の仕組み、司書への尋ね方等を学ぶ機会を提供します。	団体　人数 見学　50　2593 こども司書受け入れ　0(コロナにより中止)　件 ・見学の際使用するスライド・台本をリニューアルした。 ・5月に、図書館紹介動画「キリンくんとライオン司書のオーテピア高知図書館たんけんツアー」を作成し、YouTubeで公開、図書館見学でも活用した。	【成果】 ○・新しいスライド・台本、動画が、好評。 ・それぞれのこどもの理解度に合わせた見学も好評。 ・無理のないシフト調整・人員確保ができた。 【課題】 ・コロナ対策として、見学者を少人数のグループに分け、回数を増やして行ったが、「声が聞きとりやすい」と好評だった。 ・なし	・現在の取り組みを継続して行う。	団体　人数 見学　57　2884 こども司書受け入れ　1　件 ・見学の際使用するスライド・台本をリニューアルし、学年や理解度に合わせて内容を少しずつ変えながら見学を行った。 ・障害のあるこどもや園児の見学については、事前打ち合わせを行いスムーズに見学対応ができるように準備した。 ・5月に、図書館紹介動画「キリンくんとライオン司書のオーテピア高知図書館たんけんツアー」を作成し、YouTubeで公開、図書館見学でも活用した。 ・コロナにより一度中止となっていたこども司書の再依頼があり、2月に受け入れた。	【成果】 ○ ・学年や理解度に合わせた見学対応ができたことで、様々なこどもに図書館の使い方や本の探し方を伝えることができた。 ・無理のないシフト調整・人員確保ができた。 ・コロナ対策として、見学者を少人数のグループに分け、回数を増やして行ったが、「声が聞きとりやすい」と好評だった。 【課題】 ・なし	・現在の取り組みを継続して行う。
アウトリーチ	アウトリーチ・サービスの実施	ボランティアとも連携し、図書館から外に出て、読み聞かせや本の紹介、講座を行い、ふだん図書館に来ない子どもや保護者等に図書館への来館・利用を促します。また、これらの広報を積極的に行います。	6/3園長事務連絡会　サービスPR 6/4鏡小学校　訪問 6/5はりまや橋小学校　訪問 7/1高知こどもの図書館　訪問 8/7パパママひろば　出前 8/9親子みらい×ワーク研究室　出前・サービスPR 8/23親子みらい×ワーク研究室　出前・サービスPR 10/1(木)保育技術専門講座Ⅲ　サービス説明 10/9(金)パパママひろば　出前 10/28(水)市教研図書部会　講師 11/10(火)役務員研修　出前・サービスPR 11/18(水)図書館支援員研修　講師 12/6(日)長野ヒデ子さん講演会　出前	【成果】 ○・団体登録、見学申込、選定支援コーナーの利用増につながった。 【課題】	・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行う。	6/3園長事務連絡会　サービスPR 6/4鏡小学校　訪問 6/5はりまや橋小学校　訪問 7/1高知こどもの図書館　訪問 8/7パパママひろば　出前 8/9親子みらい×ワーク研究室　出前・サービスPR 8/23親子みらい×ワーク研究室　出前・サービスPR 10/1(木)保育技術専門講座Ⅲ　サービス説明 10/9(金)パパママひろば　出前 10/28(水)市教研図書部会　講師 11/10(火)役務員研修　出前・サービスPR 11/18(水)図書館支援員研修　講師 12/6(日)長野ヒデ子さん講演会　出前 1/24(日)令和2年度　食育実践発表会　出前 2/14(日)パパママひろば　出前 2/27(土)こども司書　講師 3/9(火)～3/14(日)「希少野生動植物普及啓発事業」展示　ブックリスト提供	【成果】 ○ ・サービスのPRや出前図書館、講座を行ったことで、登録、見学申込、選定支援コーナーの利用増につながった。 【課題】 ・なし	・子育て支援をしている県庁、市役所の各課との連携を行う。 ・研修や貸出等で学校図書館と連携をとり、学校活動における図書館の利用を支援する。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
資料	ティーンズ・コーナーの設置・提供	ティーンズの興味・関心に応える本、学習内容を深めることのできる本等を収集し、ティーンズコーナーにおいて提供します。	○ティーンズ・コーナーの設置・提供 【取組】所蔵冊数:約1万冊 図書　45% 新書　6% 文庫　31% 読み物 14% 雑誌　4% 立石文庫(8類)の選定を行った。	【成果】 ○ 資料の利用実績を確認すると、図書・文庫・読み物については過去2年以内の利用実績が9割を超えており、書架の見直しに一定の効果があった。新書についても、利用実績が8割に近づいており、面展示を増やした効果が出ている。 【課題】 新書の蔵書構成について、引き続き見直しを実施	ティーンズのニーズを把握し、積極的に活用されるような蔵書構成を目指す。	○ティーンズ・コーナーの設置・提供 【取組】 所蔵冊数:約1万冊 令和2年度資料受入冊数:約2千冊	【成果】 ○ 資料のリフレッシュや面展示などの取り組みにより、利用実績については過去2年以内の貸出が9割を超えており、利用者のニーズに答えることができている。 【課題】	ティーンズのニーズを把握し、積極的に活用されるような蔵書構成を目指す。
	家庭での学習が困難なティーンズに対して、図書館資料を活用した学習の場を提供します。	【取組】当年度も継続して、夏休み期間中のM5学習室の開放、及び、4F学習室での参考書の提供を行う。	【成果】 ○ 自習利用を目的とした学生・生徒の来館は増加している。 【課題】 新型コロナウィルス感染拡大防止対策のため、館内の閲覧席を減らし、グループ室を閲覧席に転用して提供することとなった為に、学生・生徒が自習等に利用できる席が不足している。また、学生・生徒の利用マナーの悪さについて利用者からクレームが寄せられている。	新型コロナウィルス感染の防止を踏まえ、今後の閲覧席の運用について、館全体で検討する必要がある。	【取組】 開架の閲覧席に加え、土日祝日や夏休み期間中にM5学習室の開放を行った。 4F学習室にて参考書を提供した。	【成果】 ○ 従来から行っている夏休み中のM5学習室の開放に加え土日祝日も学習室を開放した結果、生徒に提供できる座席数が増加し、開架の閲覧席に関する一般利用者からのクレームが減少した。 【課題】 自習目的で来館する学生・生徒は後を絶たず、特に学校の試験前などは特に多くの生徒が来館し混雑するが、提供できる座席には限界がある。	現状の取り組みを継続し様子を見る。 学生に限らず自習利用を目的とした来館は飽和状態であり、提供方法の見直しが必要な場合は館全体で取り組む必要がある。
	さまざまな事情を抱えるﾃｨｰﾝｽﾞに対して、気軽に利用できる場を提供します。	【取組】不登校や進学していない人を含む県内全域のティーンズが、SNSを介して気軽に図書館や同世代の仲間と関わりあうことができるよう「オーテピアティーンズ部」を企画し、活動を開始。図書館見学時でのチラシ配布、教職員や司書教諭の研修の場や学校訪問でのサービス説明を通して広報を行った。	【成果】 ○7月の活動開始後、これまでに15名の入部があった。 【課題】 9月以降の新規の入部はなく、投稿10件のうち6件が同じメンバーであるなど活動メンバーが固定化されつつある。部員の入部希望増加を図るための広報のあり方や、活動内容、積極的な活動の展開等の模索が必要。	学校や学校以外の居場所へのチラシの配布やウェブサイト、SNSへの掲載、図書館見学時のチラシ配布、学校訪問などを通して引き続き定期的に広報活動を実施し、「オーテピアティーンズ部」の周知を図る。	【取組】不登校や進学していない人を含む県内全域のティーンズが、SNSを介して気軽に図書館や同世代の仲間と関わりあうことができるよう「オーテピアティーンズ部」を企画し、活動を開始。図書館見学時でのチラシ配布、教職員や司書教諭の研修の場や学校訪問でのサービス説明を通して広報を行った。	【成果】 ○ 7月から活動開始し、今年度は18名の入部があった。 【課題】 今年度末で8名が卒業し、次年度は10名からスタート。新規部員の獲得のため積極的な広報を行い、活動内容を充実させる必要がある。	引き続き定期的に広報活動を実施し、「オーテピアティーンズ部」の周知を図る。
	学校案内等の収集・提供	県内の高校、専門学校、大学等の案内、資格取得や就職に関する資料等を収集し、提供します。	県内の学校案内 30 校 資格・就職に関する資料 154 冊 進学に関する資料 312 冊 【取組】県内の各学校へ依頼文を出し、学校案内や受験要項、要覧等の収集を進めている。	【成果】 ○ 学校案内等の収集に関して、学校から積極的に配布用を送付いただくことが増え、関係団体の図書館活用に対する認知度が高まっている。 【課題】 図書館で資格取得や就職、進学に関する情報・資料が得られる事について、学生・生徒へのアピールが不足している。	展示やサイン、広報ツールなどを利用して学生・生徒への周知を行い、情報・資料の活用促進を図る。	県内の学校案内 37 校 資格・就職に関する資料 155 冊 進学に関する資料 346 冊 【取組】県内の各学校へ依頼文を出し、学校案内や受験要項、要覧等の収集を行う。	【成果】 ○ 学校側から積極的に配布用の学校案内等を提供いただくことで、網羅的な情報提供が可能となっている。 【課題】 図書館で資格取得や就職、進学に関する情報・資料が得られる事について、学生・生徒へのアピールが必要。	展示やサイン、広報ツールなどを利用して学生・生徒への周知を行い、情報・資料の活用促進を図る。
	ティーンズを支援する機関・団体のパンフレットの収集・提供	ティーンズの悩みを聞いたり相談にのったりする機関・団体のパンフレットを収集し、関連テーマのブックリスト(※1)などとともに提供します。	パンフ・チラシ 47 種類 【取組】ティーンズ通信コーナーに専用のラックを置いて、これまで発行したブックリストやパスファインダー、ティーンズ向けの情報を掲載しているチラシやパンフレット等を配布している。	【成果】 △ テーマ展示「なやみに効く本」提供の際に、県内の関連機関からチラシ等を提供いただき、本と一緒に展示した。 その他、ティーンズが参加できる講座やコンクール等のチラシを収集・配布することで、様々な情報を提供することができた。 【課題】 網羅的な収集には至っていない。	今後も引き続き、積極的な情報の収集を進め新たな関連機関から資料提供をいただけるように努める。 効率的で網羅的な収集方法について高知資料担当と連携し、検討する。	パンフ・チラシ 55 種類 【取組】ティーンズ通信コーナーに専用のラックを置き、これまで発行したブックリストやパスファインダー、ティーンズ向けの情報を掲載しているチラシやパンフレット等の配布を行う。	【成果】 △ テーマ展示「なやみに効く本」提供の際に、県内の関連機関からチラシ等を提供いただき、本と一緒に展示した。 その他、ティーンズが参加できる講座やコンクール等のチラシを収集・配布することで、様々な情報を提供することができた。 【課題】 網羅的な収集には至っていない。	今後も引き続き、積極的な情報の収集を進め新たな関連機関から資料提供をいただけるように努める。 効率的で網羅的な収集方法について高知資料担当と連携し、検討する。
展示	ティーンズに知ってもらいたいテーマの展示	自転車事故の問題や飲酒の問題等、ティーンズに知ってもらいたいテーマの展示を行います。展示にあたっては、利用者にアイデアを出してもらうなど、工夫して行います。	展示回数 9 回 展示本 1,024 冊 【取組】 3/1-4/30 新生活 5/7-6/30 にじいろの本棚 7/1-8/30 謎解き図書館 7/14-8/12 部活本！ 8/13-9/13 なやみに効く本 9/1-10/31 読んでみないか？わたしの推し本 9/14-9/30 アイドルを読む！ 10/1-10/31 ビブリオバトル 11/1-12/27 高知農業高校図書部の本棚 展示情報は随時Facebook・Twitterで紹介している。	【成果】 ○ 夏休み期間中に部活がテーマの本を展示することで、読書感想文のための本を探しに来た中高生にもカウンターで案内し、多くの中高生に本を手に取ってもらうことができた。 【課題】 グループ室を利用するティーンズ世代に昨年実施したアンケート結果より2つ実施。より手に取ってもらえた。(ティーンズ世代が選んだ本とコメントを合わせて展示、特に興味関心の強かったアイドルをテーマに展示) アイデア募集など、学生・生徒が直接携わる事で利用促進に繋がるような方法を模索中。	本のテーマ展示の際に、より展示に関心をもってもらい、また本を手に取ってもらえるよう、ティーンズ世代が思わず惹きつけられるようなテーマを選び、「お楽しみ」を取り入れていく。1月にブラインドブック展示を実施するよう準備する。	展示回数 15 回 展示本 1,727 冊 【取組】 3/1-4/30 新生活 5/7-6/30 にじいろの本棚 7/1-8/30 謎解き図書館 7/14-8/12 部活本！ 8/13-9/13 なやみに効く本 9/1-10/31 読んでみないか？わたしの推し本 9/14-9/30 アイドルを読む！ 10/1-10/31 ビブリオバトル 11/1-12/27 高知農業高校図書部の本棚 1/5-1/31 ブラインドブック 1/8-2/28 告白展 2/2-2/28 2021若い人に贈る読書のすすめ 3/9-3/31 鬼と刀と大正時代 3/9-4/30 未成年の主張 この本読んで！ 3/9-4/30 新生活 展示情報は随時Facebook・Twitterで紹介している。	【成果】 ○ ティーンズ世代に伝えたいテーマや魅力のあるテーマを検討し、ティーンズ世代の意見を反映させたり、展示内容に「お楽しみ」要素を取り入れることで、多くの中高生に本を手に取ってもらうことができた。 【課題】 更なる利用促進のため、ティーンズ世代が直接携わる事ができるような展示方法を模索中。	引き続き、ティーンズ世代に伝えたいテーマ、魅力のあるテーマについて情報を収集し展示計画を行う。 ティーンズ部員や学校に協力を呼び掛けるなど、ティーンズ世代が直接展示に携わることができる方策を検討する。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

	サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）		令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
利用ガイド	ブックリストの作成・提供	将来を考えるものや関心を広げるものから、学習に対応したものまで、各種のブックリストを作成し、提供します。	ブックリスト 8 種	【成果】 ○ 夏休み期間中に部活がテーマの本とブックリストを展示することで、展示している本だけでなく、ブックリストも他のテーマ展示開催時よりも多く配布できた。(平均10部前後だが30部ほど配布実施。) 【課題】	今後も引き続き、本のテーマ展示に合わせてブックリストを作成していく。	ブックリスト 7 種	【成果】 ○ テーマ展示と併せてブックリストを配布することで、多くのブックリストを配布することができた。 【課題】	今後も引き続き、本のテーマ展示に合わせてブックリストを作成していく。
利用ガイド	パスファインダーの作成・提供	情報や資料の探し方のガイドであるパスファインダーを上記ブックリストとセットで作成し、提供します。	パスファインダー 2 種 【取組】ウェブ・サイトにて毎月のティーンズコーナーの新着本と行っている展示資料についての、リストを公開し本の紹介を行っている。 また、展示と連動させてブックリスト、パスファインダーを作成している。パスファインダー「心の悩みと向き合う」とブックリストを作成し、「なやみに効く本」の展示架にて配布、ウェブ・サイト上でも提供した。ウェブサイト「ティーンズコーナー」に、ブックリスト・パスファインダーへのリンクを掲載した。 教職員や司書教諭の研修の場にてブックリスト・パスファインダーを配布。塩見プラザ、心の教育センターに各種チラシを設置。	【成果】 ○ 展示と連動させ作成・提供することで利用促進の相乗効果が得られた。 【課題】 より一層の活用促進と、情報へのアクセス方法の工夫。	ピンポイントで役立つテーマに焦点を当て、パスファインダーの活用促進を図る。今後も引き続き、パスファインダーの種類を増やしていく。	パスファインダー 4 種 【取組】 ティーンズコーナーの新着本や展示資料のリストをウェブ・サイトで公開し、本の紹介を行った。 展示と連動させてブックリスト、パスファインダーを作成している。今年度はパスファインダー「心の悩みと向き合う」とブックリストを作成し「なやみに効く本」の展示に併せて配布を行った。ウェブ・サイト上にも掲載・提供を行った。(2種) ウェブサイトの「ティーンズコーナー」TOPに、ブックリスト・パスファインダーへのリンクを追加し、アクセシビリティの向上を図った。 教職員や司書教諭の研修の場にてブックリスト・パスファインダーを配布した。 塩見プラザ、心の教育センターに各種チラシを設置した。 来館滞在中の利用者が使うことを前提とした気軽な調査ツールとしてポケットパスファインダー「ぽけぱす」を作成し館内配布を開始した。(2種)	【成果】 ○ 展示と連動させ作成・提供することで利用促進の相乗効果が得られた。 【課題】 より一層の活用促進と、情報へのアクセス方法の工夫。	ピンポイントで役立つテーマに焦点を当て、パスファインダーの活用促進を図る。 今後も引き続き、パスファインダーの種類を増やしていく。
普及活動	ビブリオバトルなどのイベントの開催	読書の楽しさを分かち合えるイベント、同世代に読書の楽しさを発信できるイベントを工夫して行います。イベントの企画委員の募集等、ティーンズの参加につながるような工夫をしながら行います。	ビブリオバトル地区予選大会、ボードゲームイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。 来年度の開催に向けて担当で協議している。	【成果】 × 【課題】 新型コロナウイルス感染症対策が可能なイベント開催方法の検討(オンライン開催など)		ビブリオバトル地区予選大会、ボードゲームイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。 来年度の開催に向けて担当で協議している。	【成果】 × 【課題】 新型コロナウイルス感染症対策が可能なイベント開催方法の検討。(オンライン開催など)	新型コロナウィルス感染拡大防止措置の動向をうかがいながら、来年度の開催を検討する。
普及活動	ブックトークの開催	読書の楽しさを知ってもらうために、さまざまなテーマに沿って、ブックトークを行い、いろいろな本があることを紹介します。また、利用者が参加するブックトークも企画します。	図書館見学に来る高校生向けを想定し15分のブックトーク原稿を作成。	【成果】 × 【課題】 ブックトークの実施には取り組めていない。	今後ティーンズ向けイベントや図書館見学等と抱き合わせで実施できるよう、シナリオを準備する。	図書館見学に来る高校生向けを想定し15分のブックトーク原稿を作成。	【成果】 × 【課題】 ブックトークの実施には取り組めていない。	今後ティーンズ向けイベントや図書館見学等と抱き合わせで実施できるよう、シナリオを準備する。
連携	中学・高校・大学と連携した取組の実施	学生をボランティアなどとして受け入れ、読み聞かせや学生のアイデアをいかした企画展示等を、中学・高校・大学等と連携しながら行います。	【取組】読書離れが進んでいる中高生世代と協同して読書推進活動を行う「オーテピアティーンズ部」を発足させ、県内の中学・高校、公共図書館等に広報を実施した。(164個所) 高知県立大学オーテピアンズのボランティア登録を継続した。 10/1丸ノ内高校実施の「スタンプラリー」会場としてグループ室1を提供。 11/1-12/27高知県立農業高校図書部と連携し、図書部員によるおすすめ本と紹介文POPを合わせて展示「高知農業高校図書部の本棚」を実施。 11/18学校図書館支援員研修、12/22司書教諭及び司書の指導力向上事業に係る研究協議会にて連携展示等をPR、各種チラシを配布。	【成果】 ○ 「オーテピアティーンズ部」は7月に部員募集を開始し、12月末現在15人が部員となっている。 【課題】 オーテピアンズの活動について、イベントを企画しているものの、新型コロナウイルスの影響で実行できずにいる。また、昨年に引き続き館内ツアーのガイドを担当することになっているが、こちらも新型コロナウイルスの影響で実行できず、職員がガイドを行っている。	中学・高校・大学との連携について内容の検討が必要。	【取組】読書離れが進んでいる中高生世代と協同して読書推進活動を行う「オーテピアティーンズ部」を発足させ、県内の中学・高校、公共図書館等に広報を実施した。(164個所) 高知県立大学オーテピアンズのボランティア登録を継続した。 10/1丸ノ内高校実施の「スタンプラリー」会場としてグループ室1を提供。 11/1-12/27高知県立農業高校図書部と連携し、図書部員によるおすすめ本と紹介文POPを合わせて展示「高知農業高校図書部の本棚」を実施。 11/18学校図書館支援員研修、12/22司書教諭及び司書の指導力向上事業に係る研究協議会にて連携展示等をPR、各種チラシを配布。	【成果】 ○ 「オーテピアティーンズ部」は7月に部員募集を開始し、3月末までに18人が部員となった。 【課題】 オーテピアンズの活動について、イベントを企画しているものの、新型コロナウイルスの影響で実行できずにいる。また、昨年に引き続き館内ツアーのガイドを担当することになっているが、こちらも新型コロナウイルスの影響で実行できず、職員がガイドを行っている。	今後も、中学・高校・大学との連携を積極的に進めていく。 オーテピアンズの活動が「県内の方のみに可」となったため、令和3年6月から見学の案内を実施してもらうことも視野に入れて、代表者と打ち合わせ予定。
情報リテラシー	図書館活用講座の実施	図書館の本の探し方や調べ方、情報リテラシー(情報の収集や整理、評価、活用の方法、知識)を向上させる講座を行います	ウェブ・サイト「ティーンズコーナー」内の「図書館の使い方」ページにブックリストや調べものガイド、リンク集へのリンク、レシートのみかたを掲載した。	【成果】 × 【課題】 講座の開催には取り組めていない。	よりアクセスしやすいよう、ティーンズコーナーページ内にリンク集を作成する。	ウェブ・サイト「ティーンズコーナー」のTOPに4つのコンテンツと3つのリンクを追加し、ティーンズ・サービス情報へのアクセシビリティの向上を図った。	【成果】 × 【課題】 講座の開催には取り組めていない。	ティーンズ向けイベントや図書館見学等と抱き合わせた、図書館活用講座の実施を検討する。 ウェブ・サイトを活用し、来館を伴わない情報提供の方法を検討する。
	PR誌の発行	図書館利用者から編集委員を公募するなど工夫して、読書や図書館利用が習慣になるような楽しい内容のPR誌を発行し、市町村立図書館や学校等に配布します。	ティーンズ通信 2 回発行 読者投稿 2 件 【取組】ティーンズ通信を定期的に作成・発行している。 中高生の職場体験学習時や専門学校生等の職場実習時において、ティーンズコーナーの紹介を積極的に行い、おすすめ本のPOP作成やティーンズ通信への記事投稿をしてもらっている。	【成果】 ○ 新型コロナウィルス感染拡大に伴い、学校が休校になったことから今年度はまだ2回しか発行していないが、定期的に発行ができている。 【課題】 今年度は、イラストの投稿が0件、「オーテピアティーンズ部」部員の投稿10件のうち6件は同じ部員からであり、部員の増加と活動の促進を図るような取り組みが必要。	「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。	ティーンズ通信 3 回発行 読者投稿 2 件 【取組】ティーンズ通信を定期的に作成・発行している。 中高生の職場体験学習時や専門学校生等の職場実習時にティーンズコーナーの紹介を積極的に行い、おすすめ本のPOP作成やティーンズ通信への記事作成に協力してもらっている。	【成果】 ○ 新型コロナウィルス感染拡大に伴い学校が休校になったため、今年度は3回の発行となった。(通常は年4回発行) 今年度は「オーテピアティーンズ部」部員からイラストの投稿が5点、本の紹介については15件の投稿があった。 【課題】 本の紹介については積極的に投稿してくれていた部員が今年度末で卒業を迎えるため、今後も部員の増加と活動の促進を図るような取り組みが必要。	「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 【課題】	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)			令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
PR	ブログ、SNSの活用	PR誌とあわせ、SNSの特徴をいかしたPRを行います。図書館利用者から委員を公募したり、協力者を募るなど、工夫しながら行います。	ブログ	2	回掲載	【成果】 ○ オーテピアティーンズ部では、図書館からの情報発信にティーンズ世代が参加することで、同世代からの共感や本への興味・関心が高まることが期待できる。メンバーから投稿された本の紹介を都度Facebookで発信した。(10件) 新型コロナウィルス感染拡大に伴う休館中も、自宅で有効に活用できるような情報の発信(学生応援リンク集、青空文庫、レファレンス共同データベース、ボードゲームアリーナ(BGA))を積極的に行った。	「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。	ブログ	2	回掲載	【成果】 ○ オーテピアティーンズ部では、図書館からの情報発信にティーンズ世代が参加することで、同世代からの共感や本への興味・関心が高まることが期待できる。メンバーから投稿された本の紹介を都度Facebookで発信した。(15件) 新型コロナウィルス感染拡大に伴う休館中も、自宅で有効に活用できるような情報の発信(学生応援リンク集、青空文庫、レファレンス共同データベース、ボードゲームアリーナ(BGA))を積極的に行った。 「オーテピアティーンズ部」部員については、今年度末で8名が卒業し、次年度は10名からスタートとなる。 新規部員の獲得のため積極的な広報を行い、活動内容を充実させる必要がある。 部員の増加や、積極的な投稿を促すようような取り組みが必要。	「オーテピアティーンズ部」への参加促進と、かつ継続的な本の紹介、イラストの投稿をしてもらうように広報活動を展開していく。
			Facebook	26	回掲載			Facebook	37	回掲載		
			【取組】SNSを利用してティーンズ世代が参加できる「オーテピアティーンズ部」を発足した。 展示情報やティーンズ通信発行のお知らせ、ブックリスト紹介など様々な情報を発信した。					【取組】 SNSを利用してティーンズ世代が参加できる「オーテピアティーンズ部」を発足した。 展示情報やティーンズ通信発行のお知らせ、ブックリスト紹介など様々な情報を発信した。				

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

	サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）		令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action）	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action）
				【成果】 【課題】	・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)		【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	
資料	外国語で書かれた各種資料の収集・提供	各種言語の図書やデジタル資料を収集し、提供します。	外国語(図書) ／ 冊 新規収集(受入れ済分) 日本語(デジタル) ／ 冊 新規収集 リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当者で情報共有し、収集した。 国際交流員からもリクエストを出してもらった。連携団体の方から問い合わせがあった資料について選書受け入れを行った。 OPAC等での検索の利便性を高めるため、外国語書誌の資料識別子や特定資料種別について検討した。	【成果】 リクエストや問合せに応じて収集している。 【課題】 ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがあるため、買い替え等の検討を行う必要がある。 ・県内在留外国人の母語資料(例:インドネシア等)について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため, 担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。	・計画的に順次購入する。 ・国際交流協会と連携し、ニーズをつかむ方法を模索する。	【取組】 リクエストだけでなく、問い合わせのあった外国語資料についても、担当者で情報共有し、収集した。 国際交流員からもリクエストを出してもらった。連携団体の方から問い合わせがあった資料について選書受け入れを行った。 OPAC等での検索の利便性を高めるため、外国語書誌の資料識別子や特定資料種別について検討した。	【成果】 ○ リクエストや問合せに応じて収集し, ニーズに沿った資料の提供を行えた。県内在住の外国人に, 母国語での資料提供を行い好評を得た。 【課題】 ・各団体のペーパーレス化に伴い、受入が中断している逐次刊行物がある。 ・各国語の参考書で古くなっているものがあるため、買い替え等の検討を行う必要がある。 ・県内在留外国人の母語資料(例:インドネシア等)について十分でないものがある。 ・多文化サービス専用窓口がないため, 担当が利用者の需要をつかみにくい。 ・外国語書は購入ルートが限られており、提供までに時間がかかる。	・計画的に順次購入する。 ・国際交流協会と連携し、ニーズをつかむ方法を模索する。
		各種の言語の雑誌や新聞を収集し、提供します。	雑誌(外国語) 27 タイトル(寄贈除く) 新聞(外国語) 13	【成果】 主要な外国語雑誌は収集・選書できている。 【課題】 利用が少ないものがあるため、さらなる周知が必要。	・展示等でアピールする。	雑誌(外国語) 27 タイトル(寄贈除く) 新聞(外国語) 13	【成果】 ○ 主要な外国語雑誌は収集・選書し, 速報性の高い情報提供が行えた。 【課題】 利用が少ないものがあるため、さらなる周知が必要。	・展示等でアピールする。
		地域の生活情報(防災等を含む)を中心に、外国語で書かれたﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ等を収集し、提供します。	言語 最大5 種 パンフレット等 ／ 部 追加が必要なものについては各機関へ追加依頼を行うとともに、当館での印刷で対応できるもの/対応してほしいと発行機関からいわれたものについては、当館で印刷/配布している。展示期間中はwebでのアクセスについても紹介した。 県内観光パンフレットなどの収集を行った。 韓国語雑誌の休刊に伴い、新規に受け入れる韓国語雑誌を選書した。 多文化雑誌の保存年限を決定した。	【成果】 収集・提供できている。 【課題】 ・発行されている言語、県内在住者に多い言語をすべて紹介しようとすると設置場所が不足する。	・すべての発行物を配置しなくても、QRコードを活用するなど、必要な情報にたどり着く工夫をする。	言語 最大5 種 パンフレット等 ／ 部 追加が必要なものについては各機関へ追加依頼を行うとともに、当館での印刷で対応できるもの/対応してほしいと発行機関からいわれたものについては、当館で印刷/配布している。展示期間中はwebでのアクセスについても紹介した。 県内観光パンフレットなどの収集を行った。 韓国語雑誌の休刊に伴い、新規に受け入れる韓国語雑誌を選書した。 多文化雑誌の保存年限を決定した。	【成果】 ○ 収集・提供し, 防災情報等の生活に必要な情報の発信を行った。 【課題】 ・発行されている言語、県内在住者に多い言語をすべて紹介しようとすると設置場所が不足する。	・すべての発行物を配置しなくても、QRコードを活用するなど、必要な情報にたどり着く工夫をする。
	日本語習得のための資料の収集・提供	日本語を学ぶ人や教える人に役立つ資料や、読みやすく理解しやすい日本語の資料を収集し、提供します。	ブックリスト 2 種類追加 ブックリスト「にほんごをべんきょうするための本」「外国語として日本語を教える人のための本」を作成。電子図書館でも日本語学習者向けの資料を選定した。やさしい日本語館内ツアーやイベント等で日本語学習資料とともにブックリスト等を紹介した。	【成果】 やさしい日本語館内ツアーの中で日本語学習資料についてPRした。 【課題】 ・資料があることの認知度が低い。	・在留外国人への支援を行っている人や日本語学習者向けの図書館ツアーなどを実施し、PRする。	ブックリスト 4 種類追加 ブックリスト「にほんごをべんきょうするための本」「外国語として日本語を教える人のための本」「多読で英語を学ぶ」「English Books(英語の本のブックリスト)」を作成。電子図書館でも日本語学習者向けの資料を選定した。やさしい日本語館内ツアーやイベント等で日本語学習資料とともにブックリスト等を紹介した。	【成果】 ○ やさしい日本語館内ツアーの中で日本語学習資料についてPRし、利用登録や貸出、サービスの認知など利用促進に繋がった。 【課題】 ・資料があることの認知度が低い。	・在留外国人への支援を行っている人や日本語学習者向けの図書館ツアーなどを実施し、PRする。 ・日本語学習者, 指導者, また外国語を学習する全ての人にとって分かりやすい配架になるよう, コーナー内の配架場所の変更・追加を検討中
	多文化を知り理解を深めるための資料の収集・提供	日本や外国の文化に関する資料を収集し、提供します。		【成果】 収集・提供できている。 【課題】 ・多文化理解のための資料はことばと国際交流のコーナーには配架されていないので、需要がつかみにくい。	・需要を探る方法を検討する。	【取組】 ・国際交流コーナー内で, 多文化理解を深めるための常設展示を行った。	【成果】 ○ 収集・提供し, 多文化理解の促進に努めた。 【課題】 ・多文化理解のための資料はことばと国際交流のコーナーには配架されていないので、需要がつかみにくい。	・需要を探る方法を検討する。
	多文化コーナーの設置・提供	多文化コーナーを設置し、収集した資料を提供します。	図書(日本語) ／ 冊 雑誌(日本語) 22 タイトル(寄贈除く) 点字/手話(図書・雑誌・児童・約300冊)のNDC分類を10版(8類言語)へ移行した。 点字/手話や外国語資料の増加に伴い多文化コーナーのゆり動かしを行った。	【成果】 継続した資料収集・提供ができている。 【課題】 昭和25～45年に旧県立図書館にあった高知日米センターの未分類資料(828冊)が登録できていない。	・情報資料担当と協力し、計画的に登録する。	図書(日本語) ／ 冊 雑誌(日本語) 22 タイトル(寄贈除く) 点字/手話(図書・雑誌・児童・約300冊)のNDC分類を10版(8類言語)へ移行した。 点字/手話や外国語資料の増加に伴い多文化コーナーのゆり動かしを行った。	【成果】 ○ 継続した資料収集・提供ができている。 【課題】 昭和25～45年に旧県立図書館にあった高知日米センターの未分類資料(828冊)が登録できていない。	・情報資料担当と協力し、計画的に登録する。
展示	さまざまな企画展示	外国の文化を知るきっかけとなったり、県内に住む外国人の生活に役立つ展示を行います。 姉妹都市・友好都市等、高知県や高知市と交流のある都市や地域等の企画展示を行います。	常設姉妹都市展示を更新。姉妹都市展示の棚で国際交流員さんのおすすめ本紹介を開始(毎月更新) 常設:高知を旅する。Kochi Travel Guide 6/19-7/12:一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展(ビジネス・健康・多文化合同) 6/25-7/22:JICA事業紹介写真展～高知発信・JICAボランティアの活動紹介～ 8/9-8/30:ことば学び、世界をひろげる。日本でのくらしに困ったら編／あなたのすぐそばに、多文化。編 この他6/1/-30「県立大学コラボ展示」(主担当高知資料)に多読資料手配。 9/1/-9/29四国のスポーツ隊員紹介パネル展～オリパラ応援～ 10/1-10/18国際ふれあい広場2020関連展示 10/19-10/31田内千鶴子さん関連展示 11/20-11/29チェコオリパラ展示	【成果】 多文化理解に役立つ展示活動を行った。 【課題】 引き続き多文化理解に役立つ展示を行う。	引き続き多文化理解に役立つ展示を行う。	【取組】 常設姉妹都市展示を更新。姉妹都市展示の棚で国際交流員さんのおすすめ本紹介を開始(毎月更新) 常設:高知を旅する。Kochi Travel Guide 6/19-7/12:一度は読んでほしい貸出少ない雑誌展(ビジネス・健康・多文化合同) 6/25-7/22:JICA事業紹介写真展～高知発信・JICAボランティアの活動紹介～ 8/9-8/30:ことば学び、世界をひろげる。日本でのくらしに困ったら編／あなたのすぐそばに、多文化。編 この他6/1/-30「県立大学コラボ展示」(主担当高知資料)に多読資料手配。 9/1/-9/29四国のスポーツ隊員紹介パネル展～オリパラ応援～ 10/1-10/18国際ふれあい広場2020関連展示 10/19-10/31田内千鶴子さん関連展示 11/20-11/29チェコオリパラ展示 3/4-3/31JICA事業紹介パネル展	【成果】 ○ 利用者が国際交流に関心を持つきっかけとなる展示活動を行い、好評を得た。	引き続き多文化理解に役立つ展示を行う。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度				令和2年度				令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日			令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 【課題】	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 冒頭に達成状況を〇△×で 【課題】		今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
利用ガイド	外国語で書かれた利用案内の提供	英語、中国語、ハングルの図書館の利用案内を作成し、提供するとともに、ホームページに掲載します。	サービスチラシ 計5 種 ブックリスト 計10 種 パスファインダー 計3 種 ブックリスト「留学生在留者を支援する人のための本」「日本語を教える人のための本」「にほんごをべんきょうするための本」「多読で英語を学ぶ」「English books（英語の本のブックリスト）」作成。パスファインダー「日本でのくらしに困ったら」を作成。ほかに別担当との連携でブックリスト「外国から来た人と一緒に働く」作成、。 「やさしい日本語」で書かれた利用案内に関する補足リーフレットを作成した。		【成果】 「やさしい日本語」で書かれた利用案内に関する補足リーフレットを、日本語学習中の外国人を対象とした館内ツアーで活用した。新たにブックリストを作成した。 【課題】 ・チラシやブックリスト、パスファインダーも「やさしい日本語」版が必要。	やさしい日本語という視点で、児童やバリアフリーなど他サービスと重複する部分の調整をする。	サービスチラシ 計5 種 ブックリスト 計10 種 パスファインダー 計3 種 ブックリスト「留学生在留者を支援する人のための本」「日本語を教える人のための本」「にほんごをべんきょうするための本」「多読で英語を学ぶ」「English books（英語の本のブックリスト）」作成。パスファインダー「日本でのくらしに困ったら」を作成。ほかに別担当との連携でブックリスト「外国から来た人と一緒に働く」作成。 「やさしい日本語」で書かれた利用案内に関する補足リーフレットを作成した。		【成果】 〇 「やさしい日本語」で書かれた利用案内に関する補足リーフレットを、日本語学習中の外国人を対象とした館内ツアーで活用し、ツアー後の利用に繋がった。 【課題】 ・チラシやブックリスト、パスファインダーも「やさしい日本語」版が必要。	やさしい日本語という視点で、児童やバリアフリーなど他サービスと重複する部分の調整をする。
普及活動	各種催しなどの開催	外国語絵本の読み聞かせやおはなし会、外国の文化についての講演会等、地域で生活する外国の方との交流を図るための催しなどを開催します。	開催日：①4/5,7/5,8/2,9/6,11/1,12/6 ②7/19,8/16,9/20,10/18,11/15,12/20 ③7/29,10/18、10/27 講座名：①外国語のおはなし会 ②English Nook ③多文化館内ツアー 参加者数(人)：①計154 ②計231 ③40 5/17,6/7:外国語のおはなし会(代わりに動画を作成) 7/11:JICA,KIA主催ベント 9/12:JICA主催イベント 【以上、新型コロナウイルスの影響で中止】 10/3高知SGG善意通訳クラブ見学(当日対応は館内ツアー担当) →多文化サービスの紹介(発行物の送付依頼、パスファインダーの紹介、原稿作成等) 10/18国際ふれあい広場(会場オーテピア) →やさしい日本語の図書館ツアー参加者7名 10/27龍馬学園日本語学科 →やさしい日本語の図書館ツアー参加者24名 日本語学習者向け館内ツアーでは「やさしい日本語」の利用案内を作成。			【成果】 ・主催のおはなし会では動画配信を行い、非来館でも楽しめる新たなサービスを実施した。やさしい日本語の館内ツアーなどのイベントを行った。 【課題】 ・共催事業の定義を明確にできていないため、数年先の貸し施設の確保の基準があいまいであったり、貸し施設を早くおさえるための共催打診がある。 ・新型コロナウィルスの影響でイベントが制限されている	・新型コロナウィルスの感染状況をみながら、非来館型サービスを検討しておく。	開催日：①4/5,7/5,8/2,9/6,11/1,12/6,1/17, 2/7, 3/21 ②7/19,8/16,9/20,10/18,11/15,12/20, 2/21, 3/28 ③7/29,10/18, 10/27 講座名：①外国語のおはなし会 ②English Nook ③多文化館内ツアー 参加者数(人)：①計205 ②計300 ③40 5/17,6/7:外国語のおはなし会(代わりに動画を作成) 7/11:JICA,KIA主催ベント 9/12:JICA主催イベント 【以上、新型コロナウイルスの影響で中止】 10/3高知SGG善意通訳クラブ見学(当日対応は館内ツアー担当) →多文化サービスの紹介を行い、連携・協力体制の確認を行った 10/18国際ふれあい広場(会場オーテピア) →やさしい日本語の図書館ツアー参加者7名 10/27龍馬学園日本語学科見学 →やさしい日本語の図書館ツアー参加者24名 日本語学習者向け館内ツアーでは「やさしい日本語」の利用案内を作成。		【成果】 〇 ・主催のおはなし会では動画配信を行い、非来館でも楽しめる新たなサービスを実施し、多文化理解の促進に繋がった。 ・やさしい日本語の館内ツアーなどのイベントを行い、在住外国人の利用促進に繋がった。 【課題】 ・共催事業の定義を明確にできていないため、数年先の貸し施設の確保の基準があいまいであったり、貸し施設を早くおさえるための共催打診等、申込時の混乱があり、全館的に調整する必要がある ・新型コロナウィルスの影響でイベントが制限されている	・新型コロナウィルスの感染状況をみながら、非来館型サービスを検討しておく。
連携	他機関等との連携	高知県国際交流協会や県内の国際交流員等と連携し、高知在住の外国人が必要としている情報の把握に努め、資料収集に反映します。	連携先 6 団体 ・高知県国際交流協会発行多言語生活情報誌「TOSA WAVE」へ電子図書館の紹介記事(外国語資料のリクエストについて)を掲載(執筆は高知県国際交流課国際交流員) ・高知県国際交流協会の日本語学習者向け館内ツアーを実施した。 ・JICA四国と連携した期間展示を行った ・国際交流課と連携して姉妹都市展示を改訂した 12/8JETプログラム中間研修 →図書館の利用案内、パファインダー等を配布 12/18国立国会図書館外国語情報の探し方研修 →講師と多文化担当の情報交換会を行った ※連携団体 高知市総務課、高知県国際交流課、高知県国際交流協会、高知SGG善意通訳クラブ、龍馬学園日本語学科、KochiEducationLab.		【成果】 高知県国際交流協会の日本語教室と連携して、日本語学習中の外国人を対象とした館内ツアーを開催し、図書館利用につながり、好評だった。県国際交流課によるJETプログラム中間研修にて図書館案内等を配布した。 【課題】 既存の他機関との連携定例行事が多く、新規の連携が入る余裕がない。	・現在の共催事業について、見直しをする。 ・ボランティアの活用について検討する。	連携先 6 団体 ・高知県国際交流協会発行多言語生活情報誌「TOSA WAVE」へ電子図書館の紹介記事(外国語資料のリクエストについて)を掲載(執筆は高知県国際交流課国際交流員) ・高知県国際交流協会の日本語学習者向け館内ツアーを実施した ・JICA四国と連携した期間展示を行った ・国際交流課と連携して姉妹都市展示をリニューアルした ・JETプログラム中間研修で、図書館の利用案内、パスファインダー等を配布した ・国立国会図書館外国語情報の探し方研修で、講師と多文化担当の情報交換会を行った ※連携団体 高知市総務課、高知県国際交流課、高知県国際交流協会、高知SGG善意通訳クラブ、龍馬学園日本語学科、GlovalEducationLab高知		【成果】 〇 高知県国際交流協会の日本語教室と連携して、日本語学習中の外国人を対象とした館内ツアーを開催し、図書館利用につながり、好評だった。県国際交流課によるJETプログラム中間研修にて図書館案内等を配布した。 【課題】 既存の他機関との連携定例行事が多く、新規の連携が入る余裕がない。	・現在の共催事業について、見直しをする。 ・ボランティアの活用について検討する。 ・館内の日本語表示について，日本語学習者含めた全ての人に分かりやすい文言に見直す
職員研修等	英会話のできる職員の育成とボランティアの活用	図書館の利用について、英語で案内や説明ができるよう、英会話の勉強会を開催するなど、職員の資質向上に努めます。あわせて、外国語で案内等ができるボランティアの活用を図ります。	勉強会 0 回		【成果】 【課題】 職員研修を行えていない。	英語・中国語・韓国語については高知県通訳コールセンターを利用することができるため、職員が外国語を学ぶための勉強会は実施しない。 外国語を一から学ぶ機会を設けるよりは、「やさしい日本語」研修や多文化への理解を深めるための職員研修に重点を置く。	勉強会 1 回		【成果】 △ KIA主催の研修「使ってみよう！『やさしい日本語』」セミナーに参加し、館内掲示等の見直しに繋がった。 【課題】 オーテピア全体を対象とした研修が行えていない。	英語・中国語・韓国語については高知県通訳コールセンターを利用することができるため、職員が外国語を学ぶための勉強会は実施しない。 外国語を一から学ぶ機会を設けるよりは、「やさしい日本語」研修や多文化への理解を深めるための職員研修に重点を置く。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

	サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）		令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】（Do） R2.4～R2.12の実績（数値は12月31日時点）	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】（Check	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】（Do） R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】（Check	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）
				【成果】			【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	
				【課題】			【課題】	
資料	大活字本・LLブックの収集・提供	積極的に収集し、提供します。	・大活字本、LLブックは引き続き全点を購入している。 ・大活字本、LLブックなどについて館内2階総合カウンター前で展示を行った（12月1日～27日）。 大活字本貸出実績 5,478 点	【成果】 ○ 大活字本のオーテピア開館前の平成29（2017）年の年間貸出点数は3,426点（県市合計）と比べると大幅に増えており、よく利用されている。 【課題】 LLブックについては、まだ認知度が低い。	・出前図書館の際に展示や貸出しをする、ブックリストを充実させてウェブ・サイトで紹介するなど、大活字本やLLブックの周知につとめる。	・大活字本、LLブックは引き続き全点を購入している。 ・大活字本、LLブックなどについて館内2階総合カウンター前で展示を行った（12月1日～27日）。 ・SNSや県市行政掲示板で大活字本（2月10日）、LLブック（3月20日）について広報を行った。 ・特別支援学校を訪問し、大活字本・LLブック等資料についてPRを行った。 大活字本貸出実績 7,085 点	【成果】 ○ ・大活字本の年間貸出点数はオーテピア開館前の平成29（2017）年の3,426点（県市合計）と比べると大幅に増えており、よく利用されている。 【課題】 LLブックについては、まだ認知度が低い。	・出前図書館の際に展示や貸出しをする、ブックリストを充実させてウェブ・サイトで紹介するなど、大活字本やLLブックの周知につとめる。
	録音図書の提供（デイジー等）	高知声と点字の図書館やサピエ図書館が提供する利用制限付き録音図書を、図書館の窓口においても対象者に利用登録、貸出しできるようにします。 録音図書の周知のため、関連団体へのサンプルの貸出しについても検討します。	・デイジー図書については、バリアフリーサービスの役割分担の中で高知声と点字の図書館が役割を担っているが、連携・協力して利用者への提供・周知を実施している。 ・高知声と点字の図書館と連携し、デイジー図書や大活字本、布絵本などをセットにしたサンプル『さくらバリアフリー文庫』（大活字本、LLブック、録音図書などをセットにしたもの。読書が困難な方でも読書を楽しめるさまざまな資料があることを知ってもらうことを目的に、市町村図書館等でコーナー展示してもらう。）を作成し、市町村図書館等へ貸出している。 ・さくらバリアフリー文庫貸出し時に録音図書等の説明に赴くとともに、近隣図書館へも訪問してPRした。 ・平成30年3月のプレ開始から令和2年12月末までに、県内公共図書館（分館除く）27館中、15館にさくらバリアフリー文庫の貸出しを実施し、広くPRしている。 さくらB文庫 利用団体数 6 さくらB文庫 貸出実績 8 回	【成果】 ○ ・貸出先の市町村の職員やその地域の利用者から、バリアフリー資料の貸出し希望があり、好評だった。 ・近隣図書館に訪問してPRしたさくらバリアフリー文庫は、その場で貸出希望があり、市町村の職員および利用者への周知の機会を作ることができた。 ・貸出先の市町村立図書館では、小学校の授業での活用のため学校へのアピールに使用するなど活用していただいている。資料の貸出希望もあり、協力貸出にもつながった。 対象となる当事者に必要な情報が届いているか不明。 【課題】 必要な人に情報が届くような仕組み作りが必要。	・さくらバリアフリー文庫貸出し館を中心に、その市町村内の学校や福祉課などに対してオーテピアのバリアフリーサービスについて説明会を行わないかとの声掛けを行い、希望があれば説明会を実施する。 ・録音図書を利用者に提供する方法の説明等も、引き続き高知声と点字の図書館と連携・協力して行っていく。	・デイジー図書については、バリアフリーサービスの役割分担の中で高知声と点字の図書館が役割を担っているが、連携・協力して利用者への提供・周知を実施している。 ・高知声と点字の図書館と連携し、『さくらバリアフリー文庫』（大活字本、LLブック、録音図書などをセットにしたもの。読書が困難な方でも読書を楽しめるさまざまな資料があることを知ってもらうことを目的に、市町村図書館等でコーナー展示してもらう。）を作成し、市町村図書館等へ貸出している。 ・さくらバリアフリー文庫貸出し時に録音図書等の説明に赴くとともに、近隣図書館へも訪問してPRした。 ・平成30年3月のプレ開始から令和3年3月末までに、県内公共図書館（分館除く）27館中、15館にさくらバリアフリー文庫の貸出しを実施し、広くPRしている。 さくらB文庫 利用団体数 9 さくらB文庫 貸出実績 12 回	【成果】 ○ ・貸出先の市町村の職員やその地域の利用者から、バリアフリー資料の貸出し希望があり、好評だった。 ・近隣図書館に訪問してPRしたさくらバリアフリー文庫は、その場で貸出希望があり、市町村の職員および利用者への周知の機会を作ることができた。 ・貸出先の市町村立図書館では、小学校の授業での活用のため学校へのアピールに使用された。資料の貸出希望もあり、協力貸出にもつながった。 対象となる当事者に必要な情報が届いているか不明。 【課題】 必要な人に情報が届くような仕組み作りが必要。	・さくらバリアフリー文庫貸出し館を中心に、その市町村内の学校や福祉課などに対してオーテピアのバリアフリーサービスについて説明会の勧誘を実施する。 ・録音図書を利用者に提供する方法の説明等も、引き続き高知声と点字の図書館と連携・協力して行っていく。
	朗読CD、カセットブック、音声ガイド・字幕付きDVDの収集・提供	積極的に収集し、提供します。	購入点数 朗読CD 39 点 カセットブック 0 点 音声ガイド・字幕付きDVD 17 点 ・11月開催のバリアフリー映画会でバリアフリー仕様DVDの展示を行った。 ・令和元年度12月から引き続き、人気の高い映画のバリアフリー仕様DVDの購入を行っている。	【成果】 ○ ・視覚障害者等へのDVDの貸出しは、2018年は0点だったが、今年度は12月末までで39点の利用があった。 【課題】 ・バリアフリー仕様DVDを必要としている人（視覚障害者・聴覚障害者）へのPRが不充分。 ・ウェブ・サイトでのリストの更新ができていない。	・音声ガイド・字幕付きDVDのブックリストを定期的に更新し、ウェブ・サイトで公開するとともに当事者につながる聴覚障害者協会などに提供をする。 ・バリアフリー映画会でPRするほか効果的なPR方法を検討する。	購入点数 朗読CD 63 点 カセットブック 0 点 音声ガイド・字幕付きDVD 31 点 ・朗読CD、音声ガイド・字幕付きDVDのリストを更新し、ウェブ・サイトで公開した。 ・SNSや県市行政掲示板でバリアフリーDVDの紹介記事を投稿。	【成果】 ○ ・視覚障害者等へのDVDの貸出しは、2018年は0点だったが、令和2年度は43点の利用があった。 【課題】 バリアフリー仕様DVDを必要としている人（視覚障害者・聴覚障害者等）へのPRが不充分。	・音声ガイド・字幕付きDVDのブックリストを定期的に更新し、ウェブ・サイトで公開するとともに当事者につながる各障害者団体などに提供をする。 ・バリアフリー映画会でPRするほか効果的なPR方法を検討する。
	さわる絵本、手話付き絵本、布絵本の収集・提供	さわる絵本、手話付き絵本、布絵本の収集・提供積極的に収集し、提供します。 就学前の対象者と接する機会の多い保健師や、盲学校等の教育機関と連携し、提供します。	布絵本受入点数 6 点 さわる絵本（布絵本含）貸出点数 303 点 ・積極的に収集している。 ・布絵本キットを購入し、作成を県立春野高等学校に依頼している。 ・8月1日（土）から開始した布絵本の常設展示は、ほかの行事のため9月30日（水）に一時中断。 ・12月1日（火）から 令和3年1月14日（木）までの予定で「県立春野高等学校で布絵本作成中～作成中の写真と布絵本の展示～」を展示している。 ・布絵本作成中の情報や展示について、ブログやFacebook、Twitterでお知らせした。 ・「さくらバリアフリー文庫」でPRしている。 ・盲学校へは、さわる絵本に限らず資料の提供を行っている。資料の相談には随時応じている。	【成果】 ○ 2Fゲート入口すぐの場所に常設展示をすることにより、貸出点数が増加した。 さわる絵本の貸出点数： 8月から12月の月平均 43点。 4月から7月の月平均 22点。 【課題】 保健師との連携が進んでいない。	・県立春野高等学校で作成した布絵本等をブログなどで公開し、障害のある人にもない人にも布絵本を知ってもらうきっかけとする。 ・高知声と点字の図書館が主体となり、各市町村のさくらバリアフリー文庫の貸出し館を中心に、福祉課の担当などに対してバリアフリー図書等について説明会を行い、保健師との連携を進める。	布絵本受入点数 23 点 さわる絵本（布絵本含）貸出点数 435 点 【取組】 ・積極的に収集している。 ・布絵本キットを購入し、作成を県立春野高等学校に依頼している。 ・8月1日（土）から布絵本の常設展示を開始（9月30日（水）に一時中断）。 ・「県立春野高等学校で布絵本作成中～作成中の写真と布絵本の展示～」の展示を行った（期間：12月1日（火）～令和3年1月14日（木））。 ・布絵本作成中の情報や展示について、SNSに記事を投稿した。 ・「さくらバリアフリー文庫」でPRしている。 ・盲学校へは、資料の相談には随時応じさわる絵本に限らず資料の提供を実施。 ・特別支援学校を訪問し、大活字本・LLブック等資料についてPRを行った。	【成果】 ○ 2Fゲート入口すぐの場所に常設展示をすることにより、貸出点数が増加した。 さわる絵本の貸出点数： 4月から7月の月平均 22点。 8月から3月の月平均 43点。 【課題】 保健師との連携が進んでいない。	・高校生が作成した布絵本等を展示することで、布絵本の周知を図る。 ・高知声と点字の図書館が主体となり、各市町村のさくらバリアフリー文庫の貸出し館を中心に、福祉課の担当などに対してバリアフリー図書等について説明会を行い、保健師との連携を進める。
	マンガによる解説書等の収集・提供	文字情報が苦手な方にとって、マンガは重要な情報源になるという認識に立って、マンガで情報を伝えられる資料を収集し、提供します。	収集・提供している。	【成果】 △ 収集の収集・提供を実施しているが、計画的ではない。 【課題】 計画的に収集できていない。	・聴覚障害者協会や療育センターなど関係機関からニーズ等を聞き、収集・提供を行う。 ・資料選択委員に、バリアフリー資料としてのマンガ収集について理解と協力を呼びかけ、収集計画に取り組んでもらう。	収集・提供している。	【成果】 △ 収集の収集・提供を実施しているが、計画的ではない。 【課題】 計画的に収集できていない。	・聴覚障害者協会や療育センターなど関係機関からニーズ等を聞き、収集・提供を行う。 ・資料選択委員に、バリアフリー資料としてのマンガ収集について理解と協力を呼びかけ、収集計画に取り組んでもらう。

	サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）		令和2年度				令和2年度				令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日			令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check 【成果】 【課題】	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】		今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
	電子書籍の導入	電子書籍は、来館が困難な方や文字情報が苦手な方の利便性が向上するため、メリットやデメリットを見極めながら導入します。	(タイトル数等　資料1-①に掲載)		【成果】 ○ (資料1-①に記載) 【課題】 機器の取り扱いが苦手な当事者が多い。	視覚障害者等を対象に高知声と点字の図書館で「電子書籍体験講座」(個別対応)を開催しているため、出前図書館や施設訪問・見学対応等の機会を活用し、広報等連携・協力する。	(タイトル数等　資料1-①に掲載)		【成果】 ○ (資料1-①に記載) 【課題】 機器の取り扱いが苦手な当事者が多い。		視覚障害者等を対象に高知声と点字の図書館で「電子書籍体験講座」(個別対応)を開催しているため、出前図書館や施設訪問・見学対応等の機会を活用し、広報等連携・協力する。
各サービス	来館が困難な方への宅配貸出サービスの実施	障害や病気によって図書館への来館が困難な方には、図書館の負担による宅配便で自宅等に資料を届けます。	実利用者数 9 人 利用件数 32 件 貸出冊数 116 冊 ・さんSUN高知7月号で広報を行った。 ・障害者手帳新規交付・更新時にバリアフリーサービスのチラシを配付を11月から開始。 ・アンケート実施時に各協力団体にバリアフリーサービスのチラシを送付した。		【成果】 ○ ・さんSUN高知7月号で広報を行ったことにより、希望者から問い合わせがあった。 ・アンケート実施時に団体に送付したサービスチラシを見た方からの申込みがあった。 【課題】 ・宅配サービスが必要な人に情報が届くよう、周知を強化する必要がある。	・障害者手帳新規交付・更新時のバリアフリーサービスのチラシを配付を継続して行う。 ・各団体に訪問の際、宅配サービスについてのPRを強化する。	実利用者数 9 人 利用件数 32 件 貸出冊数 116 冊 ・さんSUN高知7月号で広報を行った。 ・障害者手帳新規交付・更新時にバリアフリーサービスのチラシを配付を11月から開始。 ・アンケート実施時に各協力団体にバリアフリーサービスのチラシを送付した。		【成果】 ○ ・さんSUN高知7月号で広報を行ったことにより、希望者から問い合わせがあった。 ・アンケート実施時に団体に送付したサービスチラシを見た方からの申込みがあった。 【課題】 ・宅配サービスが必要な人に情報が届くよう、周知を強化する必要がある。	・障害者手帳新規交付・更新時のバリアフリーサービスのチラシを配付を継続して行う。 ・各団体に訪問の際、宅配サービスについてのPRを強化する。 ・過去に実績のあった利用者に、再度の利用を勧誘する。
	対面音訳サービスの実施	対面音訳室を3室整備し、複数のニーズに応えられるようにします。 参考図書やインターネットで調べることができるように必要な設備を用意します。	利用回数 463 回 うちボランティア利用 430 回 月平均利用 51 回 ボランティア登録者 98 人 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施出来ない期間や、週当たりや1日あたりのコマ数を縮小して実施した期間があった。 ・非来館型サービスであるリモート音訳について、携帯電話に加え、スカイプでの実施も開始した。リモート音訳では、ボランティアには来館いただくが、利用者は在宅で実施することが可能。当館の新聞や図書等資料を用いて音訳を実施している。 ・県内のステージが特別警戒(赤)になったため、利用者とボランティア同室での対面音訳を中止。双方向で会話が可能な音声装置をつなげる方法とスカイプを2室に設置する方法により、来館し、別室での対面音訳を可能にした。		【成果】 ○ ・リモート音訳を実施することにより、遠方の方に対しても音訳が可能になっている。携帯電話に加え、スカイプでの音訳を実施することで、耳が遠く電話での音訳サービスを受けることが難しい利用者にも対応が可能になった。 ・スカイプでの音訳サービスを始めたことで、恒常的にリモートを活用する人や、新規登録者が増加した。 ・来館しての対面音訳を希望する利用者がいるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の対面音訳室では充分な距離が確保できず、使用できない。 【課題】	・特別警戒のうちは、利用者とボランティア別室で、対面音訳サービスを実施する。 ・高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安のステージに応じて、感染対策を講じながら非来館を含めたサービスを提供する。	利用回数 672 回 うちボランティア利用 638 回 月平均利用 56 回 ボランティア登録者 96 人 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サービス中止期間や、コマ数を縮小して実施した期間があった。 ・非来館型サービスであるリモート音訳について、携帯電話に加え、スカイプでの実施も開始した。リモート音訳では、ボランティアには来館するが、利用者は在宅で利用が可能。 ・県内の「感染症対応の目安」におけるステージが特別計画(赤)になったため、利用者とボランティア同室での対面音訳を中止。双方向で会話が可能な音声装置をつなげる方法とスカイプを介する方法により、別室での対面音訳を可能にした。		【成果】 ○ ・リモート音訳を実施することにより、遠方や病気等で来館が困難な方に対しても音訳が可能になっている。携帯電話に加え、スカイプでの音訳を実施することで、聴覚障害等により、電話での音訳サービスを受けることが難しい利用者にも対応が可能になった。 ・スカイプでの音訳サービスを始めたことで、恒常的にリモートを活用する人や、新規登録者が増加した。 ・リモートや別室での音訳など、感染対策を講じたサービス提供を継続することで、利用者と音訳ボランティア双方が安心してサービスを利用できた。 【課題】 ・来館での対面音訳を希望する利用者がいるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の対面音訳室では充分な距離が確保できず、使用できない。	・当面は、利用者とボランティア別室で、対面音訳サービスを実施する。 ・高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安のステージに応じて、感染対策を講じながら非来館を含めた利用しやすいサービスを提供する。 ・対面音訳サービスチラシを活用するなどし、新規利用者獲得を図る。
	上映会・体験会の開催	字幕付き映画、手話付き映画、音声解説付き映画、マルチメディア・デイジー、音声付き電子書籍等の上映会・体験会を企画し、開催します。	開催日(予定)／内容／参加者数 11月29日／東野圭吾 ドラマシリーズ”笑”／51 ・11月29日(日)に実施した。 ・映画会の会場で、大活字本や布絵本などバリアフリー図書や、バリアフリー仕様のDVDの展示を行った。		【成果】 ○ ・満席となった。 ・バリアフリー映画の周知ができた。(アンケート結果:バリアフリー映画を知らない…60%) ・サービスの利用相談につながった。 【課題】 ・障害者を含めた、幅広い世代が参加しやすい作品選定。 ・定例の映画会は、午前と午後の2回実施しているが、民間から資料借受する場合、1回しか上映できない。	・高知声と点字の図書館と連携・協力し、実施する。今後回数を増やすことも検討する。 ・こども向けバリアフリー上映会の検討。 ・館内上映可能な資料の充実を図る。	開催日(予定)／内容／参加者数 11月29日／東野圭吾 ドラマシリーズ”笑”／51 ・11月29日(日)に実施した。 ・映画会の会場で、大活字本や布絵本などバリアフリー図書や、バリアフリー仕様のDVDの展示を行った。		【成果】 ○ ・満席となった。 ・バリアフリー映画の周知ができた。(アンケート結果:バリアフリー映画を知らない…60%) ・サービスの利用相談につながった。 【課題】 ・障害者を含めた、幅広い世代が参加しやすい作品選定。 ・定例の映画会は、午前と午後の2回実施しているが、民間から資料借受する場合、1回しか上映できない。	・高知声と点字の図書館と連携・協力し、実施する。定例の映画会でもバリアフリー対応の作品を上映するなど、回数を増やすことも検討する。 ・こども向けバリアフリー上映会の検討。 ・館内上映可能な資料の充実を図る。
	手話によるお話会の開催	児童等を対象にした手話によるおはなし会を企画し、開催します。	実施回数 1 回 参加者　延べ 9 名 ・8月30日(日)に手話で楽しむおはなし会を実施。 ・コロナ対策で人数制限等を行って実施した。 ＜今回＞ 組数:5組。前日までの申込制。 対象:聴覚障害のある方を含む3歳～小学生までの方とその保護者。 ＜従来＞ 組数:制限なし。申込不要。 対象:3歳～小学生までの方とその保護者、手話に興味のある方 ・おはなし会で読む絵本のポイントとなる単語を練習したのちに読み聞かせを行った。		【成果】 ○ 読み聞かせの前の練習で手話に親しみができ、参加者が手話を真似ながら楽しんでいた。言葉の遅れがあるこどもと手話でコミュニケーションを取ろうとしている親御さんからは、「すごく楽しかったので、次回も参加したい」との感想があった。 【課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、組数・対象を制限して行ったため、申込者が少なかった。	・次回は、令和3年1月31日(日)に実施予定。 ・対象を従来の「3歳～小学生までの方とその保護者、手話に興味のある方」に戻して事前申込み制で実施する。先着順ではあるが、聴覚障害者に申込期限を早めに設定し、できるだけ参加可能ができるようにする。 ・チラシの配布先を増やすなど、広報を強化する。	実施回数 2 回 参加者　延べ 22 名 ・8月30日(日)・1月31日(日)に手話で楽しむおはなし会を実施。 ・コロナ対策で人数制限等を行って実施した。 ＜今回＞ 組数:5組。前日までの申込制。 対象:3歳～小学生までの方とその保護者。(8月は聴覚障害のある方を対象) ＜従来＞ 組数:制限なし。申込不要。 対象:3歳～小学生までの方とその保護者、手話に興味のある方 ・おはなし会で読む絵本のポイントとなる単語を練習したのちに読み聞かせを行った。		【成果】 ○ 読み聞かせの前の練習で手話に親しみができ、参加者が手話を真似ながら楽しんでいた。保護者からも好評でリピーターもあった。 展示した手話関連本の貸出しがあった。 【課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限等と広報のバランス調整が必要。	・令和3年度は、8月29日(日)、1月23日(日)に実施予定。 ・人数制限を設ける場合は、障害者ができるだけ参加できるような広報・運営を実施する。 ・チラシの配布など、効果的な広報を実施する。
	団体貸出の実施	来館が困難な方が資料を利用できるように、病院・社会福祉施設等への資料の団体貸出を行います。	新規登録団体 3 団体 さくらバリアフリー文庫のPRをきっかけに、団体貸出しについてのPRも行っている。		【成果】 ○ 昨年度のさくらバリアフリー文庫PR時に利用登録につながった団体は、継続して利用がある。 【課題】 新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になり、PRをする機会が少なくなった。	・さくらバリアフリー文庫を図書館や団体に貸出すことで資料について周知をはかり、継続利用につなげる。 ・貸室やアウトリーチ担当と協力して、バリアフリーサービスに関係したイベントの情報を集め、その場で団体貸出しのPRも実施できないか働きかける。	新規登録団体 3 団体 さくらバリアフリー文庫のPRをきっかけに、団体貸出しについてのPRも行っている。		【成果】 ○ 昨年度のさくらバリアフリー文庫PR時に利用登録につながった団体は、継続して利用がある。 【課題】 新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になり、PRをする機会が少なくなった。	・さくらバリアフリー文庫を図書館や団体に貸出すことで資料について周知をはかり、継続利用につなげる。 ・貸室やアウトリーチ担当と協力して、バリアフリーサービスに関係したイベントの情報を集め、その場で団体貸出しのPRも実施できないか働きかける。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度				令和2年度				令和3年度
			令和2年4月1日～令和2年12月31日			令和2年度1月以降	令和2年4月1日～令和3年3月31日				令和3年度4月以降
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check 【成果】 【課題】	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)		【取組の成果と課題】(Check 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】		今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
ボランティア	高知声と点字の図書館と連携し、ボランティアなどの養成、スキルアップ講習会等を実施	新図書館の資料について、高知声と点字の図書館と連携し、リクエストに応じて点訳や音訳、「テキスト・データ」化等の変換ができるようボランティアや協力者の養成、スキルアップ講習会等を実施します。	講習会開催数 延べ	12 回	【成果】 養成講座実施中。12月31日現在全18回中11回終了。 【課題】 研修体系を見直す前の、短期間講座受講対象者にも同程度の知識が得られるよう、手当てが必要。	・令和3年3月にボランティアに対し、スキルアップ研修を実施予定。 ・研修の機会が少なかったボランティアにスキルアップの研修機会を提供する。	講習会開催数 延べ	20 回	【成果】 ○ ・読みの調べ方講座、スキルアップ研修ともにアンケート結果は、参加者全員が「たいへん良かった」または「良かった」と回答があり、好評だった。 【課題】 音訳ボランティア養成では、当館の対面音訳について詳しく説明する機会がないため、対面音訳ボランティアとして活動を希望する方には、対面音訳ボランティア活動について追加で研修が必要。	・音訳ボランティア養成講座受講生のうち、対面音訳ボランティアとして活動を希望する方に実践研修(視覚障害者(声と点字の図書館職員)の前で資料を読む)を実施し、対面音訳ボランティアとして登録を行う。 ・引き続き研修の機会が少なかったボランティアにスキルアップの研修機会を提供する。
			参加者数 延べ	137 人			参加者数 延べ	267 人			
			・音訳ボランティア養成講座を8月1日開始した。令和3年3月20日まで。全18回。 ・対面音訳ボランティアの技術向上を図るため研修体系を見直した。新規の対面音訳ボランティアは全18回の音訳ボランティア養成講座を受講した後、対面音訳見学の実習を終了した者を登録する。 ・対面音訳ボランティアと、高知声と点字の図書館で登録している製作ボランティアを対象とした、「読みの調べ方講座」を11月21日(土)に開催した。				・音訳ボランティア養成講座を開催した。(全18回:8月1日～令和3年3月20日) ・対面音訳ボランティアの技術向上を図るため研修体系を見直した。新規の対面音訳ボランティアは全18回の音訳ボランティア養成講座を受講した後、対面音訳見学の実習を終了した者を登録する。 ・対面音訳ボランティアと、高知声と点字の図書館で登録している製作ボランティアを対象とした、「読みの調べ方講座」を11月21日(土)に開催した。 ・令和3年度対面音訳ボランティアとして活動を予定している対面音訳ボランティアと音訳ボランティアを対象に、スキルアップ研修を3月14日(日)に実施した。			
		さわる絵本や布絵本等について、ボランティアによる作成を支援します。	・総合的な学習の時間の探究活動の中で布絵本の縫製も実施している県立春野高等学校に、布絵本キットを提供し、作成を依頼した。 ・布絵本作成中の写真をブログで公開、館内でも展示してFacebookやTwitterで紹介するなど、図書館と県立図書館が連携した取組を紹介した。		【成果】 県立春野高等学校で作成中。12点作成見込み。 【課題】	・県立春野高等学校から、依頼した布絵本のほかに、オリジナルの布絵本も寄贈いただく予定。ブログで公開するとともに、取材依頼をし、図書館と県立学校が連携した取組と布絵本の広報をする。	・授業で布絵本の縫製も実施している県立春野高等学校に、布絵本キットを提供した。 ・布絵本作成中の写真をブログで公開、館内でも展示してFacebookやTwitterで紹介するなど、図書館と県立図書館が連携した取組を紹介した。		【成果】 ○ ・県立春野高等学校から、作成キットを提供した12点とオリジナルの5点の計17点寄贈いただいた。 ・布絵本の贈呈式は、高知新聞・読売新聞から取材があり、図書館と県立学校が連携した取組が掲載された。 【課題】 オリジナルの布絵本を中心に作成したいと学校側から話があり、材料提供や作成にかかる支援方法の検討が必要。	・オリジナルの作成を依頼するにあたり、布の提供やアイデアとして本の提供など支援方法を検討する。
PR	わかりやすいパンフレットの作成	障害者サービスを知っていただき、必要としている方に必要な情報をお届けするため、わかりやすく、使ってみたくなるきっかけづくりを大切にしたパンフレットなどを作成します。また、マンガ等の活用も検討します。	・6月に点字版・音声版の利用案内等を盲学校など関係機関への配布を開始した。 ・近畿視覚障害者情報サービス研究協議会作成のひな型を使用した誰にでもわかりやすいLL版利用案内を作成中。		【成果】 △ 関係機関に点訳版・音訳版の利用案内等の配布を行ったが、これといった反応がない。 【課題】 バリアフリーサービスが必要な人に情報が届くよう、周知を強化する必要がある。	・バリアフリーに関するイベントや出前図書館を活用して、当事者や当事者の家族、施設職員などに対し、サービスやサービス利用案内の媒体(点訳版・音訳版)についてPRを行う。 ・LL版利用案内を作成後、ウェブ・サイトへの掲載、また、各学校や図書館等に配布し、広報する。 ・1月に実施される(公財)高知県国際交流協会主催の『やさしい日本語』の研修を受講し、わかりやすいパンフレットに役立てる。	【取組】 ・6月に点字版・音声版の利用案内等を盲学校など関係機関への配布を開始した。 ・対面音訳サービスチラシを作成。 ・高知県国際交流協会主催『やさしい日本語』の研修を受講し、LL版利用案内作成に役立てた。 ・近畿視覚障害者情報サービス研究協議会作成のひな型を使用した誰にでもわかりやすいLL版利用案内を作成。		【成果】 △ 関係機関に点訳版・音訳版の利用案内等の配布を行ったが、これといった反応がない。 【課題】 ・バリアフリーサービスが必要な人に情報が届くよう、周知を強化する必要がある。 ・広報物の内容と対象者がマッチする効果的な周知が必要。	・LL版利用案内を特別支援学校などに配布する。 ・宅配貸出サービス等、サービス毎のわかりやすい案内を作成する。 ・多様な機会を捉え、効果的な広報を実施する。
	ホームページでの情報発信	当館のホームページで、音声・動画を活用し、音声・映像資料のサンプル提示等により、情報発信します。	音声・動画	17 本	【成果】 ○ 来館せずに楽しめるコンテンツを提供することができた。 【課題】 字幕がついていないものがほとんどであり、バリアフリー対応ができていない。	・今後作成する動画には字幕を入れる。 ・『手話でおはなしを楽しむ動画』を作成後発信するなど、当事者がわかりやすい媒体での情報提供も行う。 ・手話による利用案内動画作成に取り組む。	音声・動画	23 本	【成果】 ○ 来館せずに利用できるコンテンツを提供することができた。 【課題】 字幕がついていないものがほとんどであり、バリアフリー対応ができていない。	・今後作成する動画には字幕を入れる。 ・『手話でおはなしを楽しむ動画』を作成後発信するなど、当事者がわかりやすい媒体での情報提供も行う。 ・手話による利用案内動画作成に取り組む。 ・定期的に情報発信し、バリアフリーサービスの周知を図る。
			・開館時に作成した4本(うち字幕付3本)に加え、新たに13本の動画を公開した。 ・職員の読み聞かせに手話と字幕をつけた、『手話でおはなしを楽しむ動画』を作成中。				・開館時に作成した4本(うち字幕付3本)に加え、新たに19本の動画を公開した。 ・職員の読み聞かせに手話と字幕をつけた、『手話でおはなしを楽しむ動画』を作成中。 ・行政庁内掲示板やSNSでバリアフリー資料やサービス紹介記事を掲載。			
アンケート	利用者アンケート調査の実施	図書館利用に障害のある利用者へのアンケート調査を3年に1回程度実施します。	アンケートを実施した。 ＜バリアフリーアンケートの対象＞ ・特別支援学校 ・視覚障害者団体 ・聴覚障害者団体 ・身体・肢体障害者団体・事業所・支援施設 ・知的障害・発達障害団体 ・難病等団体 ・高齢者介護事業所		【成果】 ○ 年度内にアンケートの集計結果が出る予定。 【課題】 ・当事者本人が自ら書くことが難しい場合、施設等担当者に当事者に対して聞き取りをしてもらうなど、施設の協力が必要。	・アンケート結果をもとに、これからのサービスのあり方について検討する。 ・実際の利用者の声をひろいあげられるよう、バリアフリー映画会などイベント時にアンケート調査を実施する。	アンケートを実施した。 ＜バリアフリーアンケートの対象＞ ・特別支援学校 ・視覚障害者団体 ・聴覚障害者団体 ・身体・肢体障害者団体・事業所・支援施設 ・知的障害・発達障害団体 ・難病等団体 ・高齢者介護事業所		【成果】 ○ 【課題】 ・当事者本人が自ら書くことが難しい場合、施設等担当者に当事者に対して聞き取りをしてもらうなど、施設の協力が必要。	・アンケート結果をもとに、これからのサービスのあり方について検討する。 ・バリアフリーサービスの認知度の低さが顕著であり、サービス周知を強化する。 ・実際の利用者の声をひろいあげられるよう、バリアフリー映画会などイベント時にアンケート調査を実施する。
職員研修	多様な障害特性の理解や接遇研修の実施	障害特性を理解し、適切な配慮のできる職員を養成します。 また、接遇研修を行うことで、圧迫感のない、やさしい窓口を目指します。	・6月19日のオーテピア全体会で『障害のある人への配慮について』研修を行い、現場での各障害者への対応を、DVD視聴などを通して学習した。 ・毎年年度当初に接遇研修を実施している。		【成果】 ○ ・毎年度受講することにより、障害に対する理解が深まっていく。 ・6月19日の研修では現場での筆談対応例などを動画で見ることができ、実際の窓口対応での参考になった。 【課題】	年度途中から採用の職員もやさしい対応ができるよう、日常的に研修の復習や障害特性等を話題にし、職員みんなが理解できるきっかけをつくる。	【取組】 ・6月19日のオーテピア全体会で『障害のある人への配慮について』研修を行い、現場での各障害者への対応を、DVD視聴などを通して学習した。 ・毎年年度当初に接遇研修を実施している。		【成果】 ○ ・毎年度受講することにより、障害に対する理解が深まっていく。 ・6月19日の研修では現場での筆談対応例などを動画で見ることができ、実際の窓口対応での参考になった。 【課題】	年度途中から採用の職員もやさしい対応ができるよう、日常的に研修の復習や障害特性等を話題にし、職員みんなが理解できるきっかけをつくる。
	筆談等の研修の実施	筆談、音訳や資料の変換を実施・コーディネートできる職員を養成します。	・筆談については、平成30年度に研修を実施、全窓口で対応できるようにしている。 ・音訳については、高知声と点字の図書館が音訳者の養成講座を実施し、コーディネートも行っている。		【成果】 ・筆談は随時実施している。 ・高知声と点字の図書館がコーディネートを行い、養成したボランティアは、音訳等資料の変換を実施しており、変換された音訳資料はサピエ図書館に登録し、全国的に利用されている。 【課題】	コーディネートは高知声と点字の図書館で行っており、引き続き研修の実施等、連携・協力して行う。	【取組】 ・筆談については、平成30年度に研修を実施、全窓口で対応できるようにしている。 ・音訳については、高知声と点字の図書館が音訳者の養成講座を実施し、コーディネートも行っている。		【成果】 ○ ・筆談は随時実施している。 ・高知声と点字の図書館がコーディネートを行い、養成したボランティアは、音訳等資料の変換を実施しており、変換された音訳資料はサピエ図書館に登録し、全国的に利用されている。 【課題】	コーディネートは高知声と点字の図書館で行っており、引き続き研修の実施等、連携・協力して行う。
	手話勉強会の実施	高知市では、手話言語条例を制定しています。手話によるコミュニケーションに理解のある図書館を目指し、手話に関する職員勉強会を行います。	・月1回のオーテピア全体会で全職員対象に、高知市職員向けの手話講座受講者によるミニ手話研修を実施している。 ・手話版利用案内のシナリオを作成し、10月からシナリオに沿った研修を実施している。		【成果】 ○ 毎月繰り返すことにより、手話が身近なものになっている。 【課題】	・手話の利用案内作成と合わせ、窓口でも使用頻度の高い手話を順次学んでいけるよう、引き続き全体会での研修を実施する。	【取組】 ・月1回のオーテピア全体会で全職員対象に、高知市職員向けの手話講座受講者によるミニ手話研修を実施している。 ・手話版利用案内のシナリオを作成し、10月からシナリオに沿った研修を実施している。		【成果】 ○ 毎月繰り返すことにより、手話が身近なものになっている。 【課題】	・手話の利用案内作成と合わせ、窓口でも使用頻度の高い手話を順次学んでいけるよう、引き続き全体会での研修を実施する。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等 (Plan)		令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和2年度 令和2年度1月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』(Action) ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 (取組の概要) ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
			【成果】			【成果】 冒頭に達成状況を○△×で	
			【課題】			【課題】	
人的支援 巡回訪問や依頼訪問等による支援	県の東部や中央、西部の各ブロックの担当司書を配置し、市町村立図書館等への巡回訪問や依頼訪問等により、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。	巡回訪問 30 市町村延べ 58 回実施 依頼訪問 2 市町村延べ 3 回実施 ・訪問巡回ができていなかった市町村に重点を置き、巡回訪問を行った。 ・除籍や長期延滞者への対応等の、マニュアルを整備しようとする図書館が複数あり、オーテピア高知図書館のマニュアルを提供するなど情報提供を行った。 ・支援文庫で整備している資料の紹介や、図書館が利用できる助成制度等をブログで紹介した。	【成果】 ○ 電話やメールでの業務相談が増えているが、訪問による関係性を築くことができているので、電話やメールでの相談に結びついている。 【課題】 ブログやメールの情報が、現場のスタッフに届きにくい場合がある。	・研修のお知らせやセットの紹介など、図書館職員等にダイレクトに届ける必要がある情報は、ブログだけではなく、ファックス等でもお知らせをする。	巡回訪問 31 市町村延べ 61 回実施 依頼訪問 1 市町村延べ 3 回実施	【成果】 ○ ・電話やメールでの業務相談が増えているが、訪問による関係性を築くことができているので、電話やメールでの相談に結びついている。 ・コロナ禍での図書館業務について相談がよせられたが、オーテピアの対策等を踏まえ対応することができた。 【課題】 市町村によっては、会計年度職員がインターネット端末へアクセスすることに制限があり、ブログやメールの情報が現場の職員に届きにくい場合がある。	・研修のお知らせや新規貸出セットの紹介など現場の業務に直結する情報については、紙媒体でも提供を積極的に行う。 ・確実な情報提供・情報共有のためにも、巡回訪問を積極的に行う。
レファレンスへの協力	市町村立図書館等では解決が難しいレファレンスへの支援を行います。	受付件数 14 件	【成果】 ○ 各サービスとも連携し取組めている。 【課題】 具体的に、何を調べれば良いのか分からない状態で、レファレンス依頼が来る場合がある。	・レファレンスへの回答だけではなく、レファレンス・インタビューの必要性や方法などについても伝えていく。 ・レファレンスに役立つ情報の発信や、研修の実施についても検討する。	受付件数 21 件 各サービス担当の協力も得ながら対応できている。	【成果】 ○ オーテピアで専門書・データベース等の収集整備が進むことで、協力レファレンスへの回答にも活用できるようになり、市町村図書館へのアンケート調査でも高い満足度を得ている。 【課題】 ・具体的に何を調べれば良いのか分からない状態でレファレンス依頼が来るなど、レファレンスの基本的な対応ができていない市町村が一部にある。 ・レファレンス・サービスが十分に行われていない市町村がある。	・レファレンスに回答するだけではなく、レファレンス・インタビューの必要性や方法などについても伝えていく。 ・レファレンスに役立つ情報の発信や、研修の実施についても検討する。
研修の実施	市町村立図書館の職員等に対して、高知県図書館職員研修や個別テーマに応じた研修等を実施し、人材の育成を図ります。市町村立図書館等の職員を県立図書館に受け入れて行う研修を実施します。	研修会名等 / 開催数 / 参加者数 ブロック別研修会 3 60 図書館サービス研修(初任者研修)児童サービス編 1 34 図書館サービス研修(中堅研修)第1回「図書資料の選定・除籍」 1 39 図書館サービス研修(中堅研修)第2回「図書館における電子資料(電子書籍、商用DB等)の提供について」 1 28 図書館サービス研修(専門研修)「公共図書館のサービスと著作権」 1 33 どこでも研修 ・図書館サービス研修(中堅研修)第1回「図書資料の選定・除籍」の研修動画を作成し、YouTubeで公開できるよう編集作業を進めている。 ・ブロック別研修会に関しても、集合研修ではなくオンライン研修での実施を検討し、著作権の許諾等準備を進めている。	【成果】 ○ 階層別の研修だと、経験年数に応じて身につけておかなければならないことの目安が分かるので、ありがたいとの声があった。 【課題】 新型コロナ感染者数の増減によって、参加人数が左右される。特に12月に実施した専門研修は、研修の実施直前に感染者が急増したため、キャンセルが相次ぎ参加者が半減した。	・参加者が半減した専門研修について、申込者限定で、動画配信ができないか検討している。(講義は録画済み) ・ブロック研修会(後期)は、3月にオンライン研修で実施予定。	研修会名等 / 開催数 / 参加者数 ブロック別研修会(高知県図書館協会事業) 4 135 図書館サービス研修(初任者研修)児童サービス編 1 34 図書館サービス研修(中堅研修)第1回「図書資料の選定・除籍」 1 39 図書館サービス研修(中堅研修)第2回「図書館における電子資料(電子書籍、商用DB等)の提供について」 1 28 図書館サービス研修(専門研修)「公共図書館のサービスと著作権」 1 33 どこでも研修 延べ4 52 ・「図書資料の選定・除籍」の研修動画を作成し、YouTubeで公開した。 ・ブロック別研修会(1回)をオンラインにより実施した。	【成果】 ○ ・オンライン研修はコロナ対策として実施したものだが、遠隔地である、勤務形態等の事情で集合研修への参加が難しい市町村職員の参加も多くあり、参加者数が例年より増加した。 ・いずれの研修も、実施後アンケートで「大変参考になった」「参考になった」の回答がほぼ100%となっている。 【課題】 オンライン研修では集中して学ぶことが難しかったという受講者の意見もあり、集合研修と組み合わせて実施していく必要がある。	・基本は集合研修としつつ、研修動画の作成・配信の取組みを進めていく。 ・令和3年度の図書館サービス研修は「郷土資料のレファレンスブック」、ブロック別研修は「読書バリアフリー」と「本の簡易修理講座」を実施予定。

	サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）		令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check)	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
				【成果】 【課題】			【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	
物的支援	企画展示	市町村立図書館等における企画展示の実施を支援するため、テーマに応じた資料の貸出しやブックリストの提供等、一括して行います。	セット貸出 81 セット延べ 2,270 冊 ・課題解決に資するテーマの中でも、SDGsや防災、感染症予防等、社会的に関心が高まり即時性を要するセットの作成を行った。 ・ブログで、セットの詳しい内容紹介を行った。	【成果】 ○ 特にSDGsは、高校からの問い合わせが多くあるなど、反響が大きかった。 【課題】 課題解決に資するセットの利用が少ない。	・SDGs等需要のある資料は、引き続きセットを作成する。 ・課題解決に資するテーマのセットに重点を置き、内容等にも踏み込んだ紹介するなど工夫をする。	セット貸出 97 セット延べ 2,851 冊 ・感染症やSDGsなど時宜をとらえたテーマのセットを作成し、ブログ等で紹介した。	【成果】 ○ ・県民が今必要する情報をいち早く提供することができた。 ・特にSDGsは貸出依頼が多く、ニーズが高かった。 【課題】 全体的には娯楽的な資料の利用が多い傾向が続いており、市町村のニーズへの対応と新たなニーズの掘り起しのバランスを取って資料提供を考えていく必要がある。	・SDGs等需要のある資料は、引き続きセットを作成する。 ・課題解決に資するテーマのセット作成に重点を置き、内容等にも踏み込んだ紹介をするなど情報提供の工夫をして利用促進を図る。 ・社会情勢の変化や制度の見直し等に留意しながら、セットを作成していく。
	課題解決支援サービスの実施	市町村立図書館等において課題解決支援サービスに取り組むことができるよう、専門機関の紹介や出張講座の共同実施等を支援します。	専門機関紹介 0 回 出張講座 0 回実施 館長やチーフと協力し、当館の取組の紹介や研修情報の提供など、働きかけを行った。	【成果】 △ 徐々にではあるが、実際に、取組を始めたとの報告があった。 【課題】 人員的な問題等もあり、実施できる図書館が限られる。	実施できる見込みのある図書館に対して働きかけ、取組の強化を図る。	専門機関紹介 0 回 出張講座 0 回実施 ・外部機関の研修会(多文化サービス関係)の受講を、サービスに取り組んでいる市町村図書館に働きかけた。	【成果】 △ 多文化サービスへの取り組みを始めた館がある。オーテピアとの連携にも意欲がある。 【課題】 ・現状ではサービスを実施できる環境にある図書館が限られているため、まずは取組みモデルとなりうる館を重点的に支援する必要がある。 ・当該の図書館がオーテピアに期待する支援・連携のあり方を具体的に確認する必要がある。	市町村図書館が主体的にサービスを実施できるよう、支援・連携方法について協議・検討を進める。
	行政支援サービスの実施	市町村立図書館等において行政支援サービスが行えるよう、関連図書の協力貸出に加えて、市町村立図書館等の職員に対する研修、レファレンスへの協力等の支援をします。	県内図書館で、行政支援サービスに取組もうとする動きがあり、参考としてオーテピア高知図書館での取組を紹介した。	【成果】 △ 市町村立図書館での行政支援の現状把握と、取組の紹介ができた。 【課題】 求められているサービスの水準が高い場合もあり、取組むこと自体のハードルが高いとの声がある。	課題解決支援とセットで取組む。	市町村図書館から、行政支援サービスについて問い合わせがあり、参考としてオーテピア高知図書館の取組を紹介した。	【成果】 △ 【課題】 市町村役場から直接オーテピアにレファレンス依頼が寄せられることがあるなど、市町村図書館が十分に利用されていない例がある。	レファレンス依頼があった際には地元の図書館の利用を案内するとともに、当該図書館に対しても情報共有を行い連携を促す。
	市町村のニーズに応える資料の収集・提供	協力貸出用の資料を収集し、提供します。	移動図書館用 5,282 冊 協力貸出用 1,070 冊 新規貸出セット 38 セット 1,001 冊 ・市町村立図書館等で収集した方が良い資料については購入を促している。 ・予約が多い資料を、迅速に提供できるよう積極的に収集している。 ・引き続き、巡回訪問での聞き取りや協力レファレンス、協力貸出等の日常業務でニーズを把握し、資料の収集に反映させている。	【成果】 ○ 現場のニーズに合った資料の提供が、迅速にできている。 【課題】 購入すれば、利用が見込まれるような本であっても市町村図書館が購入していない状況が散見される。	・教科書の改訂に対応するため、補充すべき資料の選定を行う。 ・引き続き、市町村立図書館等で収集した方が良い資料については購入を促す。 ・公開の準備を進めている「図書資料の選定・除籍」の研修動画を活用するなど、資料の選定に対する意識を高める方法についても工夫する。	移動図書館用 6,015 冊 協力貸出用 1,193 冊 新規貸出セット 38 セット 1,001 冊 ・巡回訪問時に、利用傾向や展示テーマの希望等を聞き取り、資料収集の参考とした。 ・市町村での資料選定の参考としてもらうため、研修動画を作成しYoutubeに公開した。	【成果】 ○ 現場のニーズに合った資料の提供が、迅速にできている。 【課題】 ・市町村で購入すれば利用が見込まれるような本であっても、市町村図書館が購入していない状況が散見される。 ・教科書改訂により、貸出依頼される資料に変化が見られるが、対応する資料の収集が不十分である。	・改訂教科書の内容を確認し、補充すべき資料の選定・収集を行う。 ・市町村立図書館等で収集した方が良い資料については引き続き購入を促す。
	情報提供の工夫	協力貸出の活性化のため、テーマに応じたブックリストを作成し、提供します。	ブログを活用し、支援文庫の資料について複数回紹介を行った。	【成果】 △ ビッグブックや高齢者紙芝居など、市町村支援用に収集しているが活用の少ない資料の紹介を行った。 【課題】 ブックリストという形態に限定せず、ブログ等を活用した、紹介の方法についても検討する必用がある。	・支援用資料だけではなく、様々なテーマで、資料の紹介をしていく。 ・ブログだけではなく、ファックスや物流便を活用した紙媒体での紹介も含め、内容によって提供の仕方を工夫する。	時事に関するセットのほか、ビッグブックや高齢者紙芝居など、活用の少ない資料の紹介をブログで行った。	【成果】 △ SDGsやステイホーム関連のセットは、広報への反応が大きかった一方、ビッグブックは利用につながらなかった。 【課題】 ・ブックリスト形式にこだわらず、想定される利用者に応じた紹介方法を検討する必要がある。 ・資料形態、内容と提供方法が見合っていない可能性がある。	・ブックリストについては、各サービス担当が作成するものも活用し、幅広いテーマで資料紹介を行う。 ・資料形態、内容に合わせて情報提供の方法を工夫する。 ・情報提供後の反応を資料提供方法の見直し等に反映させる(セット貸出→移動図書館　等)
	相互貸借の活性化	図書館情報システム未導入の市町村立図書館等の所蔵情報を収集し、県内図書館横断検索システムで所蔵状況の検索ができるようにします。	未実施	【成果】 未実施 【課題】	廃止	【取組】	【成果】 未実施 【課題】	廃止

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績（数値は12月31日時点）	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 【課題】	令和2年度 令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績（数値は3月31日時点）	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check) 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容（回数含む）や手法を見直す取組（見直すポイント） ・廃止する取組・・・廃止理由も（例：ニーズがない）
	物流便による資料の配送	休館日を除き、毎日、協力貸出や相互貸借の資料を当館の負担で、市町村に配送します。	配送対象 61 箇所 取扱冊数 88,662 冊	【成果】 ○ ・利用がコンスタントにある。 ・市町村図書館の館内や図書館だより等で、相互貸借や遠隔地返却について周知されている。 【課題】 相互貸借など利用できるサービスについて、引き続き周知していく必要がある。	・継続して取組を続ける。	配送対象 61 箇所 取扱冊数 118,480 冊 市町村にも物流サービスの周知を依頼している。	【成果】 ○ 市町村図書館の館内や図書館だより等で、相互貸借や遠隔地返却について周知されていることもあり、利用が定着してきている。 【課題】 相互貸借など利用できるサービスについて、引き続き周知していく必要がある。	・職員の異動があった市町村には早期にサービス説明を行うなど、利用の継続に努める。 ・定期的にサービスチラシ類の提供を行う。
アウトリーチ	アウトリーチ・サービスの実施	出前図書館等を通して、市町村立図書館職員等と一緒に外に出て、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います。	課題解決支援サービスや、行政支援サービスの取組を紹介する際に、アウトリーチサービスについても紹介をした。	【成果】 △ 当館での取組の紹介ができた。 【課題】 特に、図書館外での活動は人員の問題がありハードルが高いとの声もある。	・引き続き、アウトリーチを実施できる可能性がある図書館に対象に当館の取組み内容について情報提供し、潜在的ニーズの有無を図る。 ・課題解決支援とセットの取組として実施する。	巡回訪問時等に、当館での取組の紹介を行った。	【成果】 × 出前図書館等の実施には至っていない。 【課題】 図書館外での活動は困難とする声もあるため、段階的な展開が必要。	まずは図書館内で実施される課題解決系のサービスを充実させることを目指し、企画展示用資料の提供やオーテピアの取組み紹介に取り組む。
PR	広報紙への掲載等	市町村立図書館を通して受けられる図書館サービスの情報を市町村の発行する広報誌に掲載するなど、周知を図ります。	・図書館だよりやSNSに、移動図書館のスケジュール等が掲載された。 ・移動図書館については、全国的に見ても珍しいきめ細やかなサービスであると紹介していただいた。	【成果】 ○ 定期的に掲載されている。また、県立図書館の取組に対して、地域住民の理解が深まるような広報をしていただくなど、市町村立図書館と協力体制が築けている。 【課題】	継続して取組を続ける。	・巡回訪問時等に、協力の依頼を行っている。 ・定期的に、広報誌・図書館だよりの確認を行っている。	【成果】 ○ 定期的に掲載されている。また、県立図書館の取組に対して、地域住民の理解が深まるような広報をしていただくなど、市町村立図書館と協力体制が築けている。 【課題】 市町村によって、取り上げ方に濃淡がある。	取り上げの弱い市町村や、担当者の異動があった図書館については、積極的に協力依頼を行う。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check 【成果】 【課題】	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
利用ガイド	ブックリストやパスファインダーの提供	文献を調べたり、調査を自ら進めることができるように、作成されたブックリストやパスファインダーを分館や分室でも提供します。	取組)①本館で作成したブックリスト89種類、パスファインダー12種類(ティーンズ2種類ビジネス3種類、多文化3種類、健康安心4種類)を、ウェブサイトで公開中 ②学校・学校図書館との連携 ・教科書改訂に合わせた団体貸出セットの更新作業 ・高知市教育研究会図書館部会研究集会で図書館の活用について講義を実施(10月) ・学校図書館支援員研修会講師(11月)	【成果】 ・学校図書館を担当する教員方へ図書館の活用について直接説明・PRができた。 ・学校図書館支援員研修では、事前アンケートを踏まえて実態に合わせた効果的な研修ができた。 【課題】 【課題】 ・分館・分室の活用の促進 ・団体貸出セットの活用	・学校現場のニーズの把握 ・団体貸出セットを更新し、学校に周知	【取組】 ①本館で作成したブックリスト89種類、パスファインダー12種類(ティーンズ2種類ビジネス3種類、多文化3種類、健康安心4種類)を、ウェブサイトで公開中 ②学校・学校図書館との連携 ・教科書改訂に合わせた団体貸出セットの更新作業 ・高知市教育研究会図書館部会研究集会で図書館の活用について講義を実施(10月) ・学校図書館支援員研修会講師(11月)	【成果】 ・学校図書館を担当する教員方へ図書館の活用について直接説明・PRができた。 ・学校図書館支援員研修では、事前アンケートを踏まえて実態に合わせた効果的な研修ができた。 【課題】 ・分館・分室の活用の促進 ・団体貸出セットの活用	・教科書改訂に合わせた団体貸出セットの更新作業を進める。 ・分館・分室利用者のニーズの把握
レファレンス	レファレンス・サービスの充実	分館や分室でもレファレンス・サービスの充実を図ります。	分館・分室での受付件数 － 件 分館・分室から本館へのレファレンス相談件数 8件	【成果】 分館・分室からのレファレンス回答の相談について速やかに対応できている。 【課題】 分館・分室で受けるレファレンスの実態の把握	・レファレンスの受付件数の統計をとる。	分館・分室での受付件数 － 件 分館・分室から本館へのレファレンス相談件数 10 件	【成果】 分館・分室からのレファレンス回答の相談について速やかに対応できており、分館・分室においても一定のレファレンスサービスが提供できている。 【課題】 分館・分室で受けるレファレンスの実態の把握	・レファレンスの受付件数の統計をとる。
PR	分館・分室の周知	身近な図書館である分館・分室について、もっと広く知ってもらい、利用してもらえるよう当館のホームページやフェイスブック、パンフレットなどで積極的にPRを行います。	ウェブサイトでの定期的な分館・分室情報の掲示や広報紙の配布など、一定PRはできている。	【成果】 ウェブサイトでの定期的な分館・分室情報の掲示や広報紙の配布など、一定PRはできている。 【課題】 ネット環境を持たない市民への広報の充実	・多様な媒体を用いた告知	・ウェブサイトでの定期的な分館・分室情報の掲示や広報紙の配布 ・新規登録者への利用案内説明時に分館・分室の説明を必ず行っている。	【成果】 一定のPRはできている。 【課題】 オーテピアと分館・分室のネットワークについての情報が届いていない利用者がいる。	・引き続きウェブサイトでの定期的な分館・分室情報の掲示や広報紙の配布を徹底する。 ・新規登録者への窓口での利用説明時、図書館活用に係る研修等の際に分館・分室とのネットワークについて必ず説明を行うことを徹底する。
	移動図書館の周知	移動図書館の巡回場所や時間を当館のホームページなどに載せて広く知ってもらい、利用の促進を図ります。	巡回先 165 箇所 ・保育園用紙芝居セット利用の新規申し込みが1件あり(6月巡回から貸出開始) ・配本所が1箇所増(11月から)	【成果】 ・保育園用紙芝居セット利用の新規申し込みが1件あり(6月巡回から貸出開始) ・配本所が1箇所増(11月から) 【課題】 ・ステーション近隣住民へのPR	・新しくなった図書館バスのPR ・ステーション近隣住民へ届きやすい方法による告知	巡回先 165 箇所	【成果】 ・保育園用紙芝居セット利用の新規申し込みが1件あり(6月巡回から貸出開始) ・配本所が1箇所増(11月から) 【課題】 ・ネット環境を持たない住民へのPR	・市広報誌に移動図書館、分館・分室情報を掲載する。 ・ステーション近隣住民へ届きやすい方法によるPR
職員研修	接遇力の向上	分館・分室職員のコミュニケーション能力、傾聴力等の向上のため接遇研修を定期的に実施します。	本館司書が分館分室を巡回し、各館室の業務用端末に(土佐史談用の検索ツール)「探三郎」を設定して、使い方のレクチャーを行った。 ・ガルーンや業務協議研修会で利用者対応に関わる案件について全体共有し、具体的な対応方法について説明を行っている	【成果】 【成果】 ・ガルーンや業務協議研修会での情報共有は行えている。 ・図書館職員向け研修の案内 【課題】 【課題】 ・全体研修の機会が少なく、出席できる人数も限られている。	・3月のシステム更新のための全館休館の期間に全体研修を実施する。 ・分館・分室職員のニーズに合った研修の実施	【取組】 本館司書が分館分室を巡回し、各館室の業務用端末に(土佐史談用の検索ツール)「探三郎」を設定して、使い方のレクチャーを行った。 ・ガルーンや業務協議研修会で利用者対応に関わる案件について全体共有し、具体的な対応方法について説明を行った。	【成果】 【成果】 ・ガルーンや業務協議研修会での情報共有。 ・図書館職員向け研修の案内 ・システム更新に係る研修の実施 【課題】 ・全体研修の機会が少なく、出席できる人数も限られている。	.分館・分室のニーズに合ったきめ細やかな研修の実施
	調査能力の向上	レファレンス事例の情報共有や、定期的な研修の実施により、分館・分室職員の調査能力の向上に努めます。						

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表(個別サービス)

	サービス『計画』によるサービス・取組内容等(Plan)		令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check【成果】【課題】	令和2年度1月以降 今後の『取組』(Action)・課題に対しての取組等・新たな取組 (取組の概要)・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント)・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check【成果】 冒頭に達成状況を○△×で【課題】	令和3年度 令和3年度4月以降 今後の『取組』(Action)・課題に対しての取組等・新たな取組 (取組の概要)・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント)・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
協力 学校図書館の要望に応じた資料のまとめ貸し	県立学校に、要望するテーマに応じた資料のまとめ貸しなどを行います。また、高知市以外の市町村立学校には、市町村立図書館等を通して行います。	セット数 38 セット 貸出冊数 37 件 672 冊 ・コロナの影響のため、7月から学校訪問を開始した。 ・物流サービスの対象を全県立高校と私立高校に拡大し、利便性の向上を図った。	【成果】 ○ ・学校訪問で学校司書や司書教諭に直接説明を行うことにより、貸出依頼や利用問い合わせの増加につながった。 ・ニーズの高いSDGsのセットを作成し、ブログで紹介したところ、県立学校からの多くの貸出依頼があるなど反応があった。 【課題】 ・実習助手の未配置校へは訪問ができておらず、貸出利用がない学校も多い。 ・早番、遅番2人の会計年度任用職員が勤務している学校図書館もあり、一度の訪問で学校側の要望やニーズを直接把握することが難しい。 ・市町村立学校(小中学校)が要望する資料は、テーマや利用時期が重複する事が多く、要望どおりに貸出できない場合がある。	・要望が多いテーマに関しては、易しく理解しやすいものから、より内容を掘り下げるものまでセットの種類に幅を持たせることを検討していく。 ・ブログ等でサービスの活用事例などを紹介し、PRに努める。	セット数 38 セット 貸出冊数 45 件 778 冊 ・物流サービスの対象を全県立高校と私立高校に拡大し、利便性の向上を図った。 ・実習助手が配置されている県立学校へは3月末までにすべて訪問し、まとめ貸しについて説明をした。	【成果】 ○ ・学校訪問で学校司書や司書教諭に直接説明を行うことにより、貸出依頼や利用問い合わせの増加につながった。 ・ニーズの高いSDGsのセットを作成し、ブログで紹介したところ、県立学校からの多くの貸出依頼があるなど反応があった。 【課題】 ・実習助手の未配置校へは訪問ができておらず、貸出利用がない学校も多い。 ・利便性の向上のために、高校からもインターネットで本の予約できるように準備を進める必要がある。 ・市町村立学校(小中学校)が要望する資料は、テーマや利用時期が重複する事が多く、要望どおりに貸出しできない場合がある。	・未訪問の学校へ積極的に訪問し、まとめ貸し等についてサービスの説明を行っていく。 ・要望が多いテーマに関しては、易しく理解しやすいものから、より内容を掘り下げるものまでセットの種類に幅を持たせることを検討していく。 ・ブログ等でサービスの活用事例などを紹介し、PRに努める。 ・インターネットから予約ができるようにシステム改修を進める。準備ができ次第、マニュアル等をまとめ高校へ案内をする。
依頼訪問等による支援	学校図書館の要望に応じて、市町村立図書館職員等と一緒に依頼訪問等を行い、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。	22 校 22 回 ・県立学校支援担当を配置した。 ・支援内容の周知や、ティーンズ担当が新たに開始する「オーテピアティーンズ部」の紹介を行った。 ・12月現在、ティーンズ部へ15名の入部があった。 ・県立伊野商業高校より、「第25回全国高等学校観光教育研究大会」及び「第9回全国高等学校観高サミット」開催についての連携依頼を受け、10/7に打ち合わせを行う。	【成果】 ○ ・学校訪問をすることで、気軽に相談をしやすい関係づくりにつながっている。 ・訪問することで図書館のサービスを説明する機会も増え、連携につながり、学校へのよりよい提案ができるようになった。 【課題】 ・実習助手が未配属の県立学校へすべて訪問ができていない。	・市立学校、私立学校へも訪問し、図書館のサービス説明を行う。 ・高等学校課が実施する司書教諭・実習助手向けの研修で、サービスの周知を図る。	22 校 25 回 ・県立学校支援担当を配置した。 ・支援内容の周知や、ティーンズ担当が新たに開始する「オーテピアティーンズ部」の紹介を行った。 ・伊野商業高校から令和3年度に「第25回全国高等学校観光教育研究大会」及び「第9回全国高等学校観高サミット」を開催するにあたり、オーテピア高知図書館へ協力の依頼があり、学校と協議を行った。 ・山田高校から依頼があり、資料の簡易な修理講座を行う。(2/24)	【成果】 ○ ・学校訪問をすることで、気軽に相談をしやすい関係づくりにつながっている。 ・訪問することで図書館のサービスを説明する機会も増え、連携につながり、学校へのよりよい提案ができるようになった。 ・関係づくりができた学校からは、再度訪問の依頼がくるようになり、より多くのサービス情報を提供することができた。 ・3月現在、ティーンズ部へ18名の入部があり、本の紹介文の投稿等の活動を行っている。 ・「第25回全国高等学校観光教育研究大会」、「第9回全国高等学校観高サミット」において連携展示や、ブックリスト作成等を協力して実施することが決まった。 【課題】 ・未訪問の学校との関係づくりができておらず、要望が寄せられていない。 ・生徒による展示や学校PRなど、オーテピア高知図書館を活用する方法を学校へ周知する必要がある。	・市立学校、私立学校へも訪問し、図書館のサービス説明を行う。 ・高等学校課が実施する司書教諭・実習助手向けの研修で、サービスの周知を図る。 ・前年度にオーテピア高知図書館の活用実績がある学校と連携を深め、その事例などを他の学校等へ紹介し、学校の特色に応じた図書館活用について提案を行っていく。
レファレンスへの協力	県立学校へのレファレンスの支援を行います。また、高知市以外の市町村立学校には、市町村立図書館等を通して行います。	レファレンス貸出 37 件 ・学校訪問した直後に、貸出依頼などリアクションがあり、その後も定期的に図書館の資料を活用している。	【成果】 ○ ・訪問を行い、顔が見える関係になった学校司書からは、高い確率で貸出依頼などのリアクションがあり、利用のハードルを下げる効果が表れている。 ・授業で出された課題について問い合わせがあり、参考資料の貸出につながった。 【課題】 ・次の授業までに参考資料を要求されるので、調査の時間が十分とれない。また、課題を丸投げするケースもみられる。 ・資料のまとめ貸しという形での回答が求められるため、貸出用資料がないテーマへの対応が困難(郷土資料、データベース等)。	・学校図書室内で調べ学習に対応できるように、役立つ資料を紹介し、またテーマに沿ったブックリストやパスファインダーを作成し、提供する。	レファレンス貸出 45 件 ・学校訪問した直後に、貸出依頼などリアクションがあり、その後も定期的に図書館の資料を活用している。	【成果】 ○ ・訪問を行い、顔が見える関係になった学校司書からは、高い確率で貸出依頼などのリアクションがあり、利用のハードルを下げる効果が表れている。 ・授業で出された課題について問い合わせがあり、参考資料の貸出しにつながった。 【課題】 ・次の授業までに参考資料を要求されるので、調査の時間が十分とれない。また、課題を丸投げするケースもみられる。 ・資料のまとめ貸しという形での回答が求められるため、貸出用資料がないテーマへの対応が困難(郷土資料、データベース等)。 ・使用している教科書の内容を把握できておらず、学校訪問の際に学校図書室の活用について踏み込んだ聞き取りができず、学習に役立つ資料等を紹介できない。	・学校図書室内で調べ学習に対応できるように、役立つ資料を紹介し、またテーマに沿ったブックリストやパスファインダーを作成し、提供する。 ・県立高校が使用している教科書の購入を検討していく。 ・実習助手と連絡を密することで授業の進行状況を確認し、前もってブックリスト等を作成してブログ等で提供する。
ブックリストやパスファインダーの提供	学校図書館の資料選定に役立つブックリストやパスファインダー-を作成し、提供します。	・パスファインダー1種を作成中。	【成果】 × ・訪問した学校から寄せられたニーズをもとに、調べ学習に沿ったブックリスト、パスファインダーの作成を検討している。 【課題】 学校によってニーズが大きく異なるため、汎用性のあるテーマ設定が難しい。	・作成したブックリスト・パスファインダーはブログ等によるPRを行う。また訪問の際も紹介する。	【取組】 ・パスファインダーのたたき台を作成した。生徒により理解しやすい内容に加筆修正中。	【成果】 × 【課題】 ・学校によってニーズが大きく異なるため、汎用性のあるテーマ設定が難しい。	・ティーンズ担当職員と協力し、カリキュラムに沿ったブックリストを作成し、ブログ等で紹介を行う。
研修の実施	市町村立図書館職員等に対して実施する研修について、学校図書館への情報提供を強化し、人材の育成を支援します。	開催日 / 研修名 / 学校参加者数 6月(8,15,22日) ブロック別研修 3 8月26日 図書館サービス研修「中級(選書)」 7 12月25日 図書館サービス研修「専門研修」 4	【成果】 ○ ・全県立学校へ研修の通知を行った結果、司書教諭や学校司書の参加が増加した。県立学校の学校司書からの紹介で私立高校の司書教諭の参加につながった。 ・研修に参加する実習助手と定期的に顔を合わす機会が増え、相談しやすい関係づくりが一層進んだ。 【課題】 ・遠方の学校や、実習助手の未設置校からの参加者は少ない。時間や距離に関係なく、受講できる研修を検討する必要がある。	・研修内容を動画等で配信していくことを検討する。 ・学校訪問の際にも実施する研修等を紹介していく。	開催日 / 研修名 / 学校参加者数 6月(8,15,22日) ブロック別研修(前期) 3 8月26日 図書館サービス研修「中級(選書)」 7 12月25日 図書館サービス研修「専門研修」 4 3月2日 ブロック別研修(後期) 10	【成果】 ○ ・全県立学校へ研修の通知を行った結果、司書教諭や学校司書の参加が増加した。県立学校の学校司書からの紹介で私立高校の司書教諭の参加につながった。 ・研修に参加する実習助手と定期的に顔を合わす機会が増え、相談しやすい関係づくりが一層進んだ。 ・新型コロナ感染防止のためにオンラインの研修を開催したところ遠方の学校や実習助手の未設置校からの複数名の参加者の申込みがあった。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてきた場合でも、オンライン研修の実施を検討する必要がある。	・オンラインやYouTube等を活用した研修などを検討していく。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度			
			令和2年4月1日～令和2年12月31日		令和2年度1月以降	令和2年度
			【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	【取組の成果と課題】(Check 【成果】 【課題】	今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3.3の実績(数値は3月31日時点)
アウトリーチ	出前講座等の実施	児童・生徒を対象とした出前講座等を実施します。	出前講座 1 回実施 ・9/20「図書館 司書の仕事講座」は募集人数20名のところへ34名の参加者があった。 ・12/21太平洋学園「絵本の読み聞かせ講座」は新型コロナ感染拡大のため中止。来年度以降、実施予定。	【成果】 ○ ・ティーンズ世代へ司書という仕事のPRができた。今回の講座をきっかけにして、塩見青少年プラザとの連携が進み、施設内にオーテピアサービスチラシ架を配置することができた。 【連携：塩見記念青少年プラザ】 【課題】 ・学校への出前講座のPRが不十分。出前講座をついて学校訪問の際にわかりやすく説明する必要がある。	・学校訪問の際に寄せられた意見等をもとに、「図書館の活用方法」、「資料の修理」、「絵本の読み聞かせ」、「司書の仕事」等のプログラムを事前に作成したうえで広報できないか検討していく。	出前講座 1 回実施 ・9/20「図書館 司書の仕事講座」は募集人数20名のところへ34名の参加者があった。 ・12/21太平洋学園「絵本の読み聞かせ講座」は新型コロナ感染拡大のため中止。来年度以降、実施予定。
PR	サービスの周知	学校図書館職員等を対象とした図書館の利用ガイダンスを実施します。	訪問 22 校 貸出 19 校 1366 冊 ・利用マニュアルやガイドブックを全校配布し、県立学校長会で説明を行った。 ・拠点校や近隣校を中心に学校訪問を実施し、実習助手の配属がある県立学校へは12月までに訪問が完了した。 ・学校訪問の際には可能な限り校長にも同席いただき、図書館の活用について説明を行った。 ・教育センターの教員を対象に図書館活用講座を実施した(アウトリーチ担当)。 ・12/22「令和2年度司書教諭及び司書の指導力向上事業に係るオンライン研修会」にて利用ガイダンスを実施。28校37名参加。 ・高知高等技術学校へ館長、アウトリーチ担当と共に訪問しサービス説明を行い、今後の連携を協議した。 ・12/25高知高等技術学校及び中村高等技術学校への図書館活用講座を行う予定だったが、中止。	【成果】 ○ ・校長に図書館のサービスを理解していただき、図書館の活用方法を提案するなど積極的な働きかけができた。 ・オンライン研修会を実施することで訪問ができていない学校へも、サービス説明を行うことができた。 【連携：県高等学校課】 ・県立の高等学校以外へも連携が広がり、チラシ架の設置や、図書館の活用方法の提案ができた。雇用労働政策課とも連携が進み、図書館での2月の作品展示につながった。 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた利用ガイダンスの中止や、学校訪問による打ち合わせが延期になり、円滑なサービスの周知ができない場合があった。 【課題】	・新型コロナ感染状況を確認しながら、できるかぎり直接学校訪問を行い、関係づくりを進めていく。 ・実習助手だけでなく、今後も校長等へサービス説明を行っていく。 ・図書館と連携したイベントや展示等も積極的に提案していく。	訪問 22 校 貸出 19 校 1491 冊 ・利用マニュアルやガイドブックを全校配布し、県立学校長会で説明を行った。 ・拠点校や近隣校を中心に学校訪問を実施し、実習助手の配属がある県立学校へは訪問が完了した。 ・学校訪問の際には可能な限り校長にも同席いただき、図書館の活用について説明を行った。 ・教育センターの教員を対象に図書館活用講座を実施した(アウトリーチ担当)。 ・12/22「令和2年度司書教諭及び司書の指導力向上事業に係るオンライン研修会」にて利用ガイダンスを実施。28校37名参加。 ・高知高等技術学校へ館長、アウトリーチ担当と共に訪問しサービス説明を行った。 ・2/1バーコードリーター贈呈式 ・2/1-2/28連携展示「高知県立高知・中村高等技術学校」

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度	令和3年度
			【取組の成果と課題】(Check 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	令和3年度4月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
アウトリーチ	出前講座等の実施	児童・生徒を対象とした出前講座等を実施します。	【成果】 ○ ・ティーンズ世代へ司書という仕事のPRができた。今回の講座をきっかけにして、塩見青少年プラザとの連携が進み、施設内にオーテピアサービスチラシ架を配置することができた。 【連携：塩見記念青少年プラザ】 【課題】 ・学校への出前講座のPRが不十分。出前講座について学校訪問の際にわかりやすく説明する必要がある。 ・コロナ禍のため学校で児童・生徒を対象とした出前講座の実施が難しい。	・学校訪問の際に寄せられた意見等をもとに、「図書館の活用方法」、「資料の修理」、「絵本の読み聞かせ」、「司書の仕事」等のプログラムを事前に作成し広報していく。 ・学校訪問の際に、出前講座について説明を行う。依頼があれば、感染状況を鑑みながら多様な方法で対応を検討する。
PR	サービスの周知	学校図書館職員等を対象とした図書館の利用ガイダンスを実施します。	【成果】 ○ ・校長に図書館のサービスを理解していただき、図書館の活用方法を提案するなど積極的な働きかけができた。 ・オンライン研修会を実施することで訪問ができていない学校へも、サービス説明を行うことができた。 ・高知県立高等技術学校との連携が深まり、バーコードリーター贈呈式の広報や連携展示を通じて、県内の技術学校のPRを行うことができた。 ・「県内の高等学校図書館ブログ」を開設し、学校図書館活動に役立つ情報を発信できるようになった。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた利用ガイダンスの中止や、学校訪問による打ち合わせが延期になり、円滑なサービスの周知ができない場合があった。	・まとめ貸しだけでなく、図書館活用講座や、授業に役立つブックリストなど様々なサービスの案内を高等学校課等と連携し継続して提供していく。感染状況を鑑みながら必要に応じてオンライン等も含めた方法で対応する。

オーテピア高知図書館サービス計画実施状況点検・評価表（個別サービス）

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check 【成果】 【課題】	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	令和3年度 令和3年度3月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組 （取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
中心市街地活性化への寄与	観光情報の収集・発信	外国人観光客にも対応した、高知の観光に関するチラシやパンフレットを収集し、1階エントランス・ロビーで提供します。	1階エントランス・ロビー、共同楽習スペース、ことばと国際交流コーナー(外国語)、高知資料コーナー、移住関連の常設展示コーナー等にて観光に関するチラシやパンフレットを提供している。	【成果】 高知資料担当で依頼窓口を一元化し、開館当初の混乱は解消され、効率的な収集が行えている。 【課題】 配布希望が多く、場所に対して設置数を調整している。	配布物毎に、館内での配布調整を行う。	【取組】 ・1階エントランス・ロビー、共同楽習スペース、ことばと国際交流コーナー(外国語)、高知資料コーナー、移住関連の常設展示コーナー等にて観光に関するチラシやパンフレットを提供している。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)やサービス計画推進委員会(3/4)にて、所管課等と協議。 ・いただいたご意見を次期サービス計画に整理、反映した。	【成果】 ○ ・高知資料担当で依頼窓口を一元化し、開館当初の混乱は解消され、効率的な収集が行えている。 【課題】 ・配布希望が多く、場所に対して設置数を調整している。	・配布物毎に、館内での配布調整を行う。
	商店街や日曜市等の情報発信	商店街や日曜市等に関する情報を収集し、1階エントランス・ロビーで提供します。	・高知市公式Webサイト中「おまちと商店街のイベント予定」(市商工振興課とりまとめ)が9月から再開。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、所管課等と協議。	【成果】 所管課等から情報発信について、アイデアをいただいた(外部の商店街情報発信サイトとの相互リンクなど)。 【課題】 いただいたアイデア等について検討する必要がある。	いただいたアイデア等について、所管課等と協議をしつつ、実現にむけて取り組んでいく。	【取組】 ・高知市公式Webサイト中「おまちと商店街のイベント予定」(市商工振興課とりまとめ)が9月から再開。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、所管課等と協議。 ・いただいたご意見を次期サービス計画に整理、反映した。 ・「みんなのおびやまち 祝卒業プロジェクト」のポスターを館内に掲示した。 ・「タウンモビリティステーションふくねこ 令和2年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の新聞記事を館内に掲示した。	【成果】 ○ ・商店街関連の情報を館内で発信することで、商店街の魅力発信やイベント広報に寄与することができた。 ・新聞記事の掲示をしたことにより、商店街の魅力を当館から発信できた。ふくねこ関係者からも感謝された。 【課題】 いただいたアイデア等について検討する必要がある。	・いただいたアイデア等について、今期サービス計画期間内に対応できることについては所管課等とも協議をしつつ、実現にむけて取り組んでいく。
	インターネット利用(WiFi接続)環境の提供	利用者自身のタブレットやスマートフォンを使い、無料でインターネットに接続できるWiFi環境を、全館で提供します。	開館時に合わせ整備済み	【成果】 ○ 【課題】	今のところ問題なく利用者に使用してもらっている。	【取組】 開館時に合わせ整備済み	【成果】 ○ 【課題】	今のところ問題なく利用者に使用してもらっている。
	宿泊施設への団体貸出	団体貸出について、宿泊施設のニーズを把握しながら、実施に向け検討します。	意見交換会にて、高知県旅館ホテル生活衛生同業組合・高知市旅館ホテル協同組合事務局長の西谷氏に宿泊施設への団体貸出について提言を行う。	【成果】 なし 【課題】 新型コロナウイルス感染症により、宿泊産業が打撃を受けており、振興事業が必要な一方、不特定多数が同じものをさわる団体貸出の特質上、図書館側から積極的なアプローチがしづらい。	宿泊施設側の意向次第であり、	【取組】 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、高知県旅館ホテル生活衛生同業組合・高知市旅館ホテル協同組合事務局長の西谷氏と宿泊施設への団体貸出について協議。 ・プロ野球キャンプ宿舎への団体貸出サービスの提案を行った。	【成果】 × ・サービスチラシ配布の時期を検討中 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症により、宿泊産業が打撃を受けており、振興事業が必要な一方、コロナウイルス感染症に伴う資料貸出しのリスク(不特定多数が同じものをさわる)もあり、図書館側から積極的なアプローチがしづらい。	・新型コロナウイルス感染症の影響を考え、取組時期や、実施の可否を検討
	多目的広場の活用	商店街等との連携のもと、多目的広場を活用し、イベントなどを開催します。	・コロナの影響により、イベント等の利用実績なし。 ・お城下文化の日(11/15)イベント会場は多目的広場になる可能性もあったが、当初の予定通り、追手門前でのイベント実施となった。 ・オリンピック聖火リレーパートナーのイベントで使用予定(2/28)	【成果】 なし 【課題】 新型コロナウイルス感染症対策を考慮したうえでの多目的広場活用。	新型コロナウイルス感染症対策を十分に取ったうえで、多目的広場の活用について引き続き検討していく。	【取組】 ・コロナの影響により、イベント等の利用実績なし。 ・お城下文化の日(11/15)イベント会場は多目的広場になる可能性もあったが、当初の予定通り、追手門前でのイベント実施となった。 ・オリンピック聖火リレーパートナーのイベントで使用はなかった(2/28)	【成果】 × 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症対策を考慮したうえでの多目的広場活用。	・新型コロナウイルス感染症対策を十分に取ったうえで、多目的広場の活用について引き続き検討していく。
	商店経営に役立つ図書等の収集・提供	商店経営の仕方や商品ディスプレイのノウハウなど、商店街の振興に役立つ図書や雑誌・新聞等を収集し、提供します。	・リクエストや利用者のニーズに応じて本や雑誌を選書、購入している。 ・5月の「得する街のゼミナール」は中止となったが、第14回まちゼミの内容をおうちで再現できそうな本を展示した「うちゼミ」展示を実施するなどして、各店舗の情報を意識して、選書している。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。	【成果】 経営やビジネスの本に関してはコンスタントにレファレンスや貸出しがある。 【課題】 まちゼミも中止が続いているため、直接商店街の方と話をする機会が減ってきている。	オンライン形式で商店街の会合等に参加するなど、定期的に商店街の方と交流できる機会を増やしていく。	【取組】 ・リクエストや利用者のニーズに応じて本や雑誌を選書、購入している。 ・ビジネス支援選書リスト(ビジネス支援図書館推進協議会ビジネス支援選書研究会作成)を参考に、参考図書の購入を行った。 ・労働の棚付近に、アフターコロナやメンタルヘルス関係の資料を展示する常設コーナーを新たに設けた。 ・5月の「得する街のゼミナール」は中止となったが、第14回まちゼミの内容をおうちで再現できそうな本を展示した「うちゼミ」展示を実施するなどして、各店舗の情報を意識して、選書している。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)やサービス計画推進委員会(3/4)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。	【成果】 ○ ・ビジネス関係の資料が充実してきた結果、マーケティングや経済・経営資料などビジネス書が充実しているとの声を複数いただくようになった。 【課題】 ・まちゼミも中止が続き、直接商店街の方と話をする機会が減ってきているため、ニーズを把握しにくい状況にある。	・オンライン形式で商店街の会合等に参加するなど、定期的に商店街の方と交流できる機会を増やしていく。 ・商店街にむけてリクエスト・サービス等の図書館サービスをPRしていく。
	商店街との協働	商店街の様々なイベント(「得する街のゼミナール」、「土佐のおきゃく」など)と協働した取組を行います。	・5/12～5/31 第14回得する街のゼミナールは中止となったが、各店舗のまちゼミ内容をおうちで再現できそうな本の展示「うちゼミ」を実施した。 ・今年度の土曜夜市は中止。土曜夜市に代わるイベント「おまちdeプチ夏祭り」のチラシを館内で提供した。 ・オーテピア来館者200万人達成のポスター掲示への協力(掲示場所:帯屋町1丁目と2丁目、中ノ橋通) ・金高堂書店が開催した図書館ブックフェア(児童図書・優良図書の展示会)への参加 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。	【成果】 ・展示を見た商店街の方に喜ばれた。 ・令和2年度後半、令和3年度のまちゼミスケジュールについて確認した。 【課題】 商店街のまちゼミ担当者と繋がっているSNSが2014年の頃のものであり、メンバーの変動が反映されていない。	コロナ禍の中、商店街の方と協同できることは何か、コミュニケーションを取りながら考えていく必要がある。コミュニケーションの機会を増やしていく必要がある。	【取組】 ・5/12～5/31 第14回得する街のゼミナールは中止となったが、各店舗のまちゼミ内容をおうちで再現できそうな本の展示「うちゼミ」を実施した。 ・今年度の土曜夜市は中止。土曜夜市に代わるイベント「おまちdeプチ夏祭り」のチラシを館内で提供した。 ・オーテピア来館者200万人達成のポスター掲示への協力(掲示場所:帯屋町1丁目と2丁目、中ノ橋通) ・金高堂書店が開催した図書館ブックフェア(児童図書・優良図書の展示会)への参加 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)やサービス計画推進委員会(3/4)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。	【成果】 ○ ・展示を見た商店街の方に喜ばれた。 ・意見交換会等での協議の結果、次回のまちゼミ開催の際に、参加店舗のイベント企画検討に役立つ資料を紹介することになった。図書館の強みである資料提供により、まちゼミのさらなる魅力向上に資する準備を整えた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染状況によってはイベントが中止になる可能性がある。	・コロナ禍の中、商店街の方と協同できることは何か、引き続きコミュニケーションを取りながら検討し取り組んでいく。

サービス『計画』によるサービス・取組内容等（Plan）			令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R2.12の実績(数値は12月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和2年12月31日 【取組の成果と課題】(Check 【成果】 【課題】	令和2年度1月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【これまでの取組状況】(Do) R2.4～R3. 3の実績(数値は3月31日時点)	令和2年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日 【取組の成果と課題】(Check 【成果】 冒頭に達成状況を○△×で 【課題】	令和3年度 令和3年度3月以降 今後の『取組』（Action） ・課題に対しての取組等 ・新たな取組（取組の概要） ・既存の取組の内容(回数含む)や手法を見直す取組(見直すポイント) ・廃止する取組・・・廃止理由も(例:ニーズがない)
	まちなか図書館の実施	商店街等の店舗に、一定期間、図書館の本を貸し出すことにより、来店者等に広く活用してもらう「まちなか図書館」を実施します。	5/20　まちゼミ参加店でつくるLINEグループにて、団体貸出の紹介を行う。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。	【成果】　・まちゼミ実行委員の方にまちゼミの事前説明会時に団体貸出についてPRしてはどうかとアドバイスをいただいた。 ・商店街向けの貸出運用について、商店街の方と協議ができた。 【課題】　・検討段階から実現段階に中々話が進んでいない。	優先度を高めつつも長期的に検討していく。	【取組】　5/20　まちゼミ参加店でつくるLINEグループにて、団体貸出の紹介を行う。 ・『オーテピア高知図書館サービス計画』意見交換会(12/7)やサービス計画推進委員会(3/4)にて、商店街やまちゼミ実行委員の方と協議。 ・商店街にある百貨店との連携について協議。	【成果】　○ ・商店街向けの貸出運用について、商店街の方と協議ができた。 ・意見交換会等での協議の結果、次回のまちゼミ開催の際に、参加店舗のイベント企画検討に役立つ資料を紹介することになった。図書館の強みである資料提供により、まちゼミのさらなる魅力向上に資する準備を整えた。 【課題】　・百貨店との連携については、1回目の協議以降、進展がない。	・百貨店との連携について、先方に連絡をとり、今後の連携を検討する。
周辺施設との連携	歴史的資料の展示	高知城歴史博物館等と連携しながら、図書館に収蔵されている歴史的な貴重資料の企画展示を行います。	【取組】 連携展示は行えていないが、県市両館所蔵の貴重資料を使った企画展示を開催。 ①昭和の博覧会と肖像写真(1/11～4/17) ②濱口雄幸と野村茂久馬(5/12～7/15) ※展示解説…6/6(1名)・6/20(4名) ③中城文庫展(7/21～9/22) ※展示解説…8/2(5名)・8/9(5名)・8/16(4名)・8/30(6名) ④三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-(9/29～12/27) ※展示解説…10/3(19名)・10/11(6名)・10/31(9名)・11/8(6名)・11/21(3名)・12/19(3名)	【成果】　展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。 【課題】　コロナ禍によって周辺の文化施設が軒並み閉館および活動自粛となっており，連携展示はできなかった。この状況においても可能な他施設との連携方法を検討する必要がある。	1月以降の展示予定(城博から一部資料データを借用) 装いと粧い-眠りから覚めた　愛おしきものたち-(1/9～4/18)	【取組】　連携展示は行えていないが、県市両館所蔵の貴重資料を使った企画展示を開催。 ①昭和の博覧会と肖像写真(1/11～4/17) ②濱口雄幸と野村茂久馬(5/12～7/15) ※展示解説…6/6(1名)・6/20(4名) ③中城文庫展(7/21～9/22) ※展示解説…8/2(5名)・8/9(5名)・8/16(4名)・8/30(6名) ④三丁目の夕日の頃の高知-清岡義道写真文庫展-(9/29～12/27) ※展示解説…10/3(19名)・10/11(6名)・10/31(9名)・11/8(6名)・11/21(3名)・12/19(3名) ⑤「装いと粧い-眠りから覚めた　愛おしきものたち-」(1/9～4/18) ※展示解説…2/21(5名)・3/14(5名)	【成果】　△ 展示によって両図書館の貴重かつ多彩な資料の保存活動の啓発にもなった。 【課題】　コロナ禍によって周辺の文化施設が軒並み閉館および活動自粛となっており，連携展示はできなかった。この状況においても可能な他施設との連携方法を検討する必要がある。	各館と連携した貴重資料の展示予定はないが，展示以外の連携を検討中。
	文化施設との連携	高知城歴史博物館や文学館、高知城等の歴史ある文化施設と連携しながら、観光や文化に関する情報を積極的に発信します。	日付：4/1～ 内容：周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信・『2020お城下文化手帳』配布 連携先：周辺文化施設・お城下ネット 日付：11/15 内容：イベント「お城下文化の日」開催 連携先：周辺文化施設・お城下ネット	【成果】【成果】 【課題】各文化施設のイベント等を周知させることができた。 ※「お城文化の日」図書館のイベントと参加人数 ①講演会　30名 ②リサイクル本配布　159名 ③プレゼント　140名 【課題】 情報発信手段の検討	お城下ネットの会に参加し、各館の専門的な知識を生かした新しい事業の検討や情報交換を行う。 各館主催のイベントでも、サブイベントとして連携できるものは行う。(スタンプラリーなど)	日付：4/1～ 内容：周辺文化施設のイベントチラシやポスターの掲示による情報発信・『2020お城下文化手帳』配布 連携先：周辺文化施設・お城下ネット 日付：11/15 内容：イベント「お城下文化の日」開催	【成果】　○ 各文化施設のイベント等を周知させることができた。 ※「お城文化の日」図書館のイベントと参加人数 ①講演会　30名 ②リサイクル本配布　159名 ③プレゼント　140名 【課題】　情報発信手段の検討	お城下ネットの会に参加し、各館の専門的な知識を生かした新しい事業の検討や情報交換を行う。 ⑤「 各館主催のイベントでも、サブイベントとして連携できるものは行う。(スタンプラリーなど) 令和3年6月と高知城歴史博物館で開催される企画展「地域展 仁淀川の人々」と連携した図書展示を実施予定。 令和3年11月に高知県立文学館で開催される企画展「生誕150年 幸徳秋水」と連携した図書展示を実施予定。
	教育・産業支援施設との連携	ココプラ(高知県産学官民連携センター)などが行う講演会やセミナーなどにおいて、講師の著書やお薦め本など利用者のニーズにあった図書を提供します。	・7/19　県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2　県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。	【成果】　貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。 【課題】　出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。	・必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。	【取組】　・7/19　県産学官民連携起業推進課が主催する起業入門セミナーで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・8/2　県産学官民連携起業推進課が主催する起業基礎プログラムで出前図書館(本の展示のみで職員は不在)と図書館PRを実施 ・例年出前図書館を実施していた土佐MBAでは、出前図書館に代わるサービスとしてブックリストを作成し、受講者に提供した。	【成果】　○ ・貸出しには至らなかったが、会場内でご覧になっていた方はいた。イベントの魅力向上に寄与した。 【課題】 ・出前図書館は、人が集まる会場でこそ実施の意義がある事業である。イベントが減少し、非接触型サービスが求められる今、「withコロナ」の出前図書館の在り方について引き続き検討する必要がある。	・必要に応じて出前図書館は実施していくが、出前図書館の実施回数を増やすことにこだわらず、ブックリストの配布など、出前図書館に代わる非接触方式で、資料の貸出しや相談につながるサービス方法の提案を行う。
		事業者が企画書等を作成する段階から、図書館の資料や情報を提供し、支援機関と一体となって支援を行います。	・産学官民連携センターが主催する土佐経営塾で図書館活用講座の動画を提供	【成果】　・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館活用講座動画を提供し、経営塾受講者の利用を促進することができた。講師から非常にありがたいとの声を頂いた。 【課題】　・課題は特になし	ニーズに応じて図書館資料や情報の活用を促す動画を提供したり、オンライン配信を行う。	【取組】　・産学官民連携センターが主催する土佐経営塾で図書館活用講座の動画を提供	【成果】　○ ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館活用講座動画を提供し、経営塾受講者の利用を促進することができた。講師から非常にありがたいとの声をいただいた。 【課題】 ・動画を提供する連携先や動画コンテンツ数が少ない。	・ニーズに応じて図書館資料や情報の活用を促す動画を提供したり、オンライン配信を行う。
		学生をボランティアなどとして受け入れ、読み聞かせや学生のアイデアをいかした企画展示等を、中学・高校・大学等と連携しながら行います(再掲)。		【成果】 【課題】		学生ボランティアによる館内ツアーや読み聞かせを企画したが、新型コロナウイルスの感染状況により、実施には至らなかった。	【成果】　なし 【課題】　・新型コロナウイルス感染症の影響により、学生に学外での活動制限がある。	・オンラインでできる活動等の実施や、対象者を限定するなど、状況に応じた活動方法を検討する。